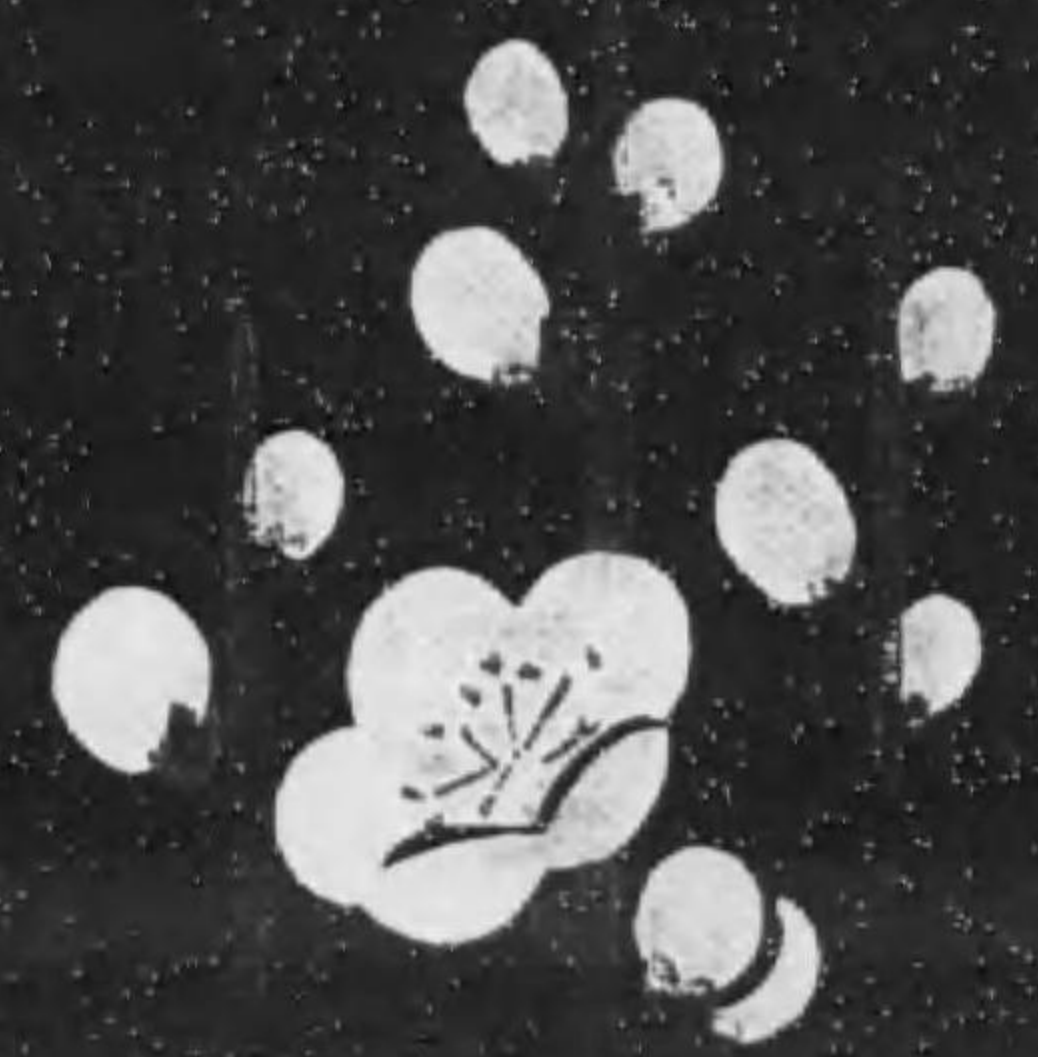


518  
18



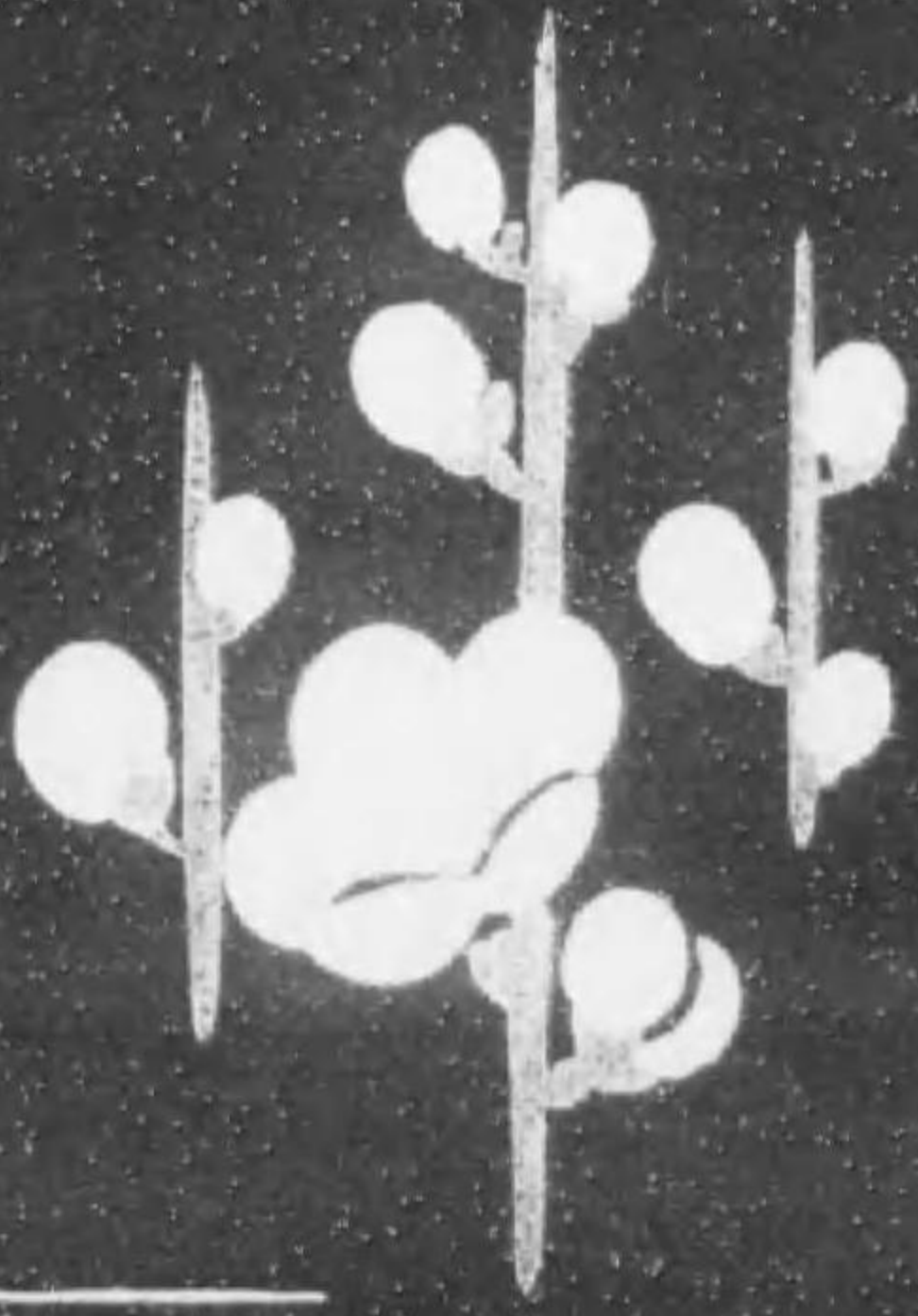
始



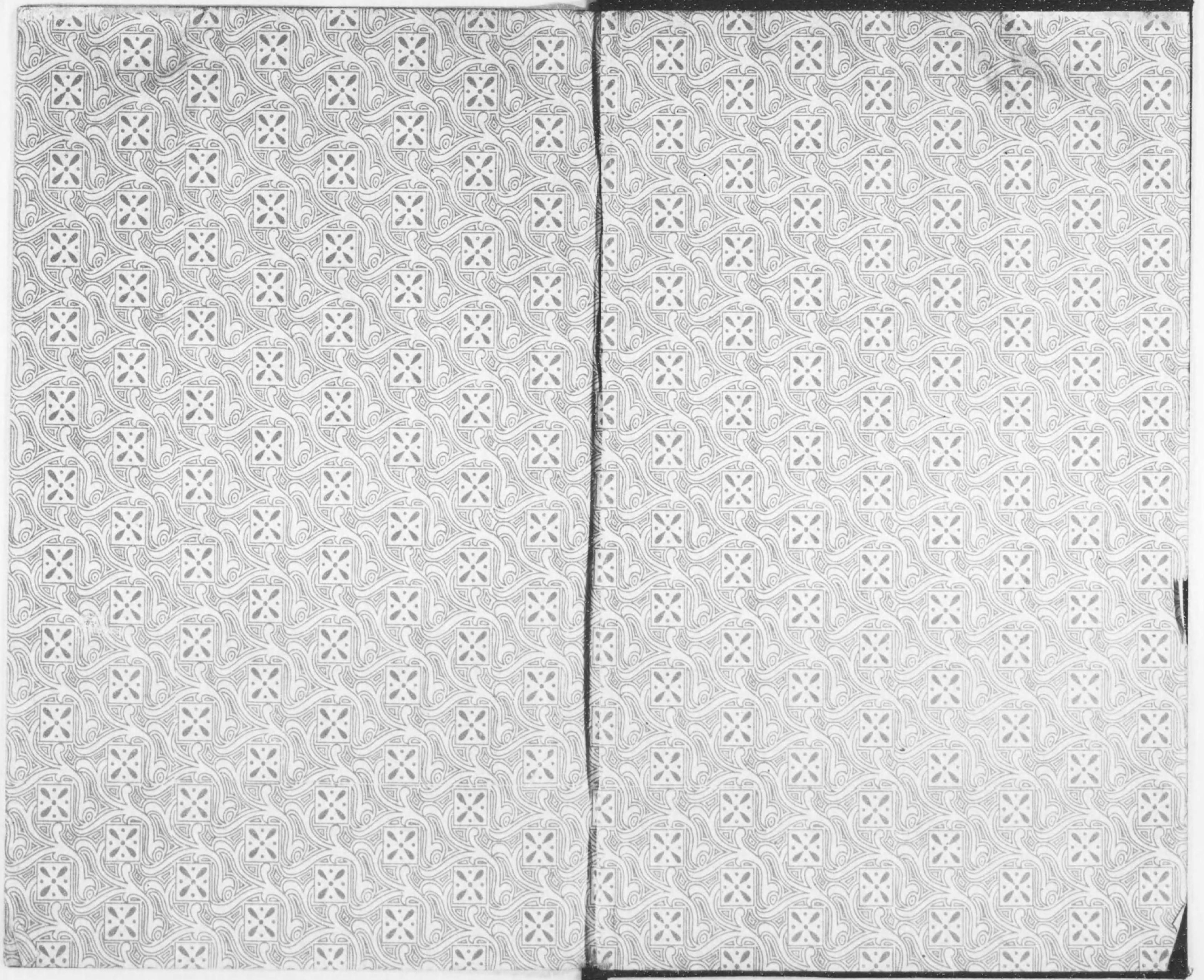


518  
18

大分縣協賛會報告書









81-8/1



大分縣協賛會報告書

大正  
12. 1. 17  
内交





大分縣協贊會會長 新妻五郎





夏川市 長務總兼長會副



八觀生 麻長會副



塚田高 長保特接兼長會副





會 計 長 工 藤 務 庵



餘 興 保 長 笹 山 駒 次 郎



工 管 保 長 田 口 俊 一





毛子爵 利高 範



久留島 三郎 子爵





同 元 田 泰



同 爵 男 山 本 達 雄



同 箕 浦 勝 人



同 爵 男 横 田 國 臣





和田豊治 同



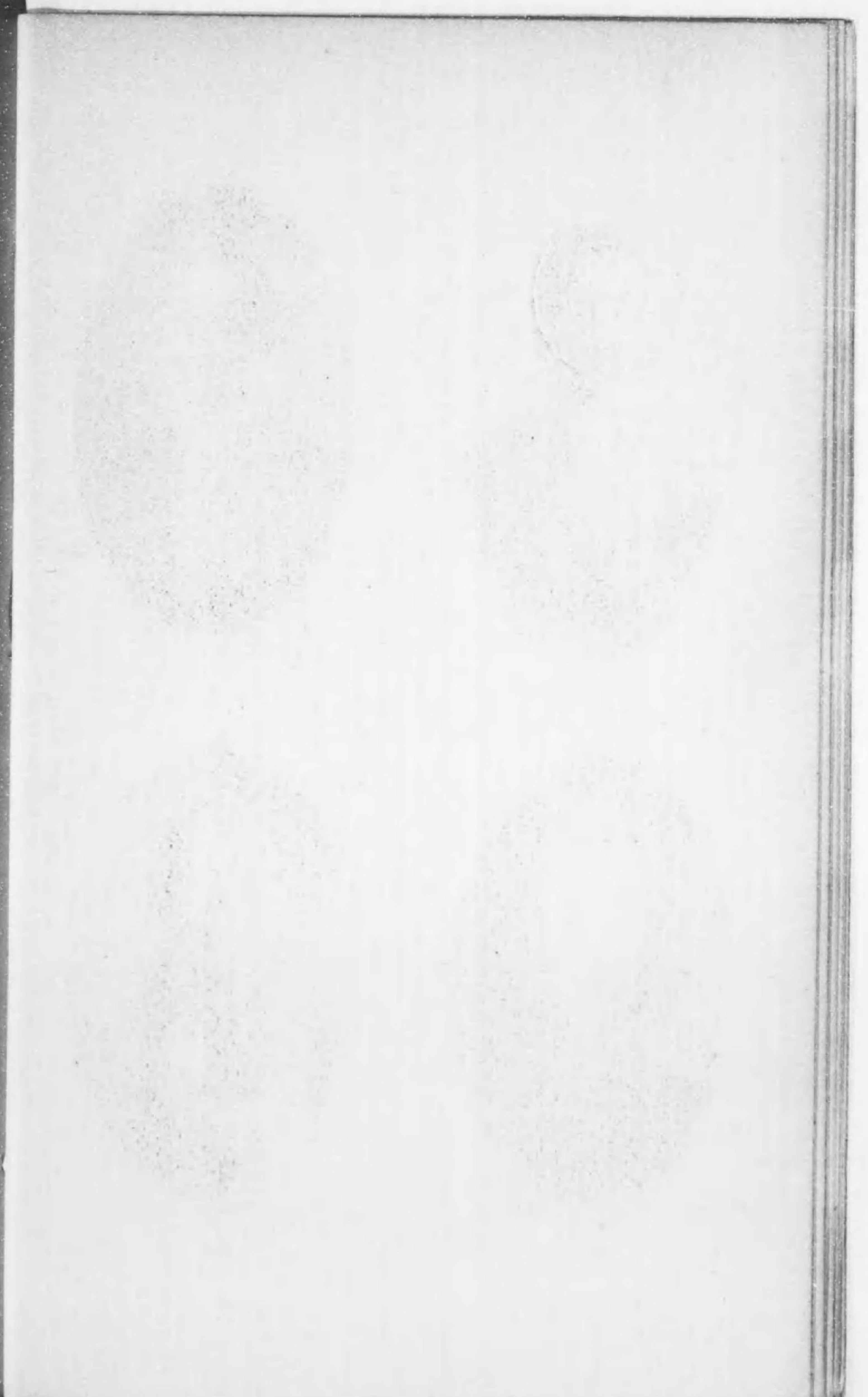
問丸重美 同



成清信愛 同



小保保藏 同







同  
重松重治



同  
木下謙太郎



同  
一宮房太郎



同  
松田原治







平山茂八郎 同



問吉良元夫 同



三浦教平 同



金光明庸夫 同





長野善五郎 同



水江文二郎 同



小野毅一 同



山口中半七 同





秋吉内 長員委郡東國東



岩谷 長員委郡東國西



西崎 長員委郡分大



竹田 長員委郡見遠





吉重坂總 長員委郡部海南



忠壽形尾 長員委郡部海北



藏利登桂 長員委郡入直



六喜宮都宇 長員委郡野大





島田 七郎 下毛郡委員長



内山 忠一 玖波郡委員長



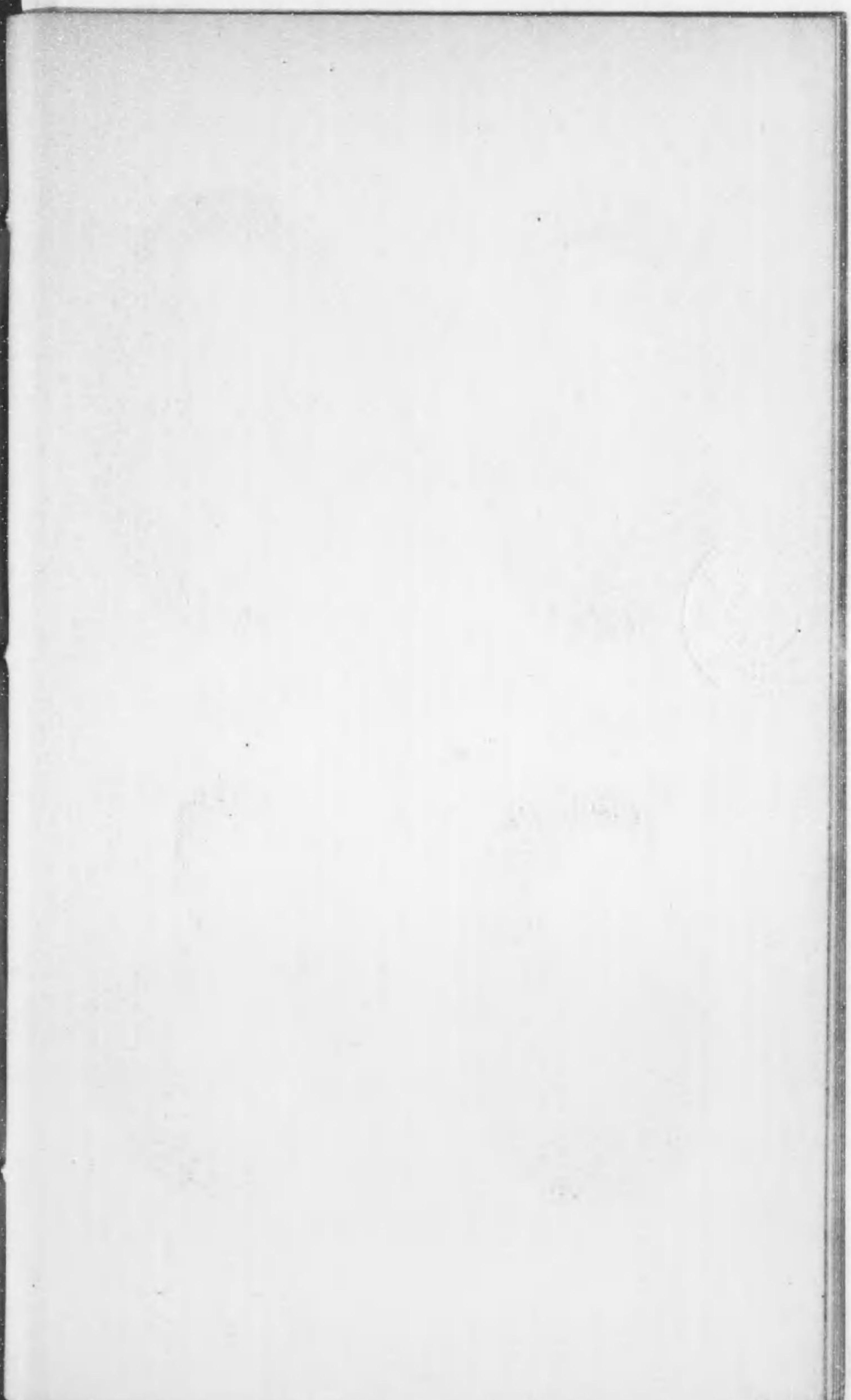
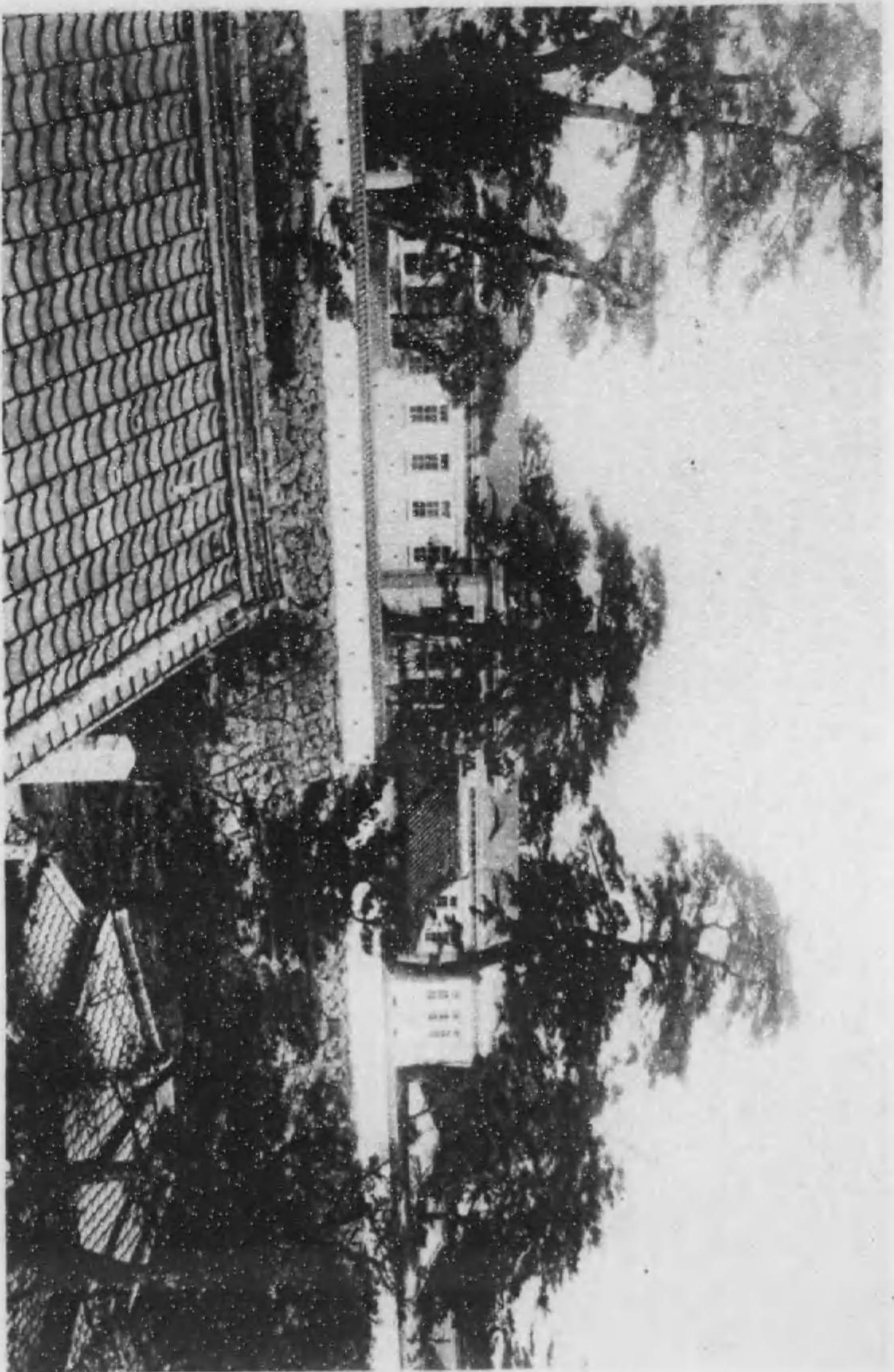
森 島 龍 大分市委員長



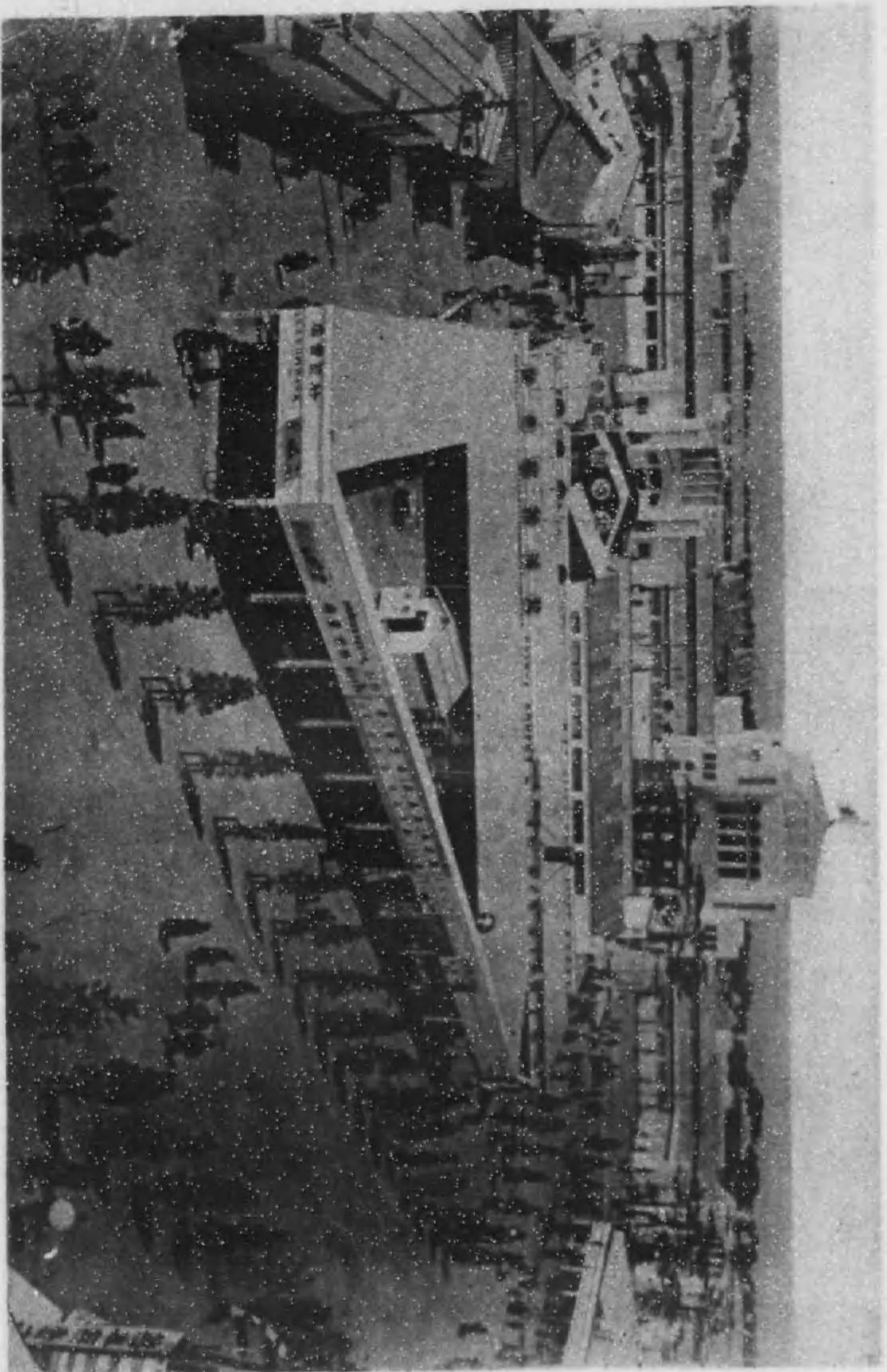
野田 羽正 宇佐郡委員長



共進會第一會場



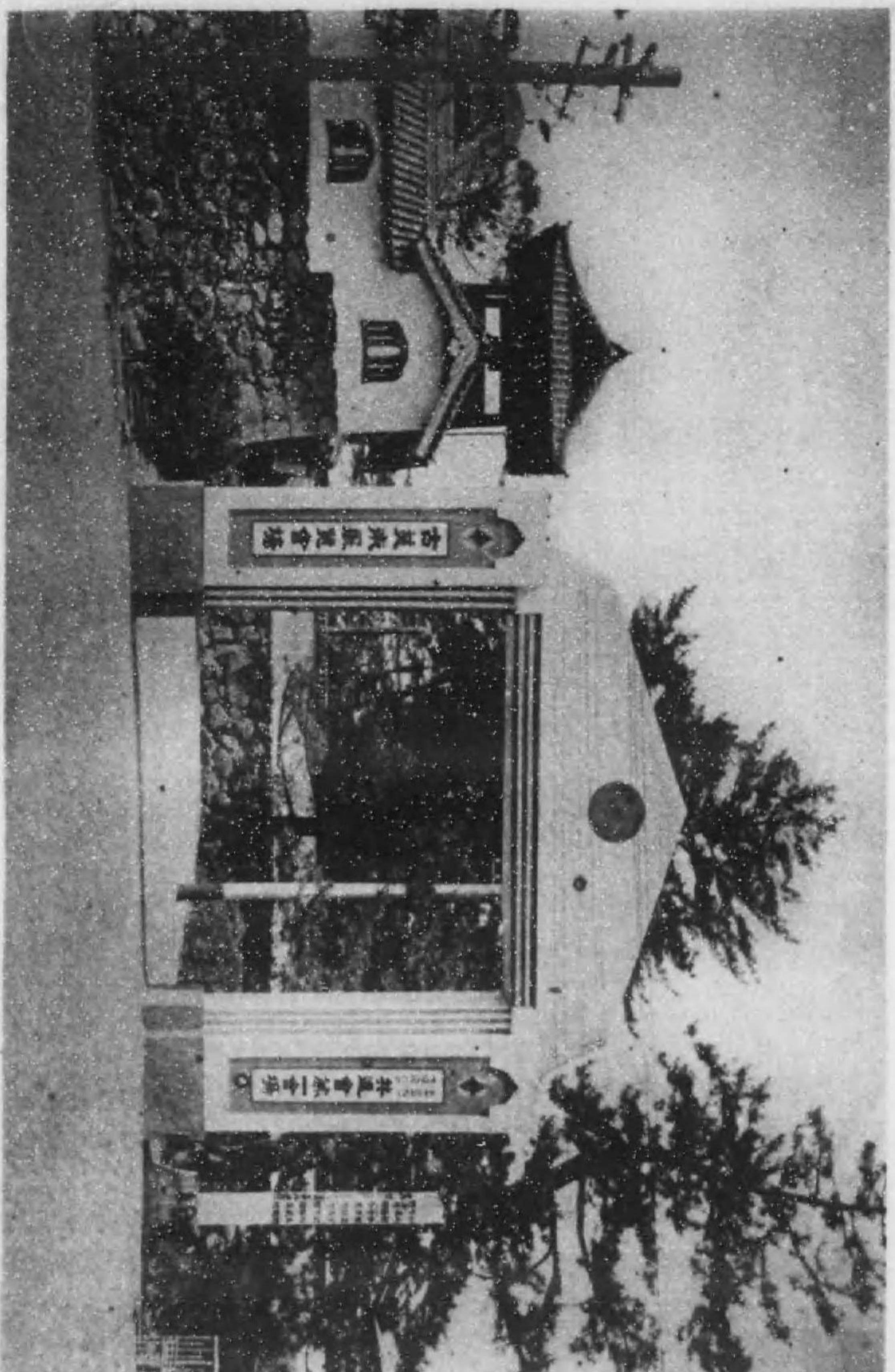




共進會第二會場



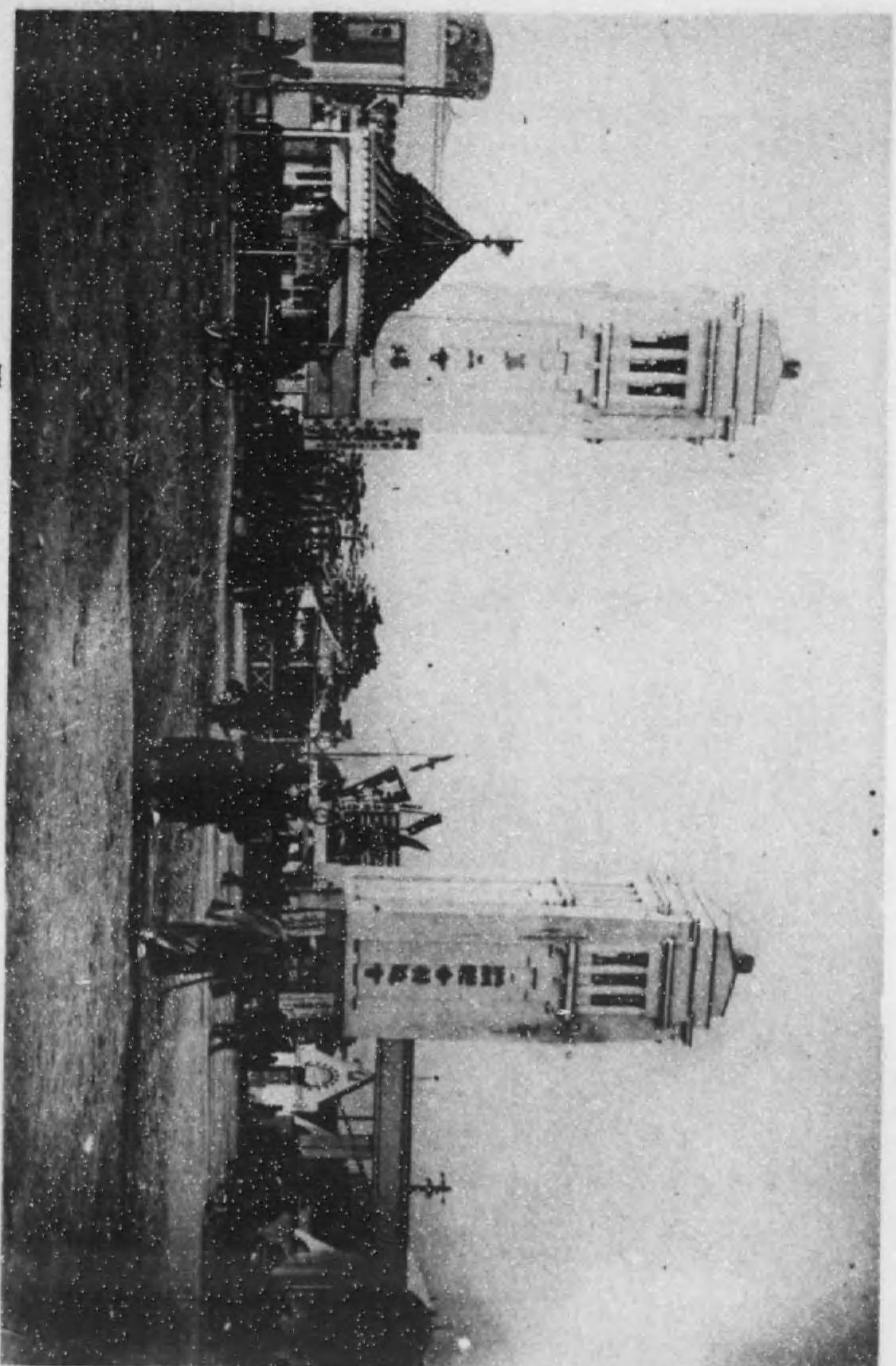




第一會場正門

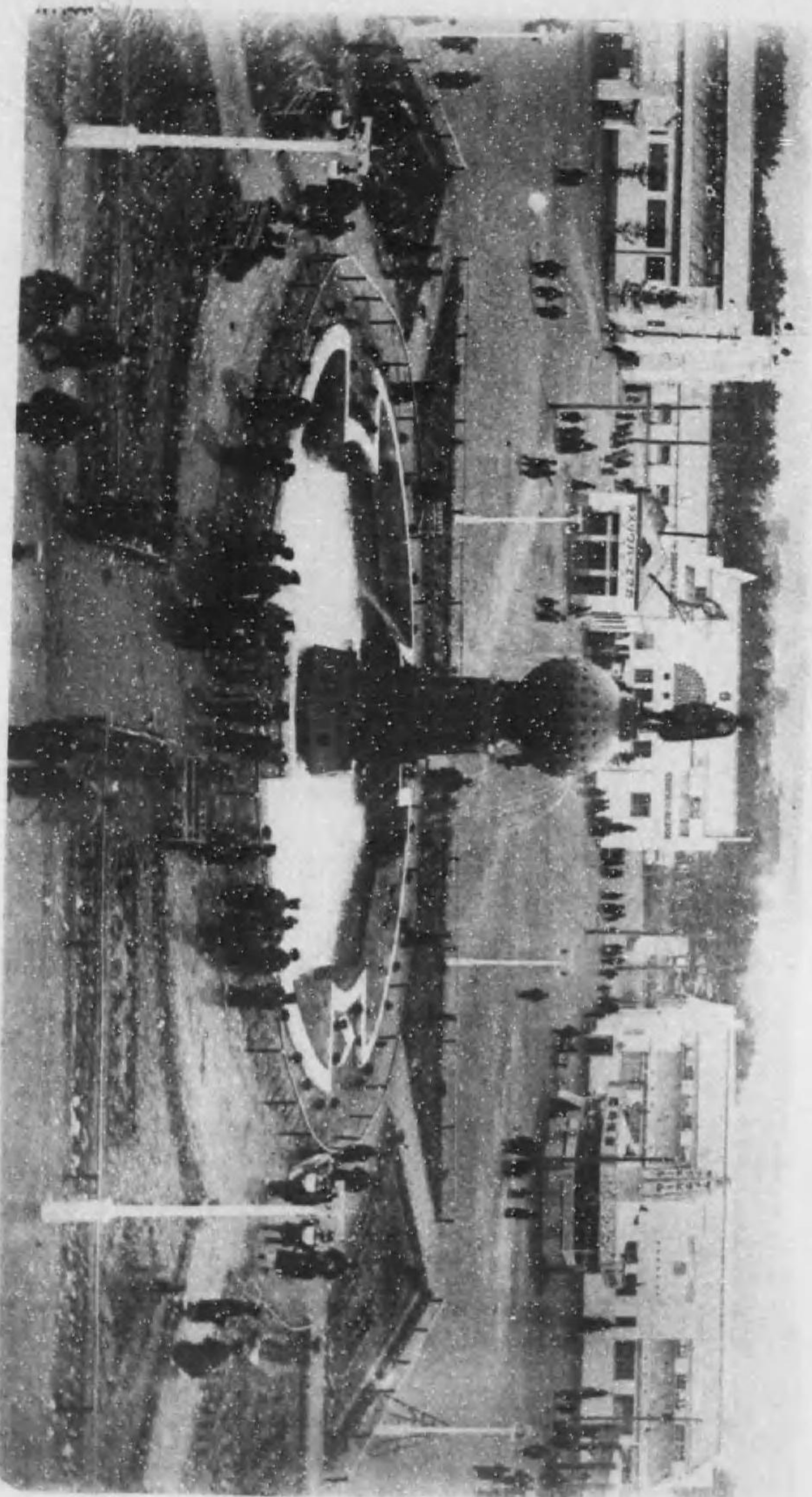






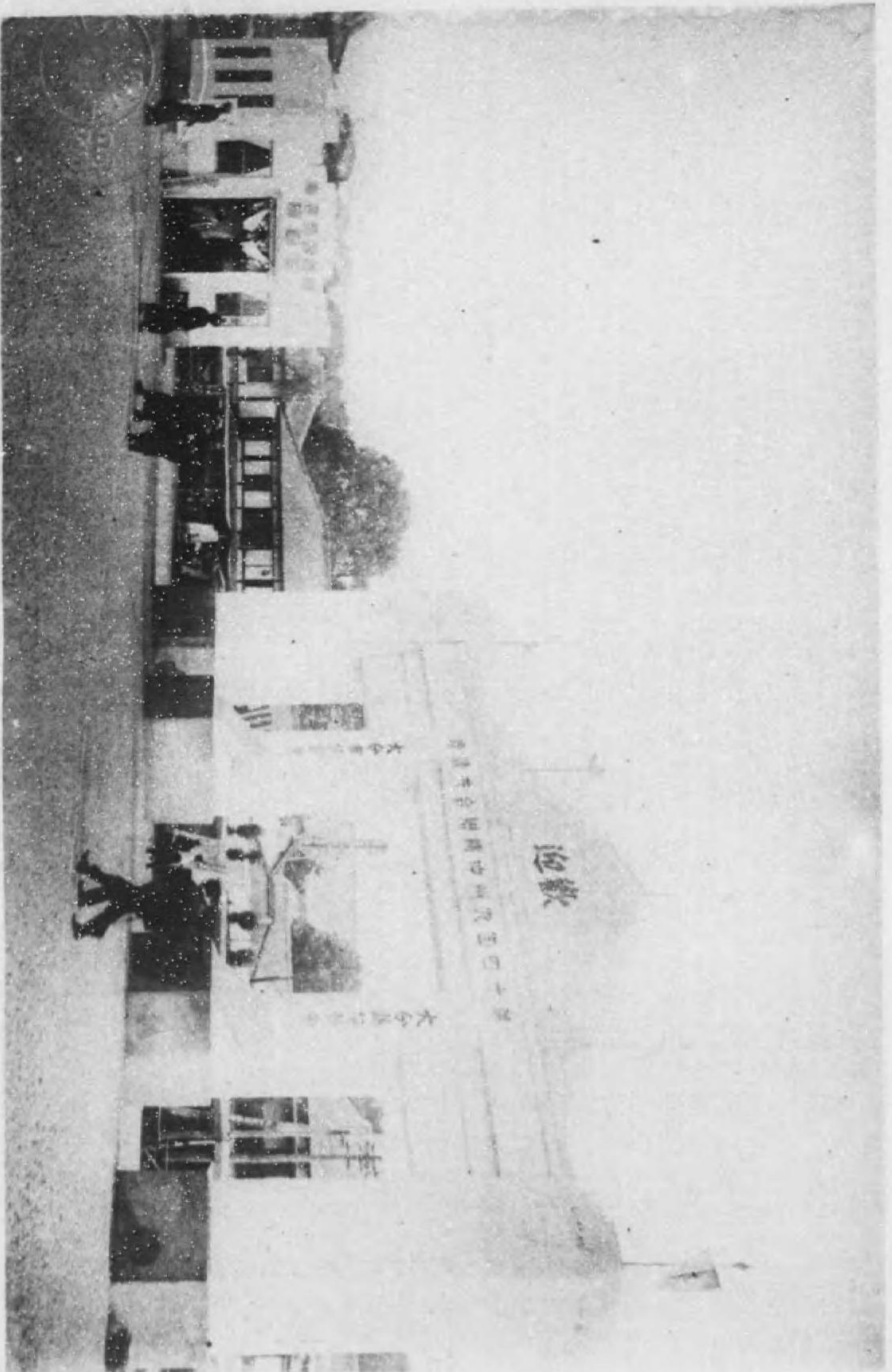
門 正 場 會 二 第





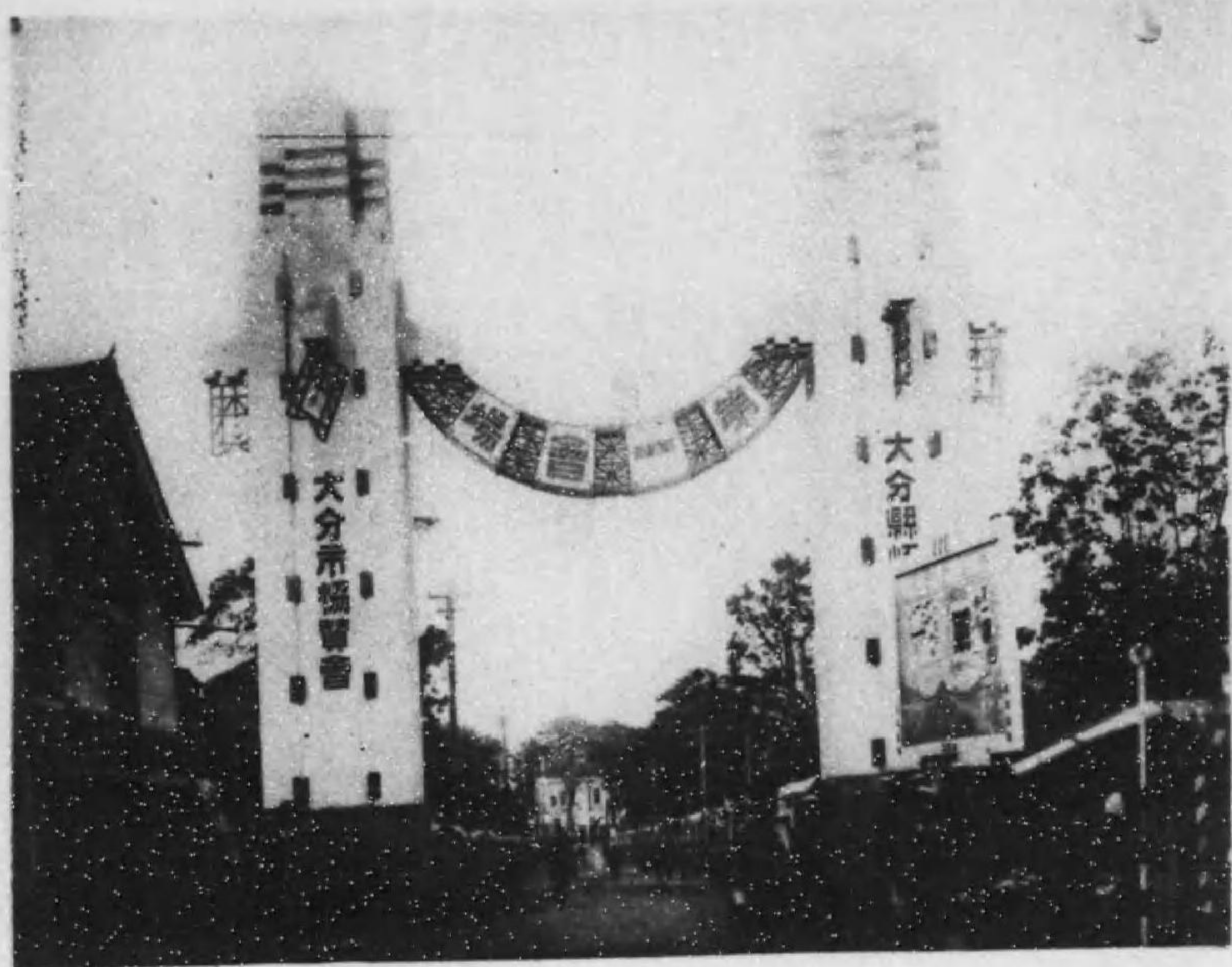
庭 廣 央 中 場 會 二 第





大分驛前歡迎門案內所





第一會場荷揚橋裝飾門

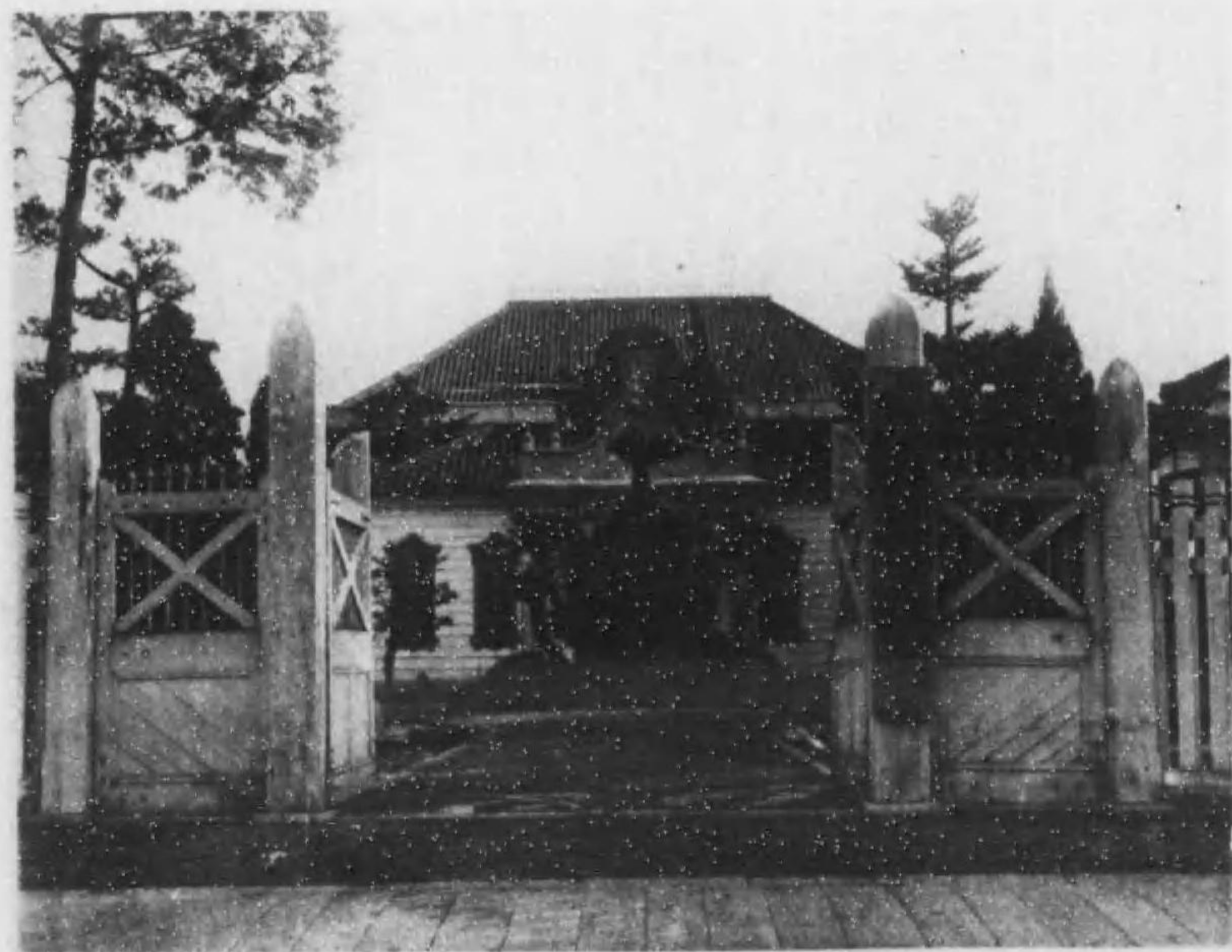


第二會場共進會街路裝飾門





公 會 堂



縣 會 議 場





九州聯合共進會案内

開催地 大分市

第一會場 縣廳々舎  
第二會場 新 川

自大正十年三月十五日  
至全 五月十三日

特設館  
朝鮮館 滿蒙館 臺灣館  
水族館等

展覽會  
新美術展覽會 古美術展覽會  
演藝館 藝壇 演劇 演舞等  
興行物 數十種

附近名勝  
別府温泉 世界樂園

宇佐神宮 本願寺末廟  
耶馬溪 天下奇勝

九州聯合共進會大分市會場

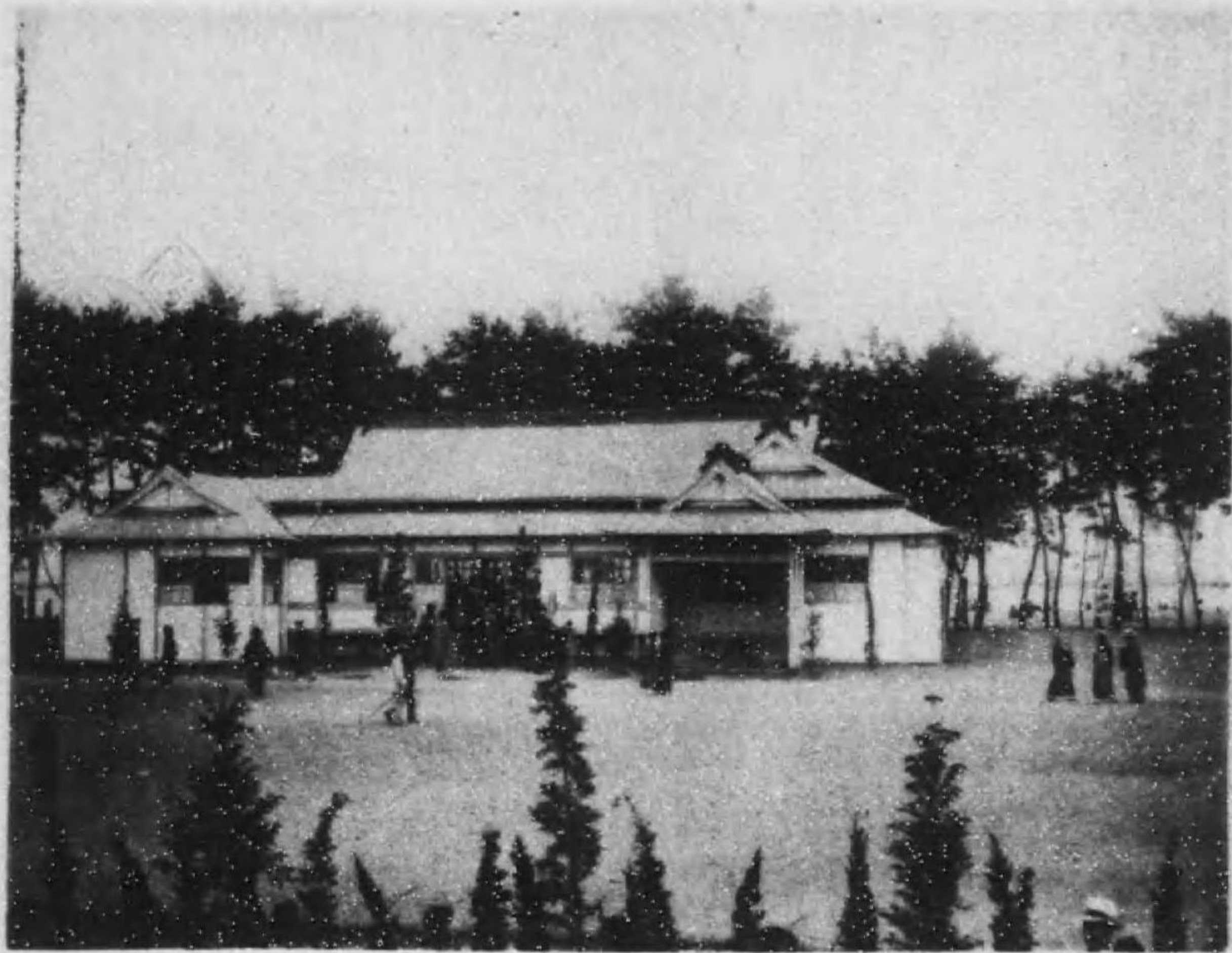
开



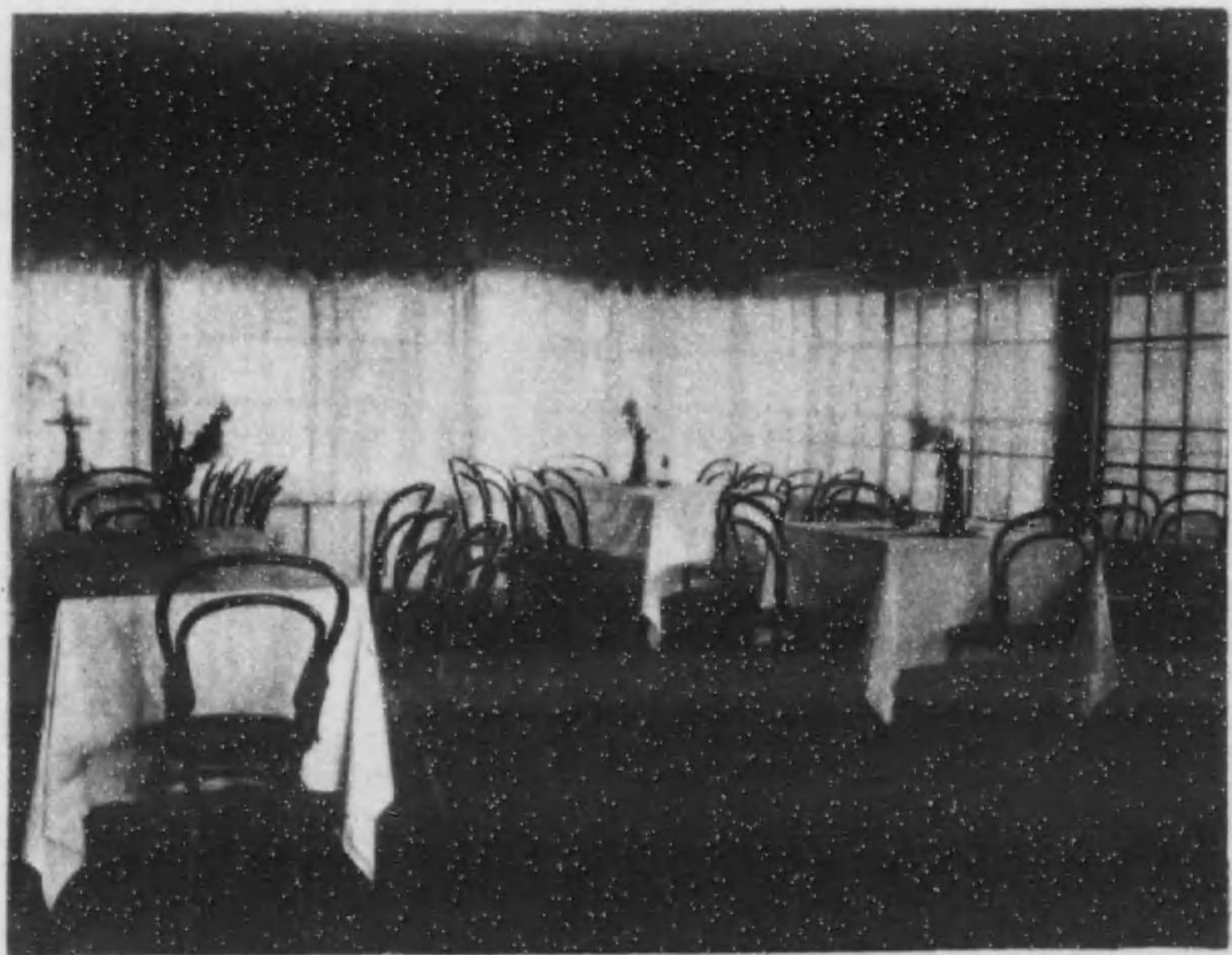


繪 葉 書



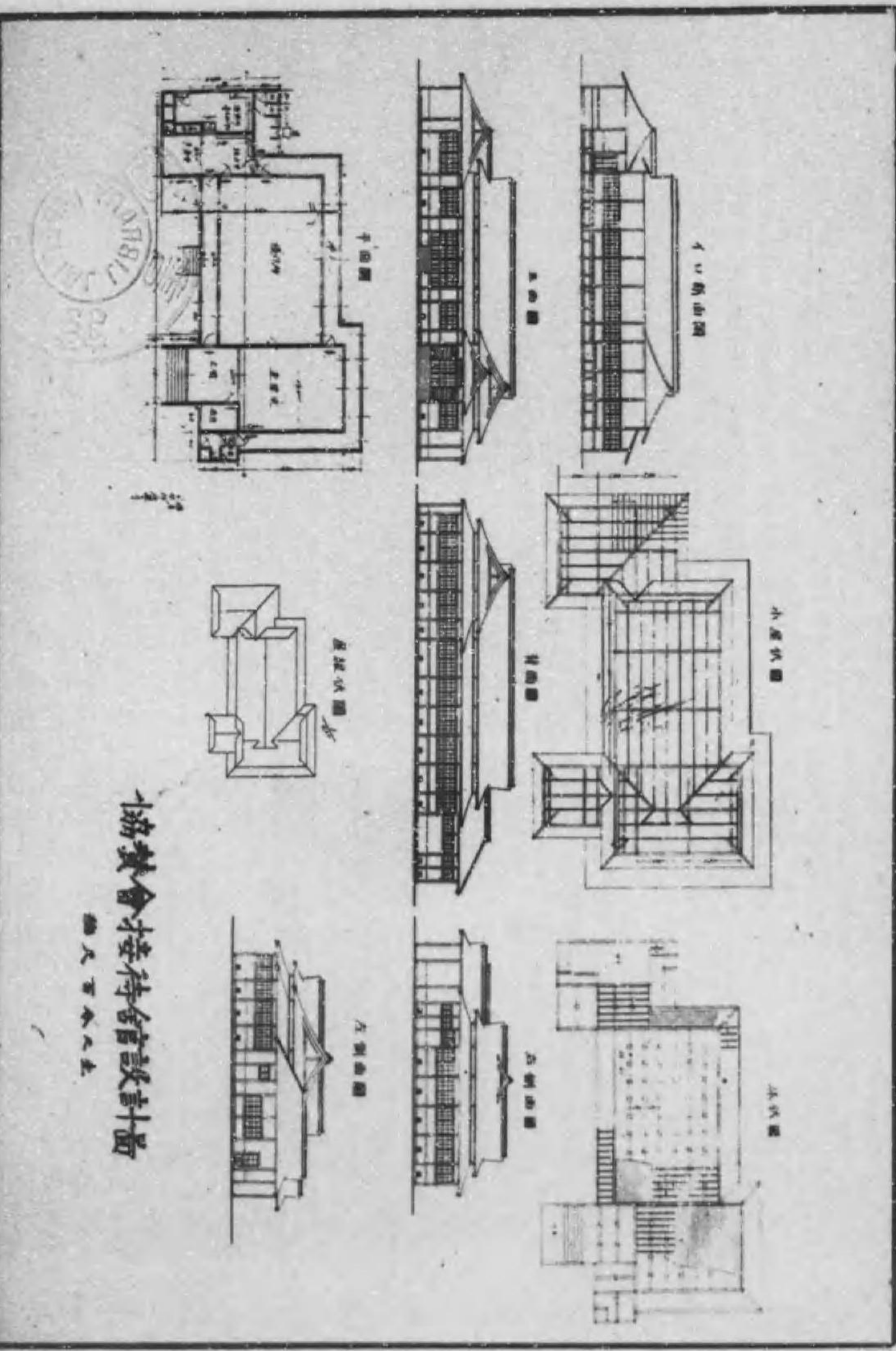


館 待 接



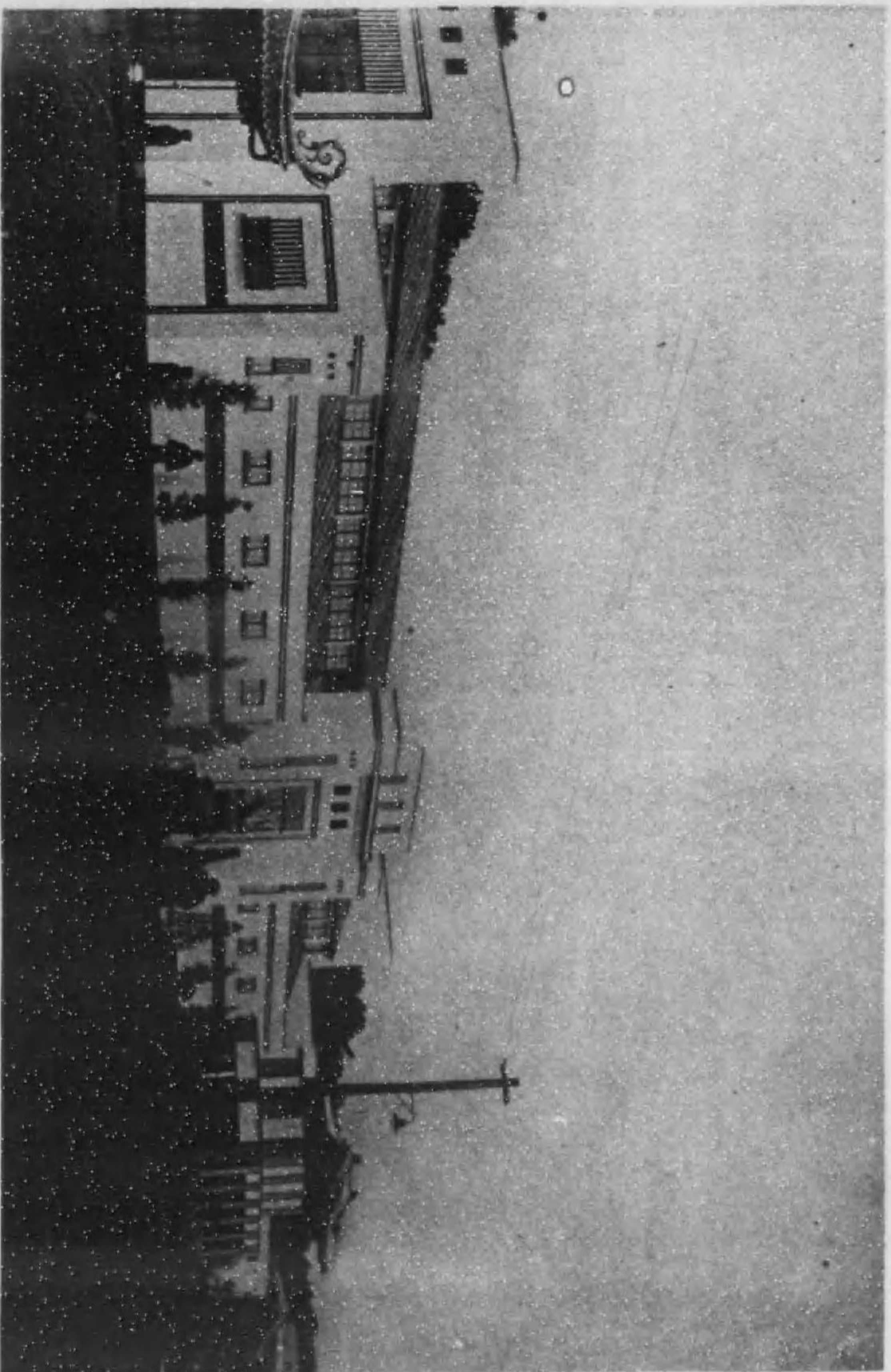
部 内 上 同





協贊會接待會館設計圖  
 總人 曹本八主



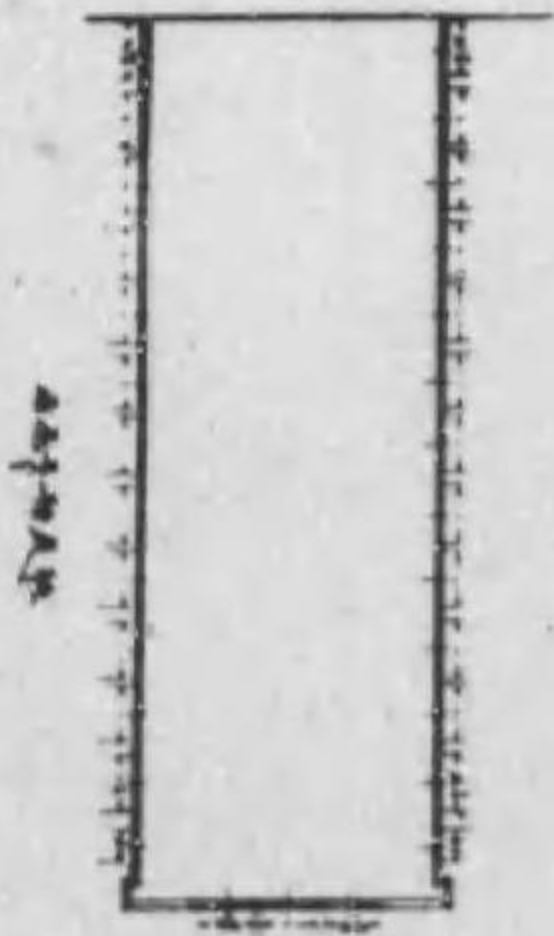
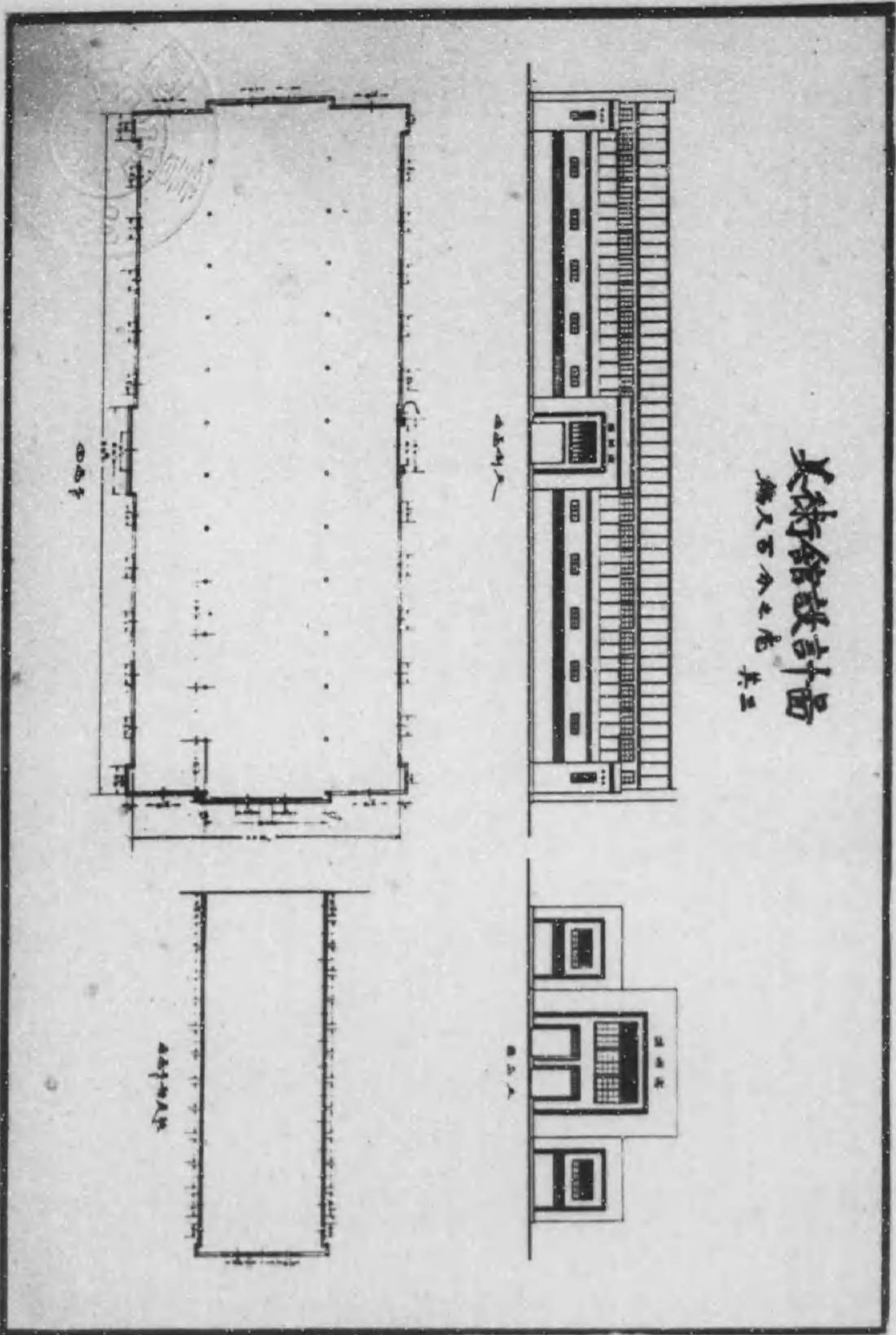
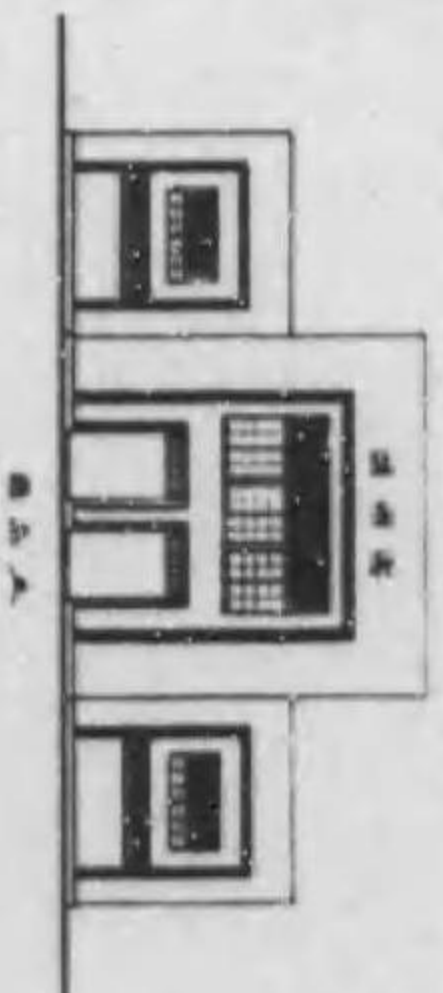
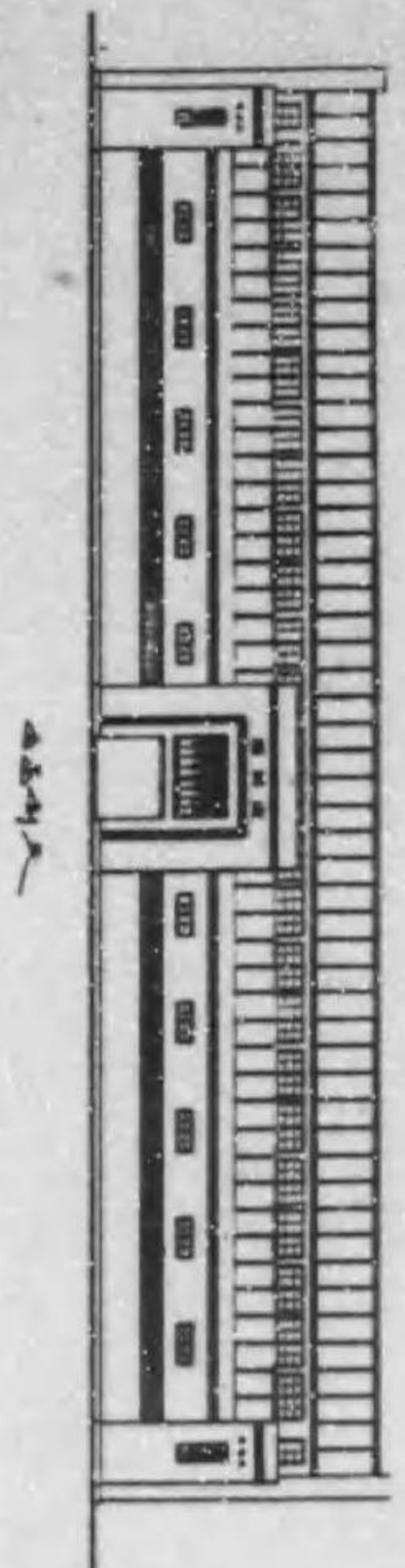


美 術 館





美術館設計圖  
第一卷 第一圖



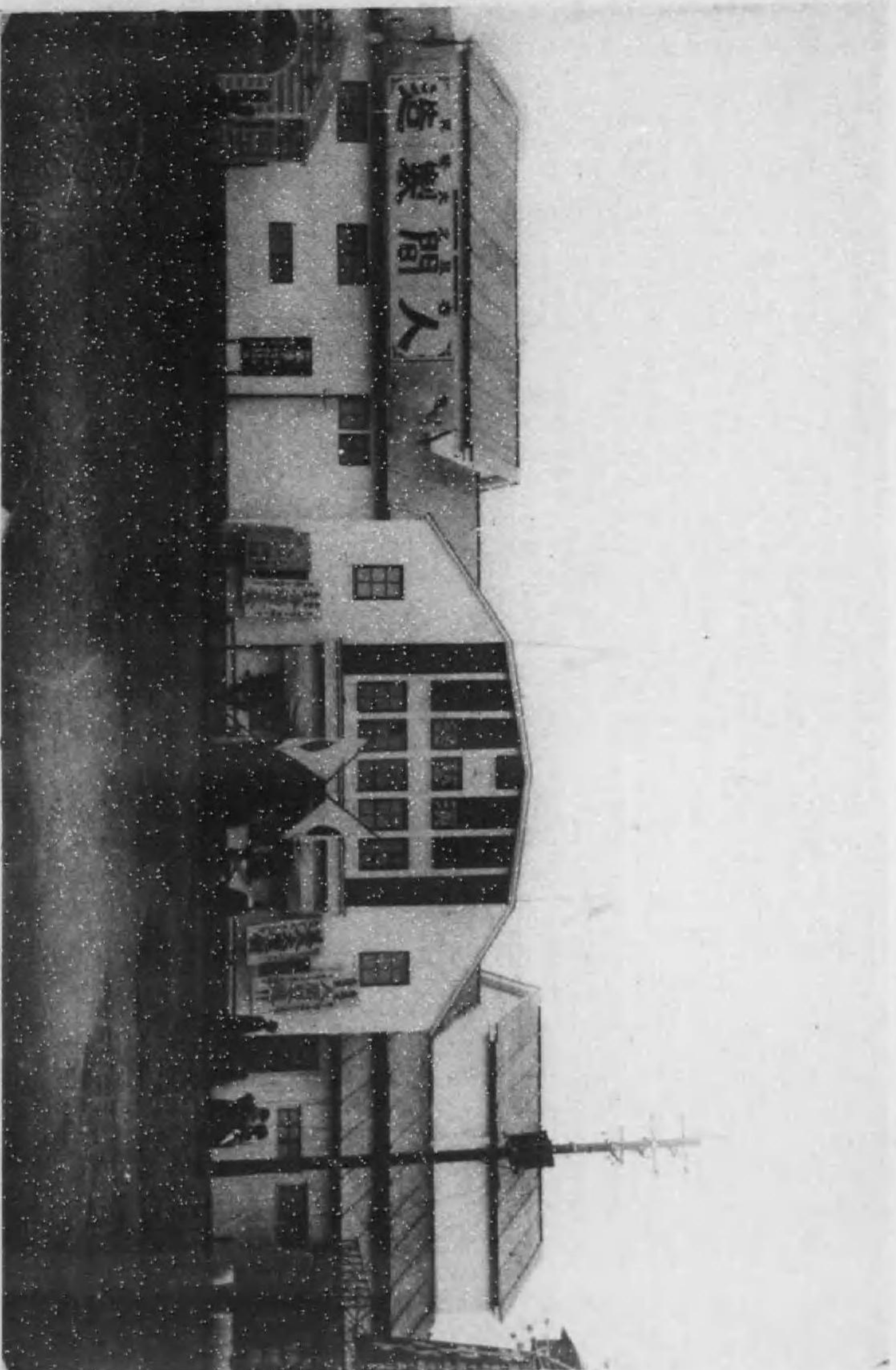




堂 樂 奏





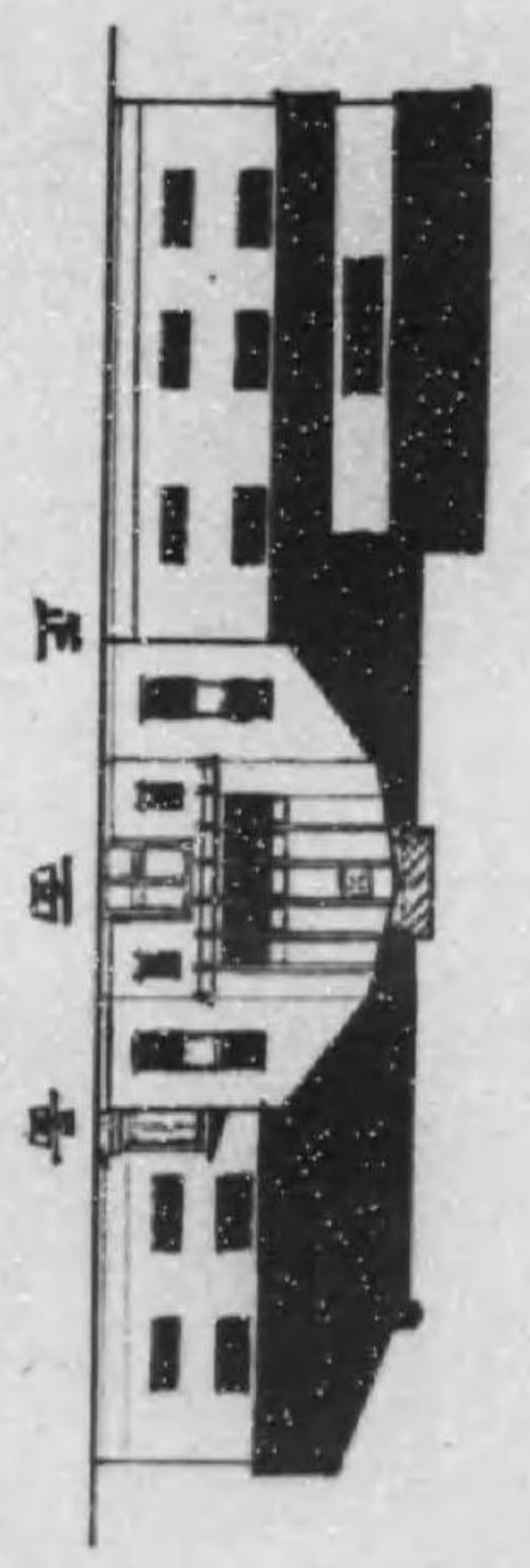


演藝館

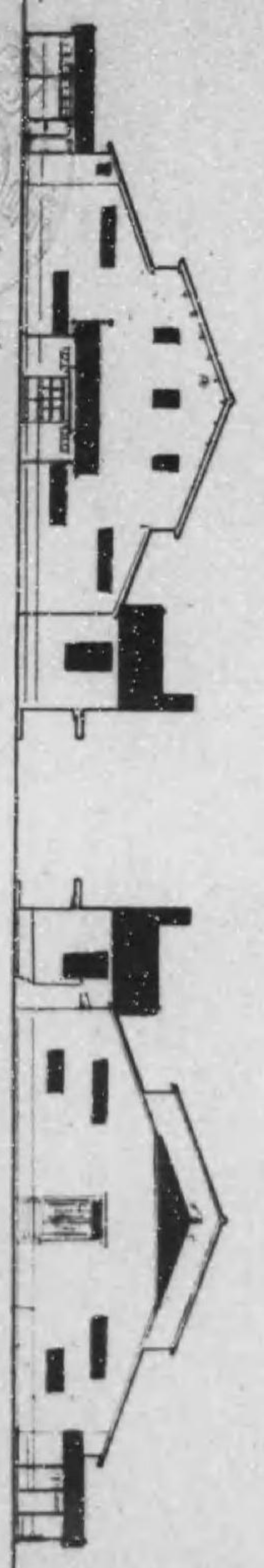




九州洋行總代理聯合共進會演藝會館新築設計圖  
植又百介心造



正面西向

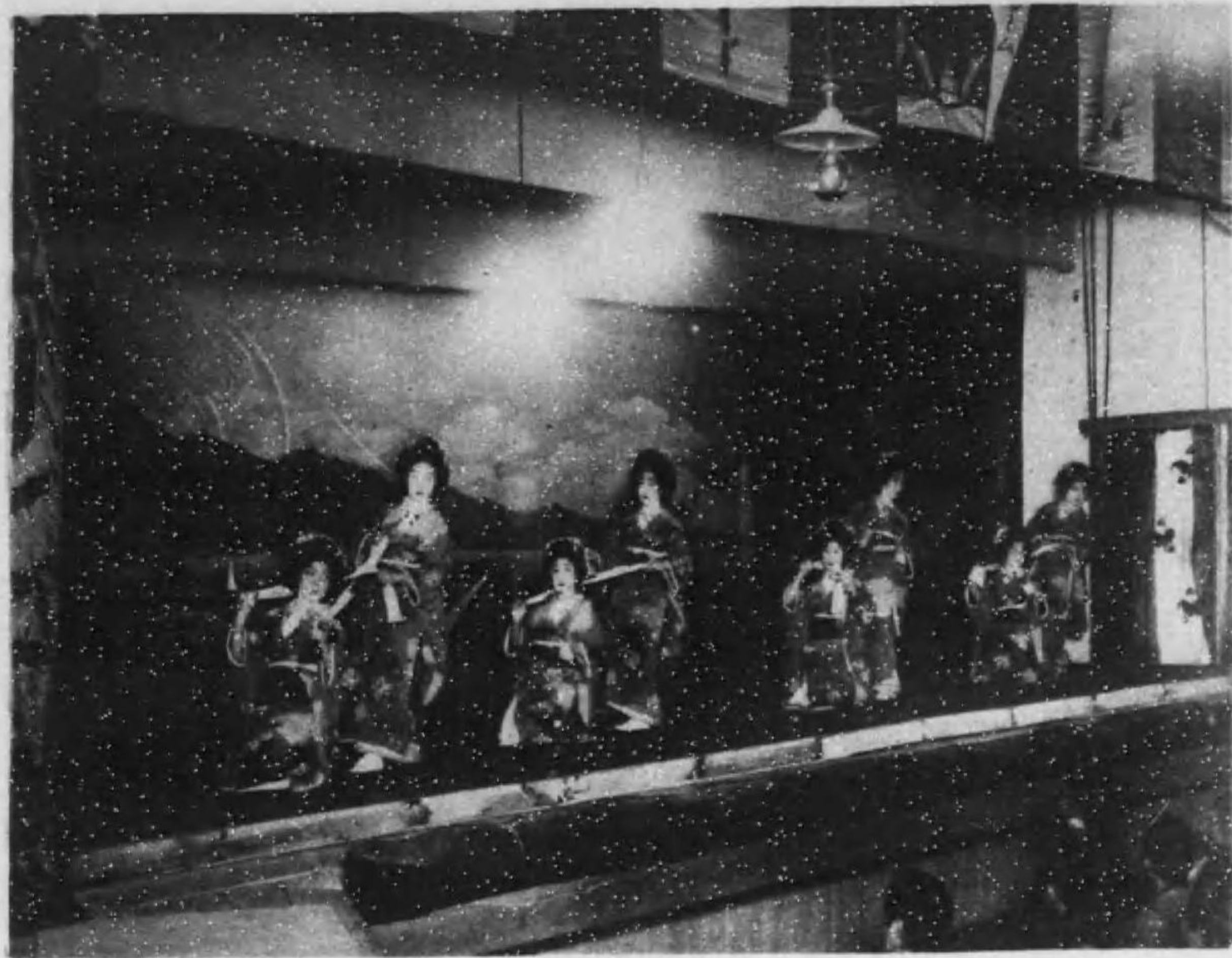


左側西向

右側西向





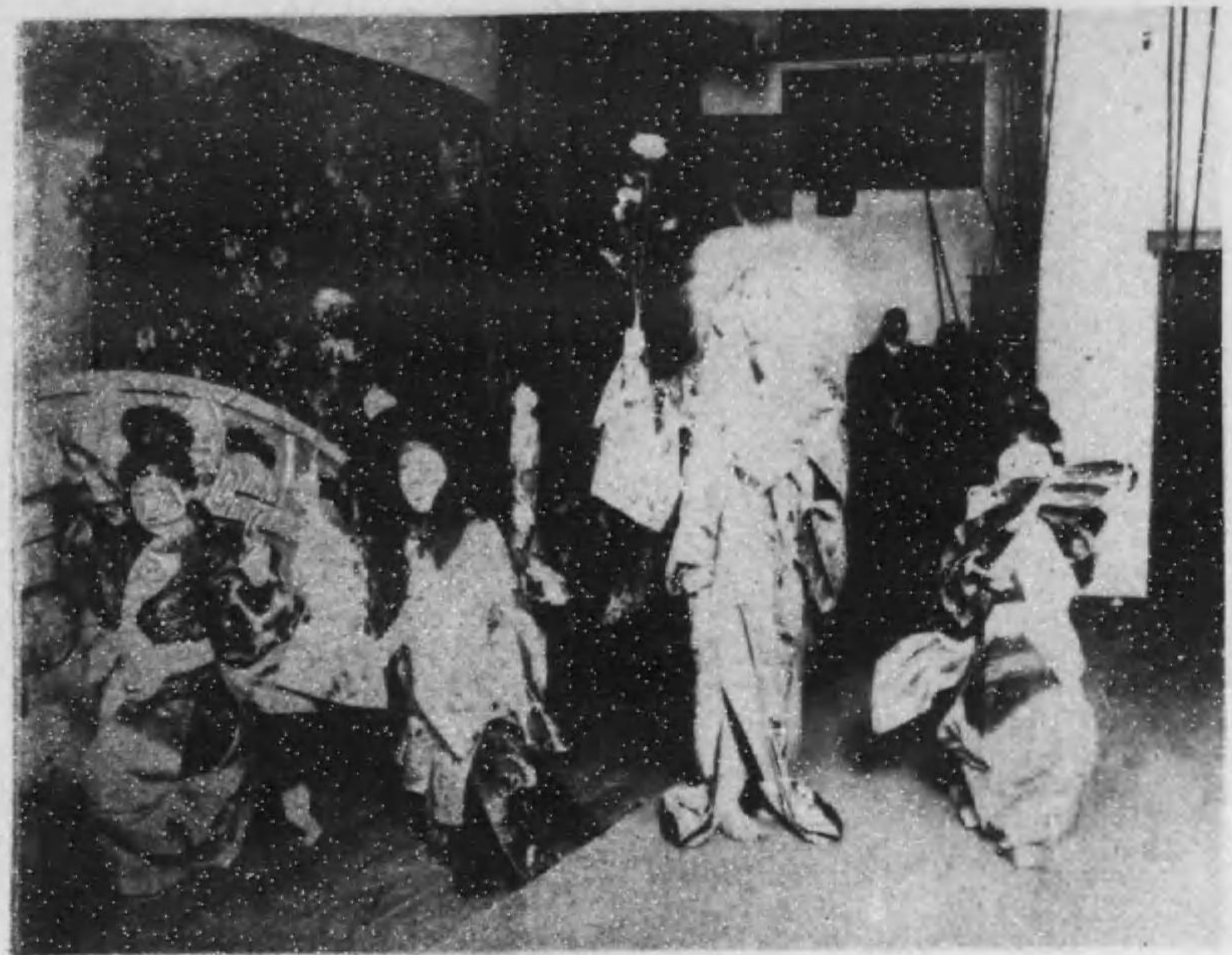


踊 田 碩

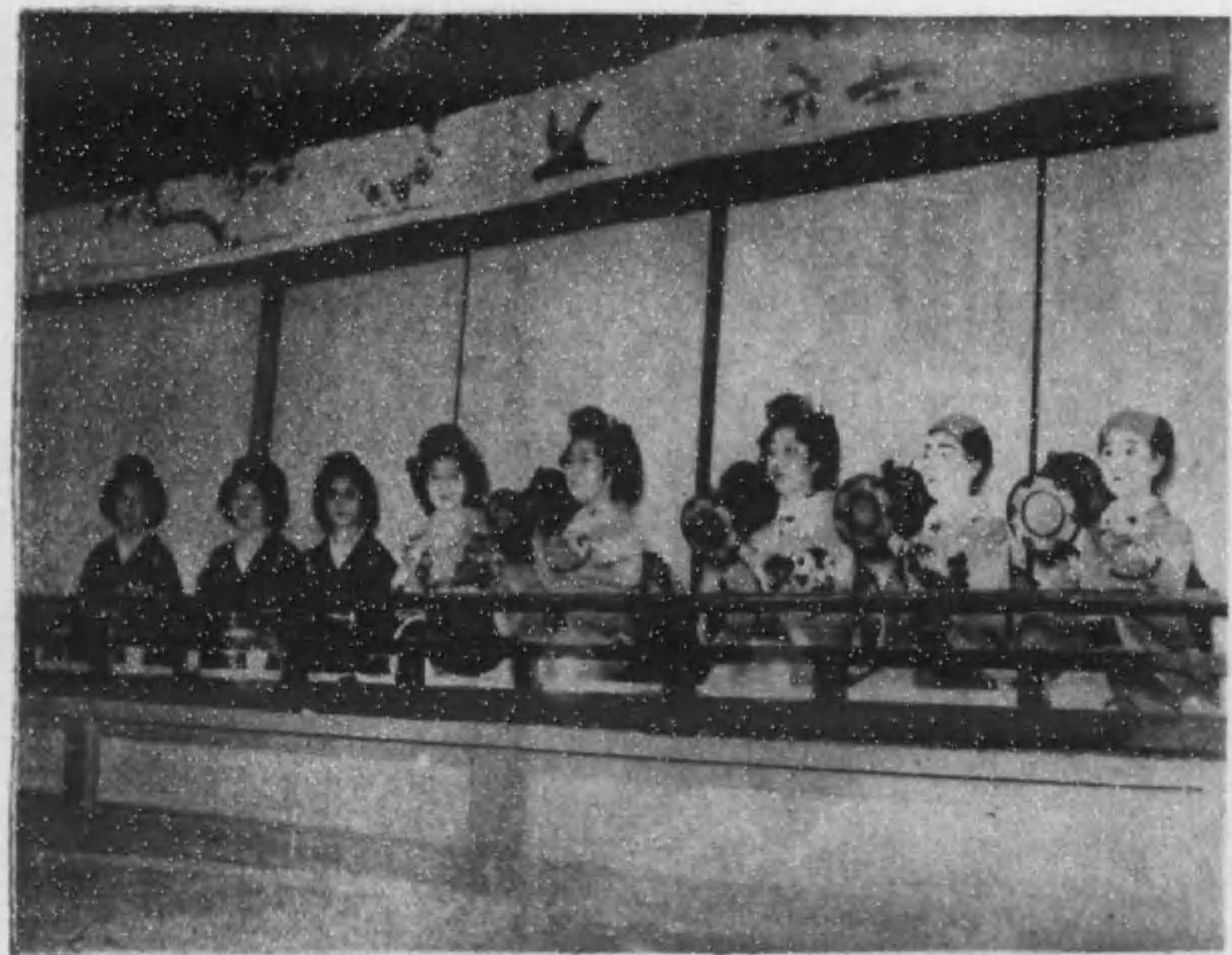


上 同





大分藝妓舞踊



同上



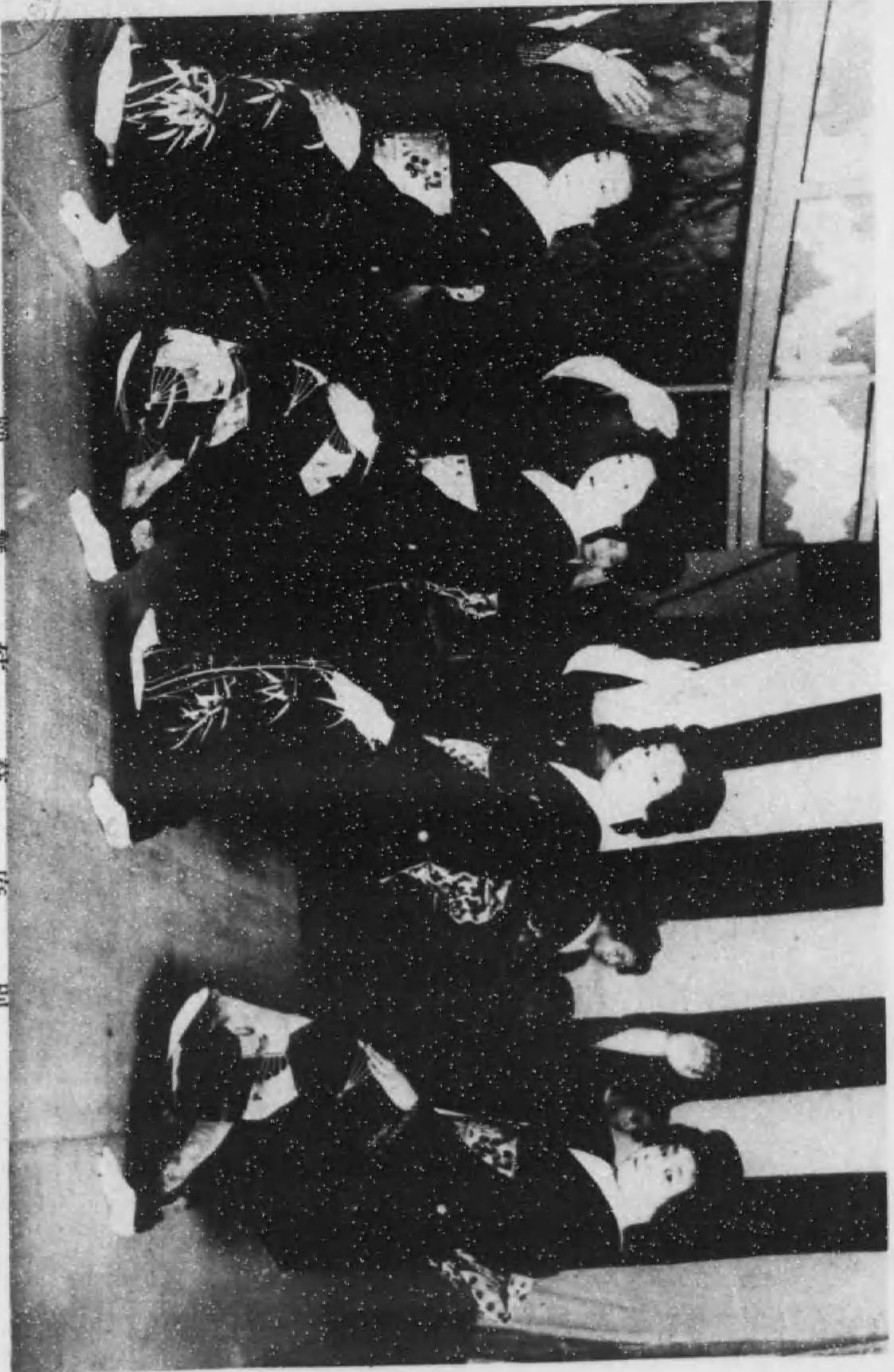


大 阪 和 屋 藝 妓 舞 踊



上 同





別府藝妓舞踊







舞 演



上 同





釜 茶 福 文



造 製 間 人





# 大分縣協贊會事務報告

## 目次

第一章	趣旨及沿革	一
	趣旨——沿革——創立並會員募集——趣意書——發起人名簿	
第二章	規則	二七
	會則——會員待遇規程	
第三章	事務及機關	三五
	第一節 事務分掌處務規程	三五
	第二節 役員及職員	四〇
	第三節 徽章	三三
第四章	事業	四



第一節 圖書刊行……………七四

大分縣案内——繪葉書——ポスター——共進會案内ポスター——共進會内容案内

第二節 各種大會開催獎勵……………七五

獎勵の趣旨——開催せられたる大會——大會費補助

第三節 出張宣傳……………八五

第四節 展覽會……………八六

第一回九州沖繩八縣聯合美術展覽會出陳作品名簿——美術館入場人員——古美術展覽會——出陳簿——入場人員

第五節 接待……………一三六

接待館——其接待人員——休憩所——接待係分屬——休憩所——案内所受付人員——案内建札建設——自動車購入——二式夜會招待——其の人員——其他招宴——旅館訪問

第六節 旅館の幹旋……………一四三

旅館注意事項——共同宿泊所設備——同上宿泊人員調——大分別府宿泊人員調

第七節 裝飾……………一五九

會場裝飾——市街裝飾——停車場裝飾

第八節 演藝館……………一六一

有料演藝館——演藝館入場人員——公開演舞場——公開餘興の種類

第九節 奏樂……………一六九

第十節 觀覽券賣捌……………一七〇

賣捌規程——賣捌受負命令書——本會經營觀覽物觀覽料

第十一節 敷地貸與……………一七三

第十二節 デー……………一七四

五人組變裝デー、福引デー、變裝デー、謝恩デー、福引デー、物品寄贈者

第十三節 朝鮮人の來觀誘致……………一八六

第十四節 水上飛行機軍艦潜水艇の演習……………一八七

水上飛行機の來場——艦隊潜水艇の來航公開



第十五節 協賛事業補助……………一八八  
 大分市別府町の裝飾補助——水族館設置補助——其他  
 第十六節 新聞記者招待……………一九二  
 全國新聞記者大會——東京鐵道記者團來觀  
 第十七節 新聞材料提供……………一九四  
 第十八節 記念品贈呈……………一九五

第五章 餘興……………一九五

第一節 藝妓手踊……………一九五  
 大分藝妓の碩田踊——新作唄——踊番組——大阪大和屋藝妓の舞踊——別府藝妓の舞踊  
 第二節 電氣應用人間製造其他……………二〇三  
 第三節 公開餘興……………二〇三  
 第四節 煙花大會……………二〇四  
 第五節 相撲大會……………二〇五

學生相撲——素人相撲

第六節 成功祝……………二〇六

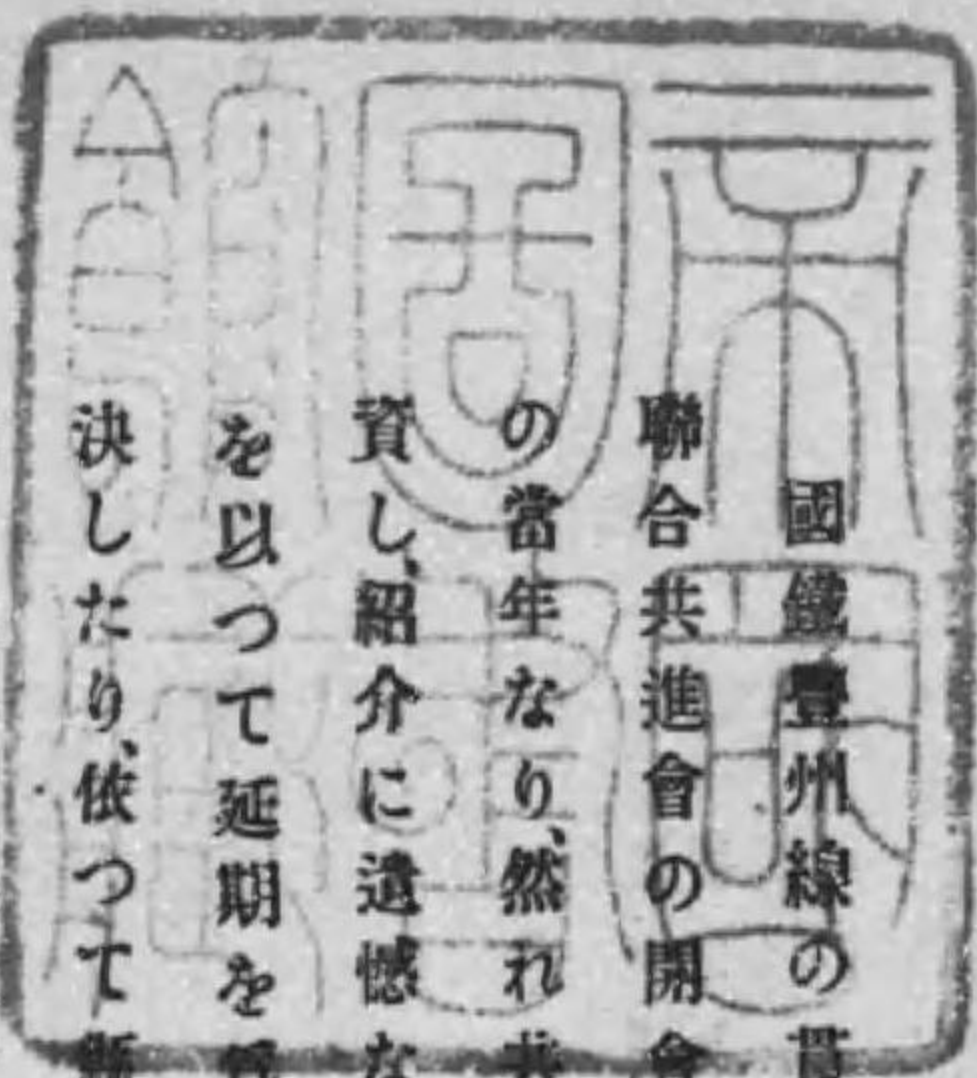
第六章 會員及醴金……………二〇六  
 各郡市割當額及醴金額——醴金者調

第七章 經決算費……………二一三



# 大分縣協贊會事務報告

## 第一章 趣旨及沿革



國鐵豊州線の貫通、大分大築港の完成は本縣主催の下に開設せらる可き第十四回九州沖繩八縣聯合共進會の開會を大正十年春季に決定せしめたり、既定の順位を以てすれば大正四年春季は其の當年なり、然れ共斯くの如き大事業にして殊に本縣が最も有効に且つ適切に本縣産業の進展に資し、紹介に遺憾なからしめんを欲すれば縣財政の事情並に諸般の産業的施設は時期尙早の理由を以て延期を爲すを至當なりと認め、着々其の準備行爲を進め大正五年に至つて同十年開設を決したり、依つて縣民は協力して其の事業を補翼し以て本縣永遠の發展に貢献せしめん事を期し、茲に大分縣協贊會設立の機を見るに至れり、されば新妻本縣知事は大正八年九月二十九日縣下に於ける貴衆兩院議員、縣會議員、郡市長、町村長、縣内有志に囑して本會發起者たらんことの贊同を求め、其承諾を得同年十月二十七日大分縣會議事堂に於て發起人總會の第一回を開きたり、斯くて議定せられたる會則に基き會長、副會長を選擧し、爾來顧問、役員及議員を推薦又は囑託し、陣容彌成りたるを以て會員募集に着手し、官民協力大に本會趣旨の存する所を徹底せしめたる結果總數九千



七百八十人の會員を得、本會の組織を完備したり。

聯合共進會は大正十年三月十五日より五月十三日に至る六十日間大分市に於て開催す可き事に決定したるを以て本會又之れに順應して事務を開始し、共進會事業の進捗に相俟つて鋭意所期の目的に力を致し諸般の經營に努めたり。

惟ふに共進會の内容實質如何に過去の記録を破るの盛觀ありしは云へ、大分の僻陬を以てして觀覽人員約百萬人に達し、間斷なき盛況を維持し、而も平穩無事に終始するを得たるもの共進會當局者の計畫施設其の宜しきを得たるに職由す。雖亦本會の事業機宜を謬らさ措置其當を得たるの力決して鮮少なからざる可きを信じ欣懐の念禁じ能はざるものあり。

本會設立の當日發表したる趣意書左の如し。

九州沖繩八縣聯合共進會 大分縣協贊會設立趣意書

來る大正十年三月本縣主催の下に大分市に於て第十四回九州沖繩八縣聯合共進會を開催せん。さす回顧すれば去明治二十一年第六回聯合共進會を當市に開催せしより正に三十有餘年而して四十三年前回を福岡縣に於て開きしより亦已に十年を閲し其間社會の進歩に伴ふて各縣産業の發展頗る顯著なるものあり。今や曠古の大戦終熄して産業經濟戰の第一歩に入らん。さするに當り茲に時代の要求に促され聯合共進會を開催し以て産業の發展改善に資せん。さするは定に機宜を

得たるもの。さ謂ふ可し。

抑我が豊州の地は日本建國史上日州と共に第一に開明の曙光に浴せし所。山秀で水清く氣候温暖にして土地肥沃港灣嵯峨して海陸物産豐饒なり加之剛健なる民衆は沈勇敢爲の氣象に富むも交通機關と海陸聯絡の不備は多年産業の開發及文化の進歩を妨げ夙に到來すべかりし聯合共進會は數次延期の已むなきに至らしめ漸くにして最近縱斷鐵道の開通と共に大分築港完成して海陸の聯絡稍整備に近からん。さし且つ縣下各種の産業亦昔日と異り頗る其面目を一新せるものあり。此秋に當り茲に聯合共進會を開催し本縣の物産を廣く宇内に紹介して取引販路の擴張を圖り或は共進會を介して多數内外觀覽者を誘致し名勝舊蹟を案内して隨所遊覽に便にし或は清秀なる豊州の山川を紹介して其再遊を期せしめ又は天惠無限の靈泉奇蹟に觀覽者百年の長壽を保たしめむ。さす此等内外觀覽者に充分の満足を與へ其旅情を慰藉せん。さするには須らく適應なる諸般の設備を施し本縣人の溫情を發露して其優待接待に遺算なからしめ以て來觀者に快心の満足を與へ亦以て共進會を有効に活用するを期せざる可からず。如斯は共進會事業を翼賛する協贊會本來の目的にして協贊會の活動に待つべきや論を俟たず而して此目的を貫徹するには二十餘萬圓の資金を要し此等資金の醴集には大に縣民一致共同の後援に據らざる可からず。是に於てか有志相諮り今般大分縣協贊會を組織し以て共進會事業を翼賛し諸般の施設を爲して内外觀覽者



の優待に努めんとし其規定を左の通り決定せり  
 案するに共進會の會期は今後僅に年餘を剩すに過ぎず而して共進會に對する吾人縣民の爲す  
 べき事業一にして足らず所謂三十年稀有の大盛事は閩縣の父老幼童屈指して其盛典を期待する  
 や久しきも此大盛事をして有終の美を濟さしむるもの唯一協賛會の活動に待たざるべからず從  
 て其活動は資金の充實を要するや言を待たざるなり。  
 茲に謹んで滿腔の赤誠を披瀝し以て遍く有力なる江湖諸彦の衷情に訴へ請ふ所あらんことを各  
 位願くば此意を諒し奮て本協賛會に加盟せられ幸に本會所期の目的を達成せしめられんことを  
 重て切望に堪へざるなり

大正八年十一月

九州沖繩八縣聯合共進會大分縣協賛會長

新妻駒五郎

本會發起人氏名左の如し。

聯合共進會大分縣協賛會發起人名簿

貴族院議員	成清信愛	縣會議員	平山茂八郎	縣會議員	橋本彌五郎
衆議院議員	吉良元夫	同	久保壽獲	同	牧善五郎
同	重松重治	同	佐藤虎雄	同	小野廉
縣會議員	森祥太	同	衛藤一六	同	竹岡吉太郎
同	河村喜一	同	帆足悅三	同	高井佐市
同	後藤龍藏	同	荻本福一	同	三雲尙衛
同	宮崎龍平	同	一井源吉	同	林宇三郎
同	志賀二三	同	八坂三治	大分縣知事	新妻駒五郎
同	黒木幸太郎	同	平岡京佑	大分縣内務部長	市川草
同	有永昱郎	同	衛藤忠藏	大分縣警察部長	桑原一郎
同	阿部征矢太郎	同	朝吹龜三	大分縣理事官	重信文敏
同	加來佐太郎	同	岡藤夫	同	秋吉作内
同	河野澤吉	同	高橋欽哉	同	工藤猪鹿
同	小野喜一郎	同	矢幡敬太	大分縣技師	田口俊一
同	渡邊用五郎	同	黒岩岩太郎	大分縣警視	加藤安藏



第一章 趣旨及沿革

大分縣屬  
 大分市長 林 治 郎  
 大分市會議長 三浦 數 平  
 大分郡長 森 島 瀧 槌  
 速見郡長 小西 竹次郎  
 東國東郡長 竹 田 武 男  
 西國東郡長 宇 都 宮 喜 六  
 字佐郡長 谷 岩 彦  
 下毛郡長 羽 田 野 正  
 日田郡長 田 島 七 郎  
 玖珠郡長 出 事  
 直入郡長 山 内 忠 一  
 大野郡長 桂 登 利 藏  
 北海郡長 瀬 戸 山 高 光  
 南海郡長 尾 形 善 忠  
 總 坂 重 吉

大分市

長野善五郎  
 小野 駿 一  
 中尾義三郎  
 野内四郎七  
 甲斐 治 平  
 高 田 保  
 小林 師 善  
 小倉光太郎  
 板井勘兵衛  
 福崎 清 八  
 衛 藤 歎 吉  
 笹山駒二郎  
 一丸伍兵衛  
 桑原惣五郎

六

長野松太郎  
 人津 淳 三  
 磯崎德三郎  
 桑野 額 造  
 姫野 佐 平  
 二宮吉之丞  
 岩 田 章 藏  
 長野 音 治  
 中尾十三郎  
 秦 伊 津 磨  
 長 野 潔  
 星野太三郎  
 有田友太郎  
 佐藤宇三郎  
 平岡 猶 吉

第一章 趣旨及沿革

甲斐番三郎  
 岩 田 一 策  
 利 根 義 雄  
 首藤清九郎  
 幸 荒 太 郎  
 町 田 貞 造  
 秦 字 吉  
 高 山 英 明  
 吉松善四郎  
 清水準一郎  
 植木佐太郎  
 菊 池 干 城  
 小野 奎 平  
 岩 田 佐 太 郎  
 清 水 福 雄

岡崎直太郎  
 清 田 佐 市  
 太 田 秀 雄  
 池 見 菅 雄  
 安 部 春 吉  
 糸 園 哲  
 安達久米太郎  
 小手川 善 平  
 後藤新三郎  
 三浦德四郎  
 有 田 一 雄  
 村 上 幸 六  
 後藤喜太郎  
 河 野 卓 治  
 大分紡績株式會社

七

株式會社 二十三銀行  
 同 大分銀行  
 同 農工銀行  
 同 兩豐銀行  
 同 豐後銀行  
 同 北部銀行支店  
 同 成清貯金銀行  
 九州水力電氣株式會社  
 大湯鐵道株式會社  
 片 倉 組  
 大 和 組  
 男子師範學校長  
 女子師範學校長  
 大分高等女學校長  
 岩 田 女 學 校 長



第一章 趣旨及沿革

豐州女學校長  
 工業學校長  
 大分中學校長  
 市立商業學校長  
 豐州新報社  
 大分新聞社  
 大分日々新聞社  
 大分縣酒造組合聯合會長  
 大分縣畜産組合聯合會長  
 大分縣延業同業組合聯合會長  
 大分縣農會會長  
 大分縣南部延業同業組合長  
 大分縣度量衡同業組合長  
 大分縣醬油製造同業組合長  
 大分縣木蠟同業組合長  
 大分縣吳服太物機業同業組合長

大分郡

大分縣肥料同業組合長  
 大分縣穀物商同業組合長  
 大分縣洋服業同業組合長  
 大分縣蠶絲同業組合長  
 大分縣牛乳同業組合長  
 大分縣椎茸同業組合長  
 大分市農會會長  
 大分縣水産組合長  
 大分市商工會會長  
 首藤權九郎  
 安藤黃楊三  
 財津貞造  
 園田新四郎  
 池邊爲喜

甲斐謙吉  
 橋本寬吉  
 宮崎七郎  
 平尾次郎  
 藤澤常太郎  
 三浦數雄  
 清水彦太郎  
 三浦專三郎  
 八坂默丸  
 三浦大輔  
 新志萬吉  
 河井融  
 得丸善左衛門  
 首藤毅造  
 野上勘次郎

第一章 趣旨及沿革

阿部濱太郎  
 後藤哲藏  
 篠田光五郎  
 江藤成美  
 葛城堅吉  
 加藤栗太郎  
 平山福松  
 野尻司米藏  
 森田太三右衛門  
 首藤房太郎  
 帆足收藏  
 帆足後作  
 足立源藏  
 衛藤箴  
 立石喜三郎

山田巖  
 江藤長治郎  
 得丸作太郎  
 門脇平八  
 首藤忠四郎  
 安東幸平  
 佐藤速人  
 工藤猪太郎  
 利光兵二郎  
 櫻井菊治  
 渡邊勝三郎  
 高屋半平治  
 一ノ瀬熊太郎  
 三浦恒雄  
 中野惣四郎

小野辰三  
 山野眞一  
 正辰治  
 加藤仕  
 甲斐關藏  
 首藤延太郎  
 井上定  
 春野多十郎  
 平野八郎  
 甲斐泰藏  
 三河尻宏幸  
 工藤宇五郎  
 佐藤庫喜  
 渡邊新七郎  
 馬見塚英長



小野 昂  
 日野 留  
 曾根崎八郎  
 立川三之助  
 小川峰太郎  
 小野 保  
 大久保 勇  
 森山丞八  
 麻生笑人  
 半澤 宗  
 首藤正直  
 麻生久米平  
 清水直記  
 工藤一雄  
 首藤親人

首藤寶吉  
 後藤清人  
 衛藤嘉三郎  
 小野龍太郎  
 株式會社萩原銀行  
 同 平尾銀行  
 大分郡農會長  
 大分郡畜産組合長  
 大分郡酒造組合長  
 大分縣稻摺白同業組合長  
 速見郡  
 山田耕平  
 河野萬平  
 河村德一  
 鶴田道造

平尾謙平  
 武田綾太郎  
 永井次郎  
 神澤又一郎  
 中津留幸三郎  
 荒金五郎  
 淺利喜兵衛  
 磯沖菊藏  
 和田嘉七  
 小林民治  
 利光律次  
 小縣虎市  
 日名子益太郎  
 油屋熊八  
 佐藤友吉

橋本 勳  
 西尾只治郎  
 井田 等  
 永井次郎  
 友永平次郎  
 佐藤綱五郎  
 藤澤德三  
 甲斐仁右衛門  
 安達仲藏  
 片桐鎮治  
 片山民治  
 河村觀三  
 新山猪八郎  
 安部孝一  
 近 庄二六

鶴田萬吉  
 堀仙藏  
 安部謹吾  
 中妻彌七  
 濱崎丈吉  
 松尾數馬  
 池部守松  
 岩尾米藏  
 加藤八五郎  
 二宮爲作  
 小林松衛  
 加來七太郎  
 岡野定吉  
 中村大平  
 糸永岡一郎

家近 宗  
 本田嘉太郎  
 宇佐美健吉  
 大塚義雄  
 竹内勢平  
 松野孝治  
 矢野直太郎  
 高橋弘吉  
 木元謙造  
 中村忠吉  
 佐野長治郎  
 廣岡幸吉  
 加藤喜惣次  
 柴田森作  
 伊東萬彌



豊田義徳  
 古庄慶三郎  
 阿部喜六  
 永田卓爾  
 松村彌三郎  
 永田諒吉  
 永田敬藏  
 平山篤馬  
 楠原改  
 右田郁太郎  
 安部登一  
 遠藤準一  
 原駿一郎  
 帆足藏太  
 溝口八郎

佐藤由太郎  
 荒金喜助  
 西山吉郎  
 加藤永次  
 岩瀬清吾  
 大野吉次  
 吉野利金太  
 利光猛寧  
 田北嵯峨治  
 藤田新一  
 利光虎一  
 佐藤專太郎  
 阿部甚吉  
 高橋卯市  
 林新八

伊藤政澄  
 望月周作  
 阿部雲作  
 伊東寅太郎  
 二宮彌平  
 阿南虎彌  
 帶刀寅吉  
 阿部勘治  
 佐藤定雄  
 渡邊卯三郎  
 阿部友市  
 伊南萬太  
 池田永次郎  
 荒木虎彦  
 佐藤松次郎

長谷川藤太  
 小野金三郎

別府湯の花同業組合長  
 東國東郡  
 小山田精一

株式會社 別府銀行  
 同 濱脇貯蓄銀行  
 同 御越貯蓄銀行  
 同 豊岡實業銀行  
 同 朝陽銀行  
 同 山香銀行  
 成清鑛業株式會社  
 杵築商談會  
 速見郡酒造組合長  
 同 畜産組合長  
 同 農會長  
 豊後莖業同業組合長  
 杵築中學校長

後藤伴六  
 安森周吉  
 村上義次  
 寺川長一郎  
 上野儀作  
 藤原梅太郎  
 禿末如是  
 石川久實  
 清岡要平  
 佐藤潤太郎  
 西村松三郎  
 大谷宇五八

吉田文治  
 片山豊治郎  
 藤井文吉  
 内林徳郎  
 松成晋吾  
 穴井莖作  
 吉武精一郎  
 重光益男  
 重光亞細男  
 藤原小三太  
 常盤泰通  
 藤本市太郎  
 藤本守吉  
 吉岡萬九郎  
 重光信男



第一章 趣旨及沿革

吉武郁爾  
秋吉順太郎  
疇津 勳  
光永順平  
兼利岡平  
友成喜久太郎  
河野文吾  
西田榮作  
岡部新吾  
高橋千十郎  
萱島米三郎  
小山田金六  
高橋谷藏  
河野與六  
小野元次

三浦榮二郎  
石川 操  
田邊顯三郎  
加藤 實  
紀元 城  
井上 律  
中野八郎  
上阪禮作  
木田種吉  
南 久  
小玉吾吉  
小川國作  
佐藤元次郎  
手島治郎治  
廣石道夫

一四

松原龜吉  
藤原文二  
株式會社 國東銀行  
東國東郡酒造組合長  
同 畜産組合長  
同 農會 長  
同 木炭同業組合長  
同 筵業同業組合長  
同 漁業組合聯合會長  
西國東郡  
吉野松太郎  
野村禮次郎  
野村力藏  
清末新郎治  
田邊 幹

第一章

田邊 清  
佐々木卯作  
是永銀治  
東 虎吉  
小野崎萬藏  
柴田喜三郎  
甲斐豐作  
桑 原 尙  
安部鶴次郎  
山田與市  
光門喜逸  
田染萬策  
河野兼松  
安東耕太郎  
渡邊 儀作

豐田正之  
二宮傳郎  
吉田 晋  
本明芳平  
田原宗藏  
清成萬太郎  
末 棟七郎  
福田新吾  
河野小八郎  
長谷嘉十郎  
甲斐兩太  
安藤龜松  
橋本今朝太郎  
河野 望  
橋本英治

一五

桑原喜作  
橋本玉市  
都甲義六  
鷺海重太郎  
鷺海 康  
鷺海幾太郎  
兒島嘉六  
兒島基一  
藤井久吉  
野上柳次郎  
小泊恕市  
岡部米太郎  
佐藤義德  
井上愛松  
吉永論五郎

趣旨及沿革



弓崎 薰策  
 山田 虎市  
 財前 金治  
 土谷 泰藏  
 山田 儀造  
 成重 長造  
 高崎 時平  
 成重 四六  
 榎本 彌五郎  
 秋成 三郎  
 吉永 長太郎  
 本田 奎二  
 豐田 半六  
 淵 嘉八  
 木村 雄藏

國實 龍雄  
 尾形 詮  
 藤垣 賢一郎  
 株式會社 共立高田銀行  
 同 共立野村銀行  
 西國東郡 酒造組合長  
 同 木炭同業組合長  
 同 農會 會長  
 字 佐郡 富屋直太郎  
 城 洗  
 清瀬 年治  
 波邊 善助  
 弘山 末次郎  
 布津 紋吉

新貝 市郎  
 原田 庄太郎  
 箕 仙吉  
 木内 千葉二郎  
 和田 寛治  
 麻生 理一郎  
 山口 格  
 矢野 矢  
 小字 佐武藏  
 松山 正義  
 小園 保太郎  
 中島 森生  
 古殿 保治郎  
 中島 武直  
 塚崎 淺太郎

江上 孝純  
 能野 御堂高藏  
 芦刈 忠夫  
 松尾 八郎  
 相良 律藏  
 豐田 喜市  
 高橋 幡次郎  
 後藤 徹  
 江口 三敬  
 渡邊 壽一  
 蟻木 藤太  
 友成 公則  
 水之江 浩  
 水之江 文二郎  
 井上 清

岡部 徳郎  
 松本 茂  
 佐藤 閉一  
 男爵 到津 公麿  
 植松 政之助  
 高田 秀  
 増山 實夫  
 都留 吾市  
 柳田 長太郎  
 村上 五左衛門  
 津留 長次郎  
 北 藏之助  
 矢次 源十郎  
 安部 香之助  
 香下 經三

寺松 宗三郎  
 寺松 角太郎  
 江口 精一  
 中倍 寛吾  
 佐藤 必二郎  
 寺野 幸太郎  
 寺田 嘉市  
 瀧 貞庄市  
 田口 常治  
 江藤 藤市  
 佐藤 市二郎  
 佐藤 專五郎  
 山上 寅太郎  
 亭木 又市  
 香松 龜太郎



第一章 總旨及沿革

山、常吉  
尾立 維忠  
岡部今朝太郎  
時枝善一郎  
賀來 惟義  
衛藤又三郎  
石川松之助  
久井出澤逸  
宇佐郡農會副會長  
同 幹事  
同 木炭同業組合長  
同 畜産組合長  
同 酒造組合長  
株式會社 山中共立銀行  
大分縣木炭同業組合聯合會長

下毛郡

宇佐中學校長  
山口半七  
半田鐵一郎  
敷田彦三郎  
中里 眞清  
堀之内 松十郎  
辛島松太郎  
西野三二郎  
東 岩次郎  
糸園辰二郎  
菊池丑造  
佐藤寅二  
井上 錄郎  
竹内善三

加來平策  
太田昌太  
森久嘉榮  
泉 專藏  
菊池平次郎  
今角長賀  
大江政治  
鷹取節次郎  
大江卯一郎  
宮永熊吉  
宮永半太郎  
島澤伊吉  
久恒久太郎  
八丁鐵三  
植山龜三郎

第一章 總旨及沿革

賀來 駿市  
賀來 健治  
賀來 團二  
田尻 多作  
松本久二郎  
森山喜造  
三田政則  
中島鶴松  
中厚金十郎  
矢野寅太  
和才一雄  
片山反次郎  
平 吉胤  
吉田久亞  
新貝元義

三尾母義孝  
梅木 晏  
梅木源治  
小畑源太郎  
矢野正雄  
江淵 榮  
吉原宅三  
桑原郁造  
梅木芳太郎  
熊谷良雄  
中島嘉次郎  
大新田 藤太郎  
湯谷峰司  
藤田睦藏  
谷口關太郎

竹永彌十郎  
小林元市  
生山直次  
中村宣種  
小畑隼太  
小西保市  
寶珠山萬吉  
劔木恒彦  
中津新聞社  
中津新報社  
株式會社 豐前銀行  
同 中津銀行  
同 中津商業銀行  
同 山口共立銀行  
同 今津銀行



第一章 趣旨及沿革

下毛郡農會會長

同 畜産組合長

同 酒造組合長

同 木炭同業組合長

同 木材同業組合長

株式會社鐘淵紡績中津支店

同 中津絹絲紡績

同 耶馬溪鐵道

中津中學校長

中津高等女學校長

扇城女學校長

中津商業學校長

中津商工會會長

三郡漁業組合聯合會長

日田郡

熊谷頼太郎

森 閑一

後藤豐三郎

古賀甚四郎

伊藤助市

中島登子太

中島竹藏

穴井角朗

財津永義

横尾松之助

日野順一

財津寛一

權藤他仁

一ノ宮廣太

井上武

森山知城

森山安士

森山初太郎

伊藤竹二

武田秋市

手島節藏

田島永昌

瀧池浦太

手島元三

中野百次

小野鶴松

高倉重策

樋口安治

佐藤尚義

高瀬瀧三郎

長 松之助

横尾繁市

加藤武男

和田友之助

合谷三郎

合谷圓俊

田島義一

井上守

信岡義睦

幸野住吉

幸野猛

高村已乘

織田乙子

矢幡廣吉

財津直太郎

川津猪吉

森 恒太

株式會社 日田銀行

同 日田實業銀行

同 日田郡農會會長

同 畜産組合長

同 酒造組合長

同 木竹商同業組合長

日田郡立農林學校長

玖珠郡

原 貞吉

望 月 一

荒木龜太郎

小幡範藏

秋吉常太

足立石三

小野儀市

武石義夫

長野熊太

梅木重雄

緒方増藏

麻生觀八

井上文次

長尾宗次郎

佐藤貞太

佐藤源吉

佐藤慈光

時松元俊

紙屋庄太郎

株式會社 珠玖銀行

第一章

趣旨及沿革

株式會社  
二二



第一章 趣旨及沿革

株式會社 萬田 銀行  
 玖珠郡畜産組合長  
 同 農 會 長  
 同 酒造組合長  
 同 木炭同業組合長  
 同 製絲株式會社  
 玖珠製材株式會社  
 深耶馬特産株式會社  
 株式殖産會社  
 同 森昌會社  
 直入郡  
 會我平次  
 黒野猪吉郎  
 矢部太一郎  
 阿南貞吉

小山田茂一郎  
 阿南熊記  
 佐田重作  
 佐藤子老  
 本郷敦盛  
 野尻貞彦  
 工藤一藏  
 河邊烏九馬  
 横澤兵司  
 森 瑞 樹  
 大塚 鎧  
 大塚庄太郎  
 吉野靜也  
 吉野右次郎  
 佐藤恒雄

筑紫貞熊  
 佐藤千造  
 福澤淺次郎  
 大久保重次郎  
 御沓藏人  
 高山勝馬  
 森田文比古  
 田北四季平  
 直入郡農會長  
 同 畜産組合長  
 同 酒造組合長  
 同 吳服太物同業組合長  
 竹田中學校長  
 大野郡  
 伊藤清一

第一章

趣旨及沿革

赤嶺九州士  
 麻生林平  
 後藤善三郎  
 渡邊仙太郎  
 廣田成也  
 波津久岩雄  
 姫野勝五郎  
 柳井重策  
 白野蜜五郎  
 赤嶺 衛  
 神田賢藏  
 長野市五郎  
 矢野量也  
 赤嶺 惟  
 赤嶺吉文

藤田博美  
 土谷益太郎  
 江藤幸太郎  
 三浦浪夫  
 佐藤岩藏  
 佐藤 靜  
 安藤秀吉  
 和歌山宗人  
 小野村雄  
 佐藤貞彦  
 小野和吉  
 衛藤虎藏  
 首藤榮太  
 佐藤篤馬  
 土谷元夫

市萬田虎人  
 植山直衛  
 加藤益雄  
 佐藤寛三  
 是久利長  
 伊東千代馬  
 衛藤義直  
 戸次國夫  
 首藤賀壽人  
 後藤肅藏  
 後藤圓次郎  
 首藤 徹  
 森 環  
 甲斐仙四郎  
 羽田野 鳥太郎



古野 増喜  
 佐藤 伊三郎  
 秦 種親  
 兒玉 玉三郎  
 足立 義幸  
 永井 喜久馬  
 足立 鼎  
 廣瀬 鑛幸  
 武藤 龜人  
 高木 力松  
 廣瀬 彦太郎  
 阿南 猛  
 株式會社 大野成業銀行  
 大野郡 畜産組合長  
 酒造組合長

同 農會 會長  
 同 木炭同業組合長  
 農學校 校長  
 北海部郡  
 可見 孝二郎  
 山本 泰雄  
 小手川 金次郎  
 甲斐 文七  
 首藤 八郎  
 堀 長次郎  
 渡邊 甚七  
 渡邊 有利太  
 岡田 勝右衛門  
 成良 良雄  
 堺田 次郎

平山 徳治  
 和田 善三郎  
 太田 美之吉  
 高見 嘉次郎  
 澤田 元太郎  
 釘野 長二郎  
 上野 三六  
 扶間 千年  
 椎原 秋太郎  
 村谷 半四郎  
 藤田 辰吾  
 幸 藤治  
 杉原 松三郎  
 藤本 保  
 中野 徹

高 森直  
 首藤 利光  
 安 東弘  
 芥川 藤四郎  
 幸 幸造  
 齊藤 常治  
 川野 太郎  
 深井 正藏  
 佐藤 忠次郎  
 濱田 辰次郎  
 川崎 善太郎  
 南 榮太郎  
 久原 鑛業株式會社  
 株式會社 北都銀行  
 同 佐賀關銀行  
 第一章 趣旨及沿革

株式會社 白杵銀行  
 同 津組銀行  
 北海部郡 畜産組合長  
 同 酒造組合長  
 同 農會 會長  
 白 杵 中學校 校長  
 豐後柑橘北海部郡同業組合長  
 豐後石灰同業組合長  
 白杵商談會長  
 北海部郡漁業組合聯合會長  
 南海部郡  
 小田部 隣  
 黑田 千代藏  
 黒川 關平  
 片岡 正路

藤本 嘉吉  
 川野 彌五郎  
 安部 實五郎  
 出納 甫吉  
 今井 駒吉  
 保田 勘治  
 藤川 銀藏  
 岡田 太作  
 大賀 作一  
 河本 照  
 柴田 玉彦  
 石田 鶴藏  
 小寺 才次郎  
 廣瀬 作太郎  
 安部 民吉



黒木春烈  
 柴富彌七  
 吉田津留藏  
 染矢恭次郎  
 川野良平  
 市瀬永太郎  
 河野富太郎  
 加藤敬作  
 吉良昌吉  
 川野寅五郎  
 河野嘉三郎  
 高野盈吉  
 平山茂作  
 寶戸國夫  
 下岡泉

戸高惣太郎  
 大友梅三  
 安達平太郎  
 竹中由藏  
 河原泰藏  
 正田慶次郎  
 渡邊久米吉  
 安藤賢  
 汐月金太郎  
 染矢勲太郎  
 阿部寛治  
 山内鍊爾  
 米田松藏  
 赤崎雅五郎  
 廣津留權治郎

若林鐵藏  
 野村諸平  
 瀧川大喜治  
 織戸柴録  
 赤江用藏  
 脇谷九佑  
 小野萬藏  
 酒井善吉  
 牧勇三郎  
 藤川銀藏  
 岡田太作  
 出納穂佑  
 高橋佐五郎  
 南海部郡酒造組合長  
 同 漁業組合聯合會長

### 第二章 規則

發起人會に於て定めたる本會規則及會員待遇規程左の如し。

#### 九州沖繩八縣聯合共進會 大分縣協賛會規則

##### 第一章 總則

- 第一條 本會は九州沖繩八縣聯合共進會の事業を協賛し觀覽者の便宜を圖り之に關する諸般の施設經營を爲すを以て目的とす
- 第二條 本會は九州沖繩八縣聯合共進會大分縣協賛會と稱す
- 第三條 本會は其事務所を大分縣廳内に置く

同 木炭同業組合長  
 同 畜産組合長  
 同 農會長  
 南豊朝日新聞社  
 佐伯新聞社

株式會社 百九銀行  
 同 鶴谷貯金銀行  
 同 二十三銀行支店  
 同 大分銀行支店  
 同 北都銀行支店

株式會社 臼杵銀行支店  
 合抱株式會社  
 三輪海産株式會社



第四條 本會は本會の目的を賛成する有志者(法人を含む)を以て之を組織す

第五條 本會の經費は會員の贈金、寄附金、補助金及其他の收入金を以て之に充つ

第六條 本會經費の收入、支出豫算は評議員會の議決を経て會長之を執行す、但創立の際は發起人會の議定に依るこゝを得

第七條 本會の經費收入支出決算は評議員會に之を報告す、但餘剰金あるときは評議員會の意見を聽き會長之を處分す

第八條 本會は第十四回九州沖繩八縣聯合共進會の閉會後事務の結了と共に之を解散す

第九條 本會に關し特に金品を寄贈し又は特に功勞ある者は特別の優遇を爲すものこゝす

### 第二章 事業

第十條 \*會に於て施設經營すべき事業の概目左の如し

一、觀覽者の勧誘に關するこゝ

二、内外來賓の優遇に關するこゝ

三、觀覽人の便利を圖るこゝ

四、案内記其他各種出版物の編纂刊行に關するこゝ

五、共進會の紹介に關するこゝ

六、餘興の設備、經營及勧誘に關するこゝ

七、會場其他の裝飾に關するこゝ

八、共進會を賛贊せる事業の獎勵に關するこゝ

九、物産の廣告及調査に關するこゝ

十、會員の待遇に關するこゝ

十一、其他必要を認むる事項

### 第三章 會員

第十一條 本會の會員を分ちて左の五種とす

一、特別名譽會員 千圓以上贈金者

二、名譽會員 參百圓以上贈金者

三、特別會員 百圓以上贈金者

四、正會員 五拾圓以上贈金者

五、通常會員 拾圓以上贈金者

會員の徽章及待遇方法は別に之を定む

第十二條 會長は常議員又は顧問に諮り本會に功勞ある者を特別名譽會員、名譽會員又は特別會



員に推薦することを得

第十三條 本會の目的を贊助し物件を寄附し又は努力其他を無償にて提供したる者には其程度に應じ會長に於て謝狀を贈呈し且つ相當の待遇を爲すことあるべし

第四章 機關及權限

第十四條 本會に左の役員を置く

一、會長	一名
二、副會長	三名
三、顧問	若干名
四、理事	若干名
五、常議員	若干名
六、評議員	若干名
七、郡市委員長	十三名
八、郡市委員	若干名

第十五條 會長及副會長は發起人會に於て之を選擧す其他の役員は會長之を囑託す但し會長副會長に缺員を生じ又は増員を要するときは常議員又は顧問に諮りて之を推選することを得

第十六條 會長は本會を統理し本會を代表す

會長は會議あるとき其議長となる

會長は事務の一部を副會長に委任することを得

副會長は會長を補佐し會長事故あるときは之を代表す但代理の順序は會長の定むる所に依る

顧問は重要事項の計畫及實行に付最高諮詢に應ず

理事は會長の指揮を受け會務を掌理す

常議員は重要な會務に參與し緊急を要する事故あるときは評議員に代りて之を議決す

評議員は豫算を議決し決算を認定し其他重要な事項を議定す

郡市委員長は會長の指揮を受け地方に於ける會務を掌理す

郡市委員は委員長の命を受け地方に於ける庶務に従事す

第十七條 常議員會及評議員會は必要あるときは會長之を招集す總て會議々事は出席員の過半数を以て之を決す可否同數なるときは議長の決する所に依る

第十八條 役員は總て名譽職とす但會務の爲に要する實費又は報酬手當は之を給することを得  
前項の給與及給與額は會長之を定む

第十九條 會長は必要に應じ第十四條以外の役員又は書記を囑託し且つ有給の事務員若くは其



他傭人を雇傭解免するこゝを得

第五章 附則

第二十條 本則は常議員會の議決に依り之を變更するこゝを得

第二十一條 本會事務執行に關する處務規程其他必要なる規定は會長之を定む

第二十二條 臨時急施を要する事項は其權限の何れに屬するを問はず臨時會長之を專行するこゝを得

九州沖繩八縣聯合共進會 大分縣協賛會々員待遇規程

第一條 會員には記念徽章を贈呈す其種類は別に之を定む

第二條 會員には左の區別に従ひ觀覽券を贈呈す

特別名譽會員 百枚以上

名譽會員 七拾枚以上

特別會員 五拾枚以上

正會員 貳拾五枚以上

通常會員 拾枚以上

特別名譽會員觀覽の場合には特に案内者を附す

第三條 會員には左の區別に従ひ特別優待券又は優待券を贈呈し共進會場内に於ける本會優待所に於て相當の待遇を爲す

特別名譽會員 特別優待券一枚 優待券五拾枚以上

名譽會員 同 上 同 貳拾枚以上

特別會員 同 上 同 拾枚以上

正會員 同 上 同 貳拾枚以上

通常會員 同 上 同 拾枚以上

特別優待券は會期中通用し優待券は一枚一回限りす

特別名譽會員及名譽會員には同伴の家族に對し同一の待遇を爲す

第四條 會員には左の區別に従ひ本會に於て發行する圖書を贈呈す

特別名譽會員 案内記 甲、乙 繪葉書 共進會案内

名譽會員 同 同 同 同

特別會員 同 甲 同 同

正會員 同 乙 同 同

通常會員 同 同 同 同



第五條 會員は左の區別に従ひ儀式又は宴會に招待す

特別名譽會員 各式及其宴會並に夜會

名譽會員 同上

特別會員 二式及其宴會

正會員 褒賞授與式及其宴會

各式は開會式、褒賞授與式及閉會式を謂ひ二式は開會式及褒賞授與式を謂ふ

第六條 本會に於て演藝の經營を爲すときは會員には左の區別に従ひ觀覽券を贈呈す

特別名譽會員 參拾枚以上

名譽會員 貳拾枚以上

特別會員 拾枚以上

正會員 五枚以上

特別名譽會員及名譽會員は其記念徽章に依り隨時無料にて觀覽するこゝを得

第七條 會員には醜金額に應じて謝狀を贈呈す

特別會員以上に對しては前各條の外別に記念品配付等特別優遇を爲すこゝあるべし

第八條 前各條の待遇は醜金の全額を完納したる後に於て之を爲すものこす

第九條 寄附者に對しては其寄附金額に應じ本規程に準じ相當の待遇を爲すものこす  
第十條 會長に於て特に必要ありと認むるときは本規程の待遇を適宜に進めて優待するこゝを得

### 第三章 事務及機關

#### 第一節 事務分掌

本會は大分縣官及び大分市、別府に於ける共進會に關係ある有志、鐵道當局者を理事に、縣會議員、郡市長其の他有志を常議員に、各郡市有志を評議員に、郡市長市會議長を郡市委員長に、郡市町村吏員及び有志に郡市委員を囑託し、萬般の處務を處理し、事務彌々繁劇に向ふに隨ひ專任事務員を置くに至りたり、本會事業の經營實施に就いては隨時必要に應じて關係役員或は委員會を開き協定して各種事業との連絡を圖り共進會案内、觀覽誘致、會費募集に關しては縣内にては委員長に、縣外は適當の有志に委嘱したり、共進會開會せらるゝや會務頗る多端に亘り且つ何れも念を要するものにして役員會の協議を経る迄なかりしを以て各係りを定め會長統督の下に役員をして其の分掌事務に執筆せしめ、毫も遺憾なからしむる事を期したり、處務規程左の如し。



九州沖繩八縣  
聯合共進會 大分縣協賛會處務規程

第一條 本會事務所に左の係員を置く

總務係 餘興係 接待係 工營係 會計係

第二條 各係に係長を置く

係長は會長副會長の指揮を受け其係に屬する事務を掌理す

第三條 各係の分掌事務左の如し

總務係

- 一 機密文書に關する事項
- 二 印章保管に關する事項
- 三 文書の收受發送に關する事項
- 四 諸規則の制定變更に關する事項
- 五 記録編纂紹介廣告及出版に關する事項
- 六 各種會議に關する事項
- 七 經費豫算に關する事項
- 八 會員の募集に關する事項

九 各種大會に關する事項

十 儀式に關する事項

十一 宴會に關する事項

十二 案内記圖書繪葉書等の編纂刊行に關する事項

十三 名勝舊蹟遊覽地の紹介に關する事項

十四 展覽會其他協賛事業に關する事項

十五 他係の分掌に屬せざる事項

餘興係

一 演藝館の經營に關する事項

二 觀覽獎勵に關する事項

三 夜間開場に關する事項

四 會場其他の裝飾に關する事項

五 餘興開催に關する事項

接待係

一 優待所接待所の設備に關する事項



- 二 來賓其他送迎接待及案内に關する事項
- 三 會員の待遇に關する事項
- 四 聯合縣郡事務所に關する事項
- 五 旅舎及共同宿泊所に關する事項
- 六 其他接待に關する事項

工營係

- 一 土木に關する事項
- 二 建設物の設計建築修繕及監督に關する事項
- 三 式場設備に關する事項
- 四 其他營繕に關する事項

會計係

- 一 經費の收支金錢物品の出納保管に關する事項
- 二 物品の調度に關する事項
- 三 備人の備入に關する事項
- 四 不用物品處分に關する事項

五 經費の決算に關する事項

第四條 左の事項は之を指定せる副會長に委任す

- 一 輕易なる事件の照會往復に關する件
  - 二 事務員以下雇人備人の採用罷免及使用に關する件
  - 三 理事以下の事務分擔を定むる件
  - 四 一廉金貳百圓未滿の物件購入借入修繕の件
  - 五 車馬雇入の件
  - 六 其他特に委任したる事項
- 第五條 本會に到達したる文書は總て總務係に於て收受し之を各主務係に配付すべし
- 第六條 文書の配付を受けたるときは主務係に於て直に之を處理すべし
- 第七條 各係に於て處理する事項中他係に關係有るものは其係に合議するの外尙總務係に合議すべし

第八條 完結書類は各主務係に於て編纂整理の上總務係に引繼ぐべし

第九條 各係に於て處理したる要務の顛末は其主任に於て之を記録し置き開會後係長を経て總務係に引繼ぐべし



第十條 本文に規定無き事項に付ては九州沖繩八縣聯合共進會事務取扱の例に準ず

### 第二節 役員及職員

#### 役職員及係別

會長 新妻駒五郎	子爵 大給近孝	平山茂八郎	工藤猪鹿
副會長 市川 覃	元 田 肇	箕浦勝人	岡本保三
同 高田 保	男爵 山本達雄	重松重治	岡本 寬
同 麻生觀八	松田源治	山口半七	高橋一郎
顧問	一宮房治郎	小野駿一	小川運平
伯爵 奧平昌恭	男爵 成清信愛	和田豐治	仲村四郎
伯爵 中川久任	吉良元夫	男爵 横田國臣	桑原一郎
子爵 木下俊哲	金光庸夫	三浦數平	白松喜久代
子爵 毛利高範	木下謙次郎	石丸重美	横尾惣三郎
子爵 稻葉順通	長野善五郎	小平保藏	田口俊一
子爵 久留島健三郎	水之江 文二郎	理事 林 治郎	堀部作信
			金田源太郎

工藤 穀造	大津 淳三	佐久間 謹吾	一九 岡平
小野 廉	高山 英明	二宮 爲作	村上 巧兒
阿部 征矢太郎	渡邊 新十郎	鷺崎 文三	島山 一夫
笹山 駒二郎	高橋 欽哉	川井 運一	星野 太三郎
衛藤 又三郎	山田 耕平	里内 常太郎	本 莊 昇
長野 潔	高田 彦太郎	桑原 惣五郎	後藤 喜間太
佐藤 虎雄	河村 萬平	姫野 佐平	戸田 弘毅
衛藤 忠藏	菊池 干城	田島 嘉次郎	秦 靜 彦
安部 春吉	長野 綱良	横田 作藏	粟盛 正 誼
安藤 龜五郎	吉岡 孝一	太田 秀雄	河 本 清
武田 綾太郎	五十嵐 明	長野 晋治	中野 亘
後藤 喜太郎	吉岡 常松	中尾 十三郎	千歲 喜平
内木 浩亮	岡本 龍已	森島 瀧 榎	常議員 桑原 一郎
衛藤 一六	芳賀 宗太郎	桑野 額造	工藤 猪鹿
牧 善五郎	青木 庸富	磯崎 徳三郎	



岡本保三  
田口俊一  
横尾惣三郎  
白松喜久代  
小野廉  
衛藤一六  
阿部征矢太郎  
牧善五郎  
宮崎龍平  
高橋欽哉  
佐藤虎雄  
衛藤忠藏  
橋本彌五郎  
一井源吉  
高井佐市

八坂三治  
河野澤吉  
河村喜一  
有永昱郎  
林宇三郎  
帆足悅藏  
小野喜一郎  
渡邊用五郎  
黑岩岩太郎  
志賀二三  
荻木福一  
後藤龍藏  
平岡京佑  
朝吹龜三  
黒木幸太郎

久保壽獲  
廣崎嘉十郎  
岡藤夫  
矢幡敬太  
三雲尙衛  
竹岡吉太郎  
轟祥太  
大津淳三  
長野潔  
衛藤又三郎  
武田綾太郎  
笹山駒二郎  
坂井勘兵衛  
高山英明  
帆足後作

水之江浩  
桑原惣五郎  
姫野佐平  
太田秀雄  
森島瀧槌  
中尾義三郎  
田島嘉次郎  
甲斐治平  
小倉光太郎  
棚橋琢之助  
片倉耕介  
横溝萬吉  
片倉彌太郎  
會木晋  
長岡三郎

山上猛虎  
高橋弘吉  
原駿一郎  
篠崎豐彦  
一丸伍兵衛  
岩田章藏  
後藤喜太郎  
重松龜太郎  
布津紋吉  
加來惟義  
渡邊壽一  
大分市長  
大分郡長  
速見郡長  
東國東郡長

西國東郡長  
宇佐郡長  
下毛郡長  
日田郡長  
玖珠郡長  
直入郡長  
大野郡長  
北海部郡長  
南海部郡長  
加藤安藏  
村岡清吉  
竹中菊次郎  
廣田虎男  
稻田靜雄

野内四郎七  
福崎清八  
小林師善  
衛藤歡吉  
二宮吉之丞  
秦伊津磨  
星野太三郎  
有田友太郎  
首藤清九郎  
秦宇吉  
町田貞造  
吉松善四郎  
清水準一郎  
清水福雄  
小野李平

津久井逸平  
織部寛一郎  
中山政男  
桑原政清  
中尾十三郎  
安部幹夫  
佐藤宇三郎  
安達久米太郎  
池見菅雄  
磯崎德三郎  
利根義雄  
後藤新三郎  
桑野頴造  
牧敏造  
長野晋治

評議員



平岡猶吉  
甲斐音三郎  
秦 葵 夫  
河野卓治  
赤嶺忠恕  
糸 園 哲  
三浦德四郎  
園田爲次郎  
後藤喜四太郎  
有田一雄  
村上幸六  
安部春吉  
清田佐市  
安東藤太郎  
小手川善平

帆足後作  
佐藤庫喜  
渡邊新七郎  
財津貞造  
半 澤 宗  
帆足收藏  
首藤穀造  
得丸善左衛門  
大久保 勇  
小 野 昂  
三浦恒雄  
利光兵二郎  
松村嘉平  
後藤清人  
首藤權九郎

園田新四郎  
宮崎七郎  
清水恕七  
阿部濱太郎  
八坂默丸  
竹 中 澄  
加藤栗太郎  
野尻司米藏  
工藤猪太郎  
二宮實五郎  
井 上 定  
宮崎龍平  
甲斐泰藏  
小 野 保  
佐藤憲夫

工藤一雄  
立石喜三郎  
渡邊勝三郎  
麻生笑人  
立川三之助  
麻生久米平  
首藤忠四郎  
牧 善五郎  
秦 國五郎  
今村森太郎  
日 野 覺  
小川眞澄  
佐藤秀男  
高橋孫三郎  
大塚義雄

平尾謙平  
宇佐美健吉  
鶴田道造  
林 新 八  
永田敬藏  
武田綾太郎  
永田卓爾  
右田郁太郎  
本田嘉太郎  
矢野直太郎  
伊東萬彌  
帆足藏太  
西山吉郎  
田北嵯峨次  
吉野利金太

佐藤惣吾  
河野甚吉  
望月周作  
原 田 亨  
伊東寅太郎  
阿南虎彌  
豐田電太郎  
阿部勘治  
伊藤穀太郎  
渡邊卯三郎  
伊南萬太  
佐藤松治郎  
山崎文喜  
本庄謙治  
木元謙造

中村忠吉  
古庄慶三郎  
帶刀實吉  
佐藤定雄  
竹内勢平  
神澤又一郎  
利光律次  
片山民治  
中津留幸三郎  
永井次郎  
橋本 勳  
池部守松  
和田嘉七  
永井次郎  
吉田貞吉

小縣虎市  
豐田藤助  
長田稻置  
岩尾米藏  
南 波 保  
上月六郎  
河村觀三  
利光哲天  
是永實太郎  
本田德平  
安森周吉  
中野八郎  
西田榮作  
後藤伴六  
崎 津 勳



小川國作  
寺川長一郎  
上野儀作  
石川久實  
小山田精一  
西村松三郎  
片山豐次郎  
松成晉吾  
重光益男  
常盤通泰  
吉岡萬九郎  
吉武郁爾  
光永順平  
河野久吾  
高橋千十郎

中野忠依  
小野元次  
田邊顯三良  
井上律  
本田種吉  
廣石道夫  
清岡要平  
野村禮治郎  
清末新郎治  
野村力藏  
渡邊儀作  
甲斐豐作  
田邊幹  
吉野松太郎  
本田奎二

河野兼松  
甲斐兩太  
本明芳平  
安藤龜松  
橋本英治  
安本新  
兒島嘉六  
野上柳次郎  
佐藤義德  
山田虎市  
山田儀藏  
榎本彌五郎  
後藤與八郎  
財萬克己  
是永銀治

小野田六治郎  
仲井市郎治  
福田賢太郎  
弓崎薰策  
淵嘉八  
河野要藏  
野田眞臣  
高木又市  
古椎樹夫  
古殿保治郎  
香下經三  
江上孝純  
相良律藏  
植松政之助  
富屋直太郎

弘山末次郎  
原田庄太郎  
藤 涉  
小字佐武藏  
中島森生  
塚崎淺太郎  
芦刈忠夫  
江口三敬  
友成公則  
岡部德朗  
柳田長太郎  
津留長次郎  
矢次源十郎  
安部香之助  
赤松宗三郎

安倍寬吾  
加來佐太郎  
小野好雄  
田口常治  
佐藤市二郎  
大坪重軌  
石川松之助  
井上清  
和田寬治  
城 洗  
矢野矢  
清瀬年治  
岡部今朝太郎  
松本茂  
大副初二郎

相良一男  
小園初太郎  
高田秀  
濱高家成事  
佐藤聞一  
佐藤貫陵  
木内千葉二郎  
高木蘭平  
辛島松太郎  
敷田彦三郎  
中里眞清  
堀之内松十郎  
佐藤寅二  
井上錄郎  
竹内善治

太田昌太  
八丁鐵三  
矢野寅太  
熊谷義雄  
東岩次郎  
糸園辰二郎  
西野三治郎  
森久嘉策  
菊池安之丞  
宮永熊吉  
森山喜造  
平田吉胤  
梅木芳太郎  
菊池平次郎  
久垣久太郎



湯谷峯司  
大新田藤太郎  
賀來團二  
永岡重藏  
松本久二郎  
藤田睦藏  
谷田關太郎  
植山龜三郎  
藤富武次郎  
中島鶴松  
竹永彌十郎  
小林元市  
三尾母義幸  
梅木源治  
生山直次

木村虎三郎  
小畑理太  
小西保市  
桑原郁造  
中島嘉次郎  
寶珠山萬吉  
劍木恒彦  
白木原友三郎  
林田操  
竹野敬司  
井上武  
樋口安治  
合谷圓俊  
合谷三郎  
中島不二人

中島寬兵衛  
森閑一  
中島竹藏  
橫尾松之助  
古賀甚四郎  
熊谷頼太郎  
伊藤助市  
帆足悅藏  
財津永義  
財津寬一  
一ノ宮廣太  
森山安士  
伊東竹次  
田島永昌  
藪田正基

小野鶴松  
高瀬龍三郎  
加藤武男  
井上守  
桑野住吉  
矢幡廣吉  
財津直太郎  
小幡範藏  
梅木重雄  
了戒晋作  
足立石三  
武石義夫  
長野熊太  
原貞吉  
秋吉常太

緒方増藏  
時松元俊  
井上文次  
佐藤慈光  
橋爪安彦  
工藤一藏  
矢部太一郎  
佐藤恒雄  
田北四季平  
大津音一  
森瑞樹  
三宮松藏  
佐藤虎太  
會我平次  
阿南熊記

佐藤千造  
阿南貞吉  
小山田茂一郎  
佐藤重作  
本郷敦盛  
阿南右市  
河邊鳥九馬  
橫澤兵司  
大塚鎮  
大塚庄太郎  
吉野靜也  
吉野右次郎  
筑紫貞熊  
大久保重次郎  
御香藏人

高山勝馬  
森田文比古  
後藤治八郎  
佐藤邑次郎  
佐藤今朝夫  
廣瀬喜三郎  
伊藤清一  
首藤徹  
佐藤岩藏  
森環  
後藤肅藏  
後藤善三郎  
廣田成也  
秦種親  
安藤喜一郎

安藤秀吉  
赤嶺九州士  
渡邊仙太郎  
波津久岩雄  
姫野勝五郎  
向野蜜五郎  
神野堅藏  
矢野量也  
江藤幸太郎  
佐藤靜  
和歌山宗人  
佐保貞彦  
波津久齊  
首藤榮太  
佐藤篤馬



市萬田虎人  
加藤益雄  
三代憲人  
衛藤義直  
戶次國男  
後藤圓次郎  
足立義幸  
堀恒夫  
甲斐仙四郎  
足立鼎  
安部義人  
阿南猛  
村上會市  
武藤龜人  
三浦浪夫

羽田野島太郎  
衛藤虎藏  
幸大八  
可兒孝二郎  
首藤八郎  
渡邊甚七  
渡邊有利太  
山本泰雄  
甲斐文七  
堀長次郎  
田中眞作  
平山德治  
挾間千年  
渡邊卯兵衛  
高見嘉次郎

太田美之吉  
岡田勝右衛門  
小手川惣太郎  
米澤萬陸  
堺田次郎  
澤田元太郎  
椎原秋太郎  
江藤虎次郎  
幸藤治  
杉原松三郎  
藤本保  
高森直  
中野徹  
首藤利光  
芥川藤四郎

幸幸造  
齋藤常治  
川野太郎  
深井正藏  
佐藤忠次郎  
和田善三郎  
石田才一  
川崎善太郎  
南榮太郎  
小野信三  
村谷半治郎  
黒川關平  
野村金吾  
小田部隣  
藤川銀藏

根木久松  
柴田玉彦  
廣瀬作太郎  
山本靜松  
染矢恭次郎  
一瀬永太郎  
加藤敬作  
川野寅五郎  
高野盈吉  
寶戶國夫  
下岡泉  
安達平太郎  
川原泰藏  
正田慶次郎  
染矢勲太郎

谷川彌藏  
米田松藏  
瀧川太喜治  
脇谷九佑  
酒井善吉  
甲斐茂八  
片岡正路  
河野速水  
高野金太郎  
阿部寛治  
渡邊久米吉  
平山茂作  
出納元輔  
山本壽美男  
三原才藏

和泉和

大分市委員長 森島瀧槌

委員

衛藤一六  
阿部征矢太郎  
衛藤歡吉  
池見菅雄  
太田秀雄  
太田信昌  
大津淳三  
牧敏造  
安東藤太郎  
長野潔  
板井勘兵衛

今井駒吉

立野貫一  
岩田浩  
津久井逸平  
小倉光太郎  
安達久米太郎  
野中九郎  
佐藤宇三郎  
後藤喜四太郎  
河野卓治  
井上清一郎  
安井新三郎  
秦兼太郎



溝口才太郎  
衛藤又三郎  
辻儀之  
村上巧兒  
一九伍兵衛  
小手川善平  
一九圓平  
甲斐治平  
高木猪六  
織部寬一郎  
村田四五六  
須藤重登  
山上猛虎  
平松作平  
桑野額造

後藤芳馬  
森守平  
姫野佐平  
織部秀彦  
草津幾太郎  
野尻孝一  
岩田章藏  
高田保  
三井秀五郎  
笹山駒二郎  
長野音治  
桑原惣五郎  
糸園哲  
兒玉新兵衛  
村上幸六

吉松幸太郎  
橫溝萬吉  
小野廉  
渡邊太三郎  
星野太三郎  
後藤七郎  
安部春吉  
野內恕助  
兒玉卯三郎  
小野龜太郎  
植木庄太郎  
後藤喜太郎  
赤嶺忠恕  
中尾十三郎  
福崎武三郎

野內淳一  
田吹環  
瀧川總太郎  
五島軍平  
林直藏  
笠置元治  
桑原政清  
江藤等  
田島嘉次郎  
福崎清八  
野內寬六  
狹間千年  
水野山太郎  
曾木晋  
高山英明

清水啓藏  
是永鐵藏  
後藤壽三郎  
清水準一郎  
小野奎平  
安部嘉七  
渡邊儀平  
岩田佐太郎  
是永幸太郎  
是永和市  
柴田伊之助  
磯崎宗太郎  
吉松善四郎  
安部多四郎  
植木國五郎

植木佐太郎  
棚橋琢之助  
木木伊四郎  
鹿島寬太  
磯崎德三郎  
佐藤恒太郎  
片倉耕介  
後藤新三郎  
園田彦市  
有田幸太郎  
甲斐勝三郎  
平岡猶吉  
衛藤郡平  
幸荒太郎  
人見恒藏

三浦德四郎  
二宮吉之丞  
園田爲次郎  
有田一雄  
甲斐伊三郎  
岩田林平  
有田友太郎  
甲斐音三郎  
秦浪次郎  
後藤長五郎  
佐藤菊造  
清田佐市  
町田貞造  
若杉章平  
清水福雄

利根義雄  
池田龜喜  
秦藁夫  
櫻井陣平  
安部貞次郎  
岡崎清太郎  
小野由之丞  
首藤清九郎  
森崎萬吉  
小野勝助  
秦伊津磨  
和田幸次郎  
岡部七五三  
秦宇吉  
河野官平



生野勘吾  
橋本伊吉  
橋本兵吉  
河野馬太郎  
片倉彌太郎  
清田良平  
安藤龜五郎  
矢野猪十二  
小野慎一  
佐藤周平  
安藤武雄  
佐藤倉市  
佐藤喜生彦  
植木和太郎  
廣田虎尾

磯崎勝藏  
釘宮徳太郎  
後藤定次郎  
橋本浩平  
三浦忍  
二宮鶴造  
小原岩平  
工藤和太郎  
渡邊喜六  
鷺尾官吉  
磯崎丈助  
吉田常五郎  
佐藤悦次郎  
工藤運平  
荒卷悦五郎  
牧兵作

大分郡委員長 小西竹次郎

委員

牧健平  
佐藤伯  
三重野角太郎  
山本武雄  
豐崎九市  
木戸佐一  
井尻武雄  
小川眞澄  
大津留 節  
佐藤秀雄  
立川正幹  
和田直人  
内田幸次郎

吉田七郎  
三重野芳松  
安達治三郎  
辛島儀太郎  
村上富次  
釘宮林平  
工藤清彦  
春野重里  
廣瀬太郎  
甲斐權平  
古長一  
藤永敬  
竹内薫雄  
伊藤平祐

速見郡委員長 羽田野正

委員

今村森太郎  
小野保  
麻生久米平  
清水恕七  
土谷吾六  
安部伯  
一宮逸夫  
小野二八  
木付徳彌  
宗像義實  
後藤富夫  
宇都宮與市  
武田綾太郎

宮崎龍平  
秦國五郎  
姫野武一

友永餘六  
工藤長次郎  
日名子太郎  
市丸施七郎  
帆足藏太  
西山吉郎  
永田卓爾  
右田郁太郎  
是永寶太郎  
本田嘉太郎

佐藤篤次郎  
工藤左馬太  
後藤數太郎  
河野末八  
丸井藤六  
柴崎壽老  
植木孫八  
小川演次郎  
後藤清人  
首藤權九郎  
園田新四郎  
宮崎七郎  
八坂默丸  
松村嘉平  
竹中澄

阿部濱太郎  
工藤一雄  
加藤栗太郎  
野尻司米藏  
帆足收藏  
立石喜三郎  
首藤忠四郎  
工藤猪太郎  
渡邊勝三郎  
二宮實五郎  
平野八郎  
甲斐泰藏  
佐藤憲夫  
日野野覺  
立川三之助



吉野利金太  
田北嵯峨治  
利光哲夫  
阿部甚吉  
原田享  
矢野直太郎  
望月周作  
本田德平  
阿南虎彌  
伊藤毅太郎  
伊東萬彌  
豐田雪太郎  
佐藤松次郎  
山崎文喜  
大塚靜太郎  
澁谷繁造

東國東郡委員長 秋吉作内

委員

坂下永夫  
佐藤藤太  
有永定喜  
津崎重作  
萱島虎吉  
森美法  
明石定男  
吉武義信  
久米寅治  
高木時二  
立花觀一郎  
後藤繁雄  
楠圓成

村本義一  
入江順藏  
井上久次郎  
後藤圓知  
猪俣百合吉  
平塚溜  
上野正丸  
小山田精一  
内田留吉  
中島德應  
吉松義夫  
上野儀作  
芹川虎治  
重光益男

常盤泰通  
宮川貢  
吉武郁爾  
石川久賢  
光永順平  
酒井玉三郎  
高橋千十郎  
魚返友吉  
林金吾  
田邊顯三郎  
井上律  
片山豐治郎  
木田種吉  
小川國作  
廣石道夫

西國東郡委員長 長谷岩彦

委員

福田亮吉  
佐藤潤太郎  
中野忠依  
寺川長一郎  
藤井文吉  
藤本守吉  
長木權吉  
明石實  
田染八郎  
渡邊左右吉  
河野力  
近藤多藏  
小野政吉

萱島金吉  
野田四郎  
岐部宅治  
小川恂一郎  
安松朝治  
牧野寬吾

平山直太  
新粥七郎  
吉武卓三  
井上巖司  
和田萬次郎  
吉野松太郎  
高田淺

宇佐郡委員長

委員

甲斐豊作  
河野要藏  
本明芳平  
甲斐兩太  
安藤龜松  
橋本英治  
安本新  
兒島嘉六  
熊田千記  
御所隆德  
波多重雄  
中井常之助  
渡邊徹藏

野上柳次郎  
佐藤義徳  
山田虎市  
山田儀造  
榎本彌五郎  
瀧口重利  
野田眞臣

相良武夫  
北辰雄  
弘山米次郎  
原田庄太郎  
木内千葉二郎  
篠沙



小字佐武藏  
中島森生  
塚崎淺太郎  
芦川忠夫  
相良律藏  
江口三敬  
友成公則  
岡部徳郎  
植松政之助  
柳田長太郎  
津留長次郎  
富屋直太郎  
矢次源十郎  
安部香之助  
赤松宗三郎

永田嘉市  
衛藤鶴市  
石井吉三郎  
丹生菊次郎  
渡邊壽一  
蟻木藤太  
宮ノ上善藏  
松原嘉六  
長岡米市  
桐畑鼎  
金光泰  
中島武直  
中島宇六  
安倍寛吾  
田口常治

佐藤市次郎  
山上寅太郎  
尾立維忠  
石川松之助  
矢野洪策  
南浦吉  
南小十郎  
高橋幡次郎  
後藤徹  
司城政雄  
佐藤必二郎  
上田久松  
本田倉次郎  
島田定次郎  
久恒富太郎

江藤元市  
川面菊藏  
小野秋吉  
衛藤彌十  
佐藤精一  
信國多市  
永松貢  
北藏之助  
徳光連  
石丸恕一  
大森卯九郎  
相良一男  
城洗  
清瀬年治  
渡邊善助

矢野矢  
山口格  
時枝卯市  
橋本重之  
南休二郎  
今仁閑心  
奈良理吉郎  
財田健七  
小犬丸貞吉  
末永本吉  
大江進一  
中園初次郎  
松宗松太郎  
新開義久  
小野徳太

高木蘭市  
時枝信三  
松本福太  
大坪重軌  
岡部今朝太郎  
佐藤基吉  
藤田秋月  
江藤藤一  
松本要之助  
今成碩藏  
早田富市  
今永庄三郎  
瀧辰策  
栗原熊市  
和田寛治

久保忠太郎  
今永虎之助  
高田秀  
菊地留市  
都留吾市  
惠良百十郎  
安倍茂  
佐藤開一  
松本茂  
松本健三郎  
西源十郎  
佐藤徵  
長野清臣

濱正美  
貞原芳五郎  
小野好雄  
遠島藤十郎  
小野本太郎  
西島福松  
小松弘太  
岩井秋之助  
前田精司  
豊田喜市  
加來庄市  
富永精太

下毛郡委員長 田島七郎

高倉政就



藤井文雄  
東濱彦十郎  
植山國吉  
秋吉藤十郎  
大江省二  
重松利吉  
屋成朔郎  
小野勝馬  
友松護藏  
竹本繁  
南永次郎  
大神音治  
大津留大藏  
三ノ九一司  
野依富藏

植山茂一郎  
安部邦夫  
菊池平次郎  
久恒久太郎  
大江富太郎  
大新田藤太郎  
溝口要藏  
加來團二  
永岡重藏  
松本久次郎  
藤田陸藏  
谷口關太郎  
植山龜三郎  
中島鶴松  
藤富武次郎

日田郡委員長 出 事

委員

竹永彌十郎  
小林元市  
三尾母義幸  
梅木源治  
木村虎三郎  
小畑璉太  
小西保市  
植山與太郎  
外園米藏  
池內政吉  
山田謙治  
壺井利隆  
松本忠治

事

桑原郁造  
中島嘉次郎  
寶珠山萬吉  
鋤木恒彦  
三木作次郎  
熊谷克己  
甲能義次郎  
江口清  
長治十  
佐藤貞吉  
上田市右衛門  
千原豐太  
平島謙藏

草藤弘海  
松本弘  
高木滿義  
高瀬大藏  
野山準藏  
河野幸市  
熊谷高樹  
山本村正  
伊藤助市  
帆足悅藏  
財津永義  
財津寬一  
一ノ宮廣太  
森山安士  
伊東竹次

玖珠郡委員長 山内忠一

委員

田島永昌  
熊谷頼太郎  
後藤豐三郎  
藪田正基  
小野鶴松  
後藤龍藏  
高瀬瀧三郎  
原貞吉  
井上文治  
佐藤慈光  
時松元俊  
佐藤虎雄  
緒方増藏

加藤武男  
合谷三郎  
井上守  
矢幡廣吉  
財津直太郎  
桑野住吉  
秋吉常太  
了戒晋作  
衛藤幸六  
清永嘉十  
帆足三八  
麻生良策  
佐藤貞太

橋爪安彦  
麻生成太郎  
紙屋庄太郎  
清水幸太  
小野儀市  
足立石三  
坂本啓次  
武石義夫  
武石輝藏  
長野熊太  
小幡範藏  
長尾宗次郎  
加來恒太郎  
江藤啓一  
大隈憲司



三宮達磨  
井上靖  
日野清眞

千葉銀六  
帆足策馬  
金馬茂

直入郡委員長 桂登利藏

黑野猪吉郎  
曾我平次  
矢部太一郎  
志賀信藏  
後藤治八郎  
阿南貞吉  
飯倉周藏  
小山田茂二郎  
後藤景基  
阿南熊記

秦福太郎  
佐田重作  
渡邊守登  
佐藤子老  
本郷敦盛  
廣瀬喜三郎  
阿南右一  
工藤一藏  
河邊鳥九馬  
橫澤兵司  
垣田幾馬

森瑞樹  
衛藤恒人  
大塚國人  
小池藤次郎  
佐藤今朝夫  
吉野靜也  
山上金八  
吉野右次郎  
大津音一  
佐藤恒雄  
筑紫貞熊  
村上新吉  
志賀二三  
佐藤千造

岡藤夫  
渡邊丈平  
大久保重次郎  
甲斐重太郎  
御杵藏人  
森田光人  
高山勝馬  
伊野幸太郎  
岩上藤次郎  
田北四季平  
大塚卓士  
市村百々  
戸次政登  
阿南壽雄  
大津修爾

大野郡委員長 宇都宮喜六

委員

本田武一郎

鷺海正興  
阿南安馬  
戸伏武夫  
佐保直彦  
首藤卓美  
田代榮二  
河村清  
井上陽太郎  
松岡伊佐男  
波津久岩雄  
西島又四郎  
廣田成也

重野小十郎  
柳井重策  
白野蜜五郎  
峰藤太十郎  
赤嶺衛  
神野賢藏  
後藤太喜三  
矢野量也  
赤峰俊太  
赤嶺惟  
波津久齊  
土谷益太郎

江藤幸太藤  
三浦浪夫  
赤嶺九州士  
伊藤清一  
佐藤伊吉  
麻生林平  
佐藤靜  
兒玉嶺太郎  
佐藤岩藏  
和歌山宗人  
池田儀一郎  
安藤秀吉  
佐藤直彦  
河野德太郎  
小間梅太郎

首藤榮太  
衛藤虎藏  
佐藤篤馬  
市萬田虎人  
三代幸馬  
植山直衛  
加藤益雄  
後藤伊八  
佐藤寛三  
三代憲人  
伊東千代馬  
衛藤義直  
渡邊三也  
渡邊用五郎  
兒玉鎮義



首藤賀壽人  
久保壽獲  
後藤肅藏  
吉良文庫  
戶次國男  
後藤圓次郎  
森 環  
森 早苗  
吉良元夫  
甲斐仙四郎  
羽田野 馬太郎  
堀 恒夫  
佐藤伊三郎  
兒玉玉三郎  
阿南靜馬

後藤雄三郎  
水野喜九馬  
秦 種親  
足立義幸  
足立 鼎  
幸 大八  
廣瀬鎮章  
武藤龜人  
安部義人  
高木力松  
橋本彌五郎  
村上會市  
後藤善三郎  
渡邊仙太郎  
廣瀬彦太郎

阿南 猛  
後藤進一  
矢野勘五郎  
工藤次郎  
高倉角馬  
稻葉 敏  
三浦岩馬  
中島民一  
玉田壽一

北海部郡委員長 尾形善忠

委員

武邊良造  
田代重信  
緒方末松  
後藤幸人  
堀 順作  
小椋貞衛  
赤嶺喬木  
重藤 久  
椎原秋太郎  
江藤虎次郎  
幸 藤治  
杉原松三郎  
荻本福一

秦 龜代彦  
澤田元太郎  
高 森 直  
中野 激  
首藤利光  
幸 幸造  
稻垣新吉  
齋藤常治  
川野太郎  
堺田次郎  
深井正藏  
佐藤忠次郎  
和田善三郎  
石田才一  
川崎善太郎

南海部郡委員長 穗坂重吉

南 葵太郎  
荻 部 榮  
高橋篤一  
宮崎秀夫  
佐世秀長  
大島三八  
染矢良祐  
山下 昇  
井本正一  
小野朝次郎  
加藤鑽治  
黒木幸太郎  
小寺武太郎  
高野金太郎

福田 潤  
古川 頼  
仲 蒔太  
椎原孫一  
河野速水  
河本 照  
石田鶴藏  
安部民吉  
吉田津留藏  
柴田玉彦  
廣瀬作太郎  
柴富彌七  
小田部 隣

黒田千代藏  
片岡正路  
染矢恭次郎  
川野良平  
一ノ瀬 永太郎  
河野富太郎  
加藤敬作  
吉良昌吉  
川野寅五郎  
河野嘉三郎  
高野盛吉  
平山茂作  
寶戸國夫  
林 宇三郎  
戸高惣太郎



大友梅三  
安達平太郎  
竹中由藏  
川原泰藏  
正田慶次郎  
渡邊久米吉  
染矢勘太郎  
汐月金太郎  
山内鍊治  
米田松藏  
赤崎雅五郎  
廣津留權次郎  
阿部寛治  
野村諸平  
瀧川太喜治

織戸柴録  
脇谷九佑  
小野萬藏  
酒井善吉  
牧勇三郎  
藤川銀藏  
岡田太作  
鹽月陳之治  
高橋佐五郎  
出納潔太  
鈴木勝馬  
妹尾竹郎爾  
佐藤藤太  
衛藤重一  
佐藤録藏

中村清三郎  
梅村眞龍  
河野一  
橋本熊太郎  
河田武浩  
高野喜助  
成迫萬吉  
河野完吾  
高崎馬太郎  
濱中綱藏

内田清八  
根本久松  
山本靜松  
野村一也  
谷川彌藏  
甲斐茂八  
黒木幸太郎  
富尾猪太郎  
大濱幸作  
山田幾藏

常議員、評議員及郡市委員長、郡市委員

總務係  
係長市川草  
保員  
工藤猪鹿

高橋一郎  
小川運平  
仲村四郎  
衛藤一六

小野廉  
岡本寛  
森島瀧槌  
島山一夫  
安藤龜五郎  
三雲尙衛  
横田作藏  
渡邊柳吉  
末綱文生  
小野由之丞  
甲斐太郎  
野尻槌松  
河野清馬  
小野俊馬  
小野擴

小畑晋  
大石千尋  
和氣惣八  
實崎順作  
大坪教信  
樋口儀一  
渡邊新十郎  
石橋隼雄  
原田瀧治  
三浦寅夫  
田邊末富  
松村兵藏  
幸田正三  
生山隆太  
西國男  
野田岩太郎

森清治  
牧眞治  
後藤參五郎  
恩田保夫  
佐藤環  
松尾正木  
甲斐武夫  
河野常藏  
津野正貴  
瀬戸正男  
久保吉勝  
飛田秀藏  
東保高  
牧英太郎  
秋吉哲夫

展覽會

岡本龍己  
藤澤英猛  
高山英明  
中尾義三郎  
後藤喜太郎  
衛藤歎吉  
松本古村  
牧櫻山  
中尾十三郎  
長野音治  
内本浩亮  
池邊一夫  
佐藤宇太郎  
山下織之輔



長野 潔  
 後藤喜間大  
 衛藤又三郎  
 帆足後作  
 森 閑  
 大津 淳三  
 餘興係  
 係長笹山駒二郎  
 係員  
 阿部 征矢太郎  
 桑原惣五郎  
 姫野 佐平  
 田島嘉次郎  
 太田 秀雄  
 長野 音治

中尾十三郎  
 一九圓平  
 磯崎徳三郎  
 桑野額造  
 村上巧兒  
 島山 一夫  
 星野太三郎  
 高橋 一郎  
 正藤猪鹿  
 橋本彌五郎  
 高井 佐平  
 河野澤吉  
 武田綾太郎  
 高橋 欽哉  
 片倉耕介

三雲尚衛  
 竹岡吉太郎  
 河村萬平  
 山田耕平  
 會 木 晋  
 山上猛虎  
 一九伍兵衛  
 岩田章藏  
 安部春吉  
 神澤又一郎  
 兒玉綱藏  
 高橋八郎  
 前田辰雄  
 後藤武男  
 矢野駒太郎

得能貞幹  
 瀧山志眞彦  
 竹中米藏  
 工藤毅造  
 金田源太郎  
 首藤今四郎  
 河野常藏  
 松崎正雄  
 飯 倉 充  
 島 亮 三  
 松尾正木  
 森 守 平  
 甲斐喜藏  
 岩田一策  
 兒玉卯三郎

大久保宅次

園田爲次郎  
 兒玉新兵衛  
 安藤槌藏  
 山中一夫  
 野内寛六  
 小手川善平  
 三浦徳四郎  
 岩 田 浩  
 佐藤清八  
 福崎武三郎  
 柚須辰一  
 糸 園 哲  
 藤澤英猛  
 大林美規

接待係

係長 高田 保  
 係員

岡本保三  
 岡 本 寛  
 白松喜久代  
 潔 野 廉  
 衛藤又三郎  
 長 野 潔  
 衛藤一六  
 牧 善五郎  
 大津淳三  
 桑原惣五郎  
 姫野佐平  
 森島瀧槌

桑野額造

一九圓平  
 磯崎徳三郎  
 村上巧兒  
 星野太三郎  
 工藤猪鹿  
 高橋一郎  
 島山 一夫  
 高山英明  
 桑原 一郎  
 横尾惣三郎  
 河村萬平  
 衛藤忠藏  
 甲斐治平  
 武田綾太郎

小倉光太郎

棚橋琢之助  
 片倉彌太郎  
 山田耕平  
 横溝萬吉  
 高橋欽哉  
 水之江 浩  
 原 駿 一郎  
 篠崎豊彦  
 長岡三郎  
 重松龜太郎  
 布津紋吉  
 加來惟義  
 渡邊壽一  
 板井勘兵衛



安藤龜五郎  
廣田虎尾  
長野音治  
中尾十三郎  
安部春吉  
佐藤虎雄  
有永昱郎  
阿部征矢太郎  
橋本彌五郎  
河野澤吉  
宮崎龍平  
一井源吉  
八坂三治  
河村喜一  
林字三郎

小野喜一郎  
黑岩岩太郎  
荻本福一  
平岡京佑  
黒木幸太郎  
久保壽護  
岡藤夫  
帆足悅藏  
矢幡敬太  
三雲尙衛  
竹岡吉太郎  
森祥太  
渡邊用五郎  
志賀二三  
後藤龍藏

鮎子田宗彦  
朝吹龜三  
廣崎嘉十郎  
平山茂八郎  
工藤長次郎  
高井佐市  
谷岩彦  
秋吉作内  
小西竹次郎  
尾形善忠  
宇都宮喜六  
一丸施七郎  
桂登利藏  
山内忠一  
出事

馬淵政吉  
田島七郎  
羽田野正  
三浦數平  
友永餘六  
水之江文二郎  
重松重治  
吉良元夫  
長野善五郎  
小野駿一  
山口半七  
日名子太郎  
成清信愛  
横田作藏  
穗坂重吉

永井次郎  
桑原省吾  
小字佐助十郎  
田中米治  
家近宗  
吉田多郎  
澤田喜郎  
片山省三  
日名子益太郎  
小玉敬三  
安部春次郎  
小野由之丞  
岡野定吉  
小野擴  
對馬助三

安達茂一郎  
友永平次郎  
仲村幸男  
大津壽  
宗修一  
神澤芳平  
堀部作信  
金田源太郎  
加藤安藏  
和田嘉七  
村岡清吉  
江熊哲翁  
牧眞治  
片山民治  
佐藤長治

山田一  
西尾安男  
金居曹三  
野上三平  
田邊末富  
江並民吉  
片桐貞喜  
佐藤權造  
落合如尙  
佐藤仙太郎  
向山代治  
大和田亮吉  
瀬戸廣  
小林松衛  
有田周藏

有田一雄  
安部幹夫  
佐藤菊造  
利根義雄  
町田貞造  
後藤新三郎  
秦 葵夫  
秦 伊津磨  
平尾謙平  
小川運平  
池田武彦  
久保寺良吉  
清水政七  
仲村四郎  
清水福雄



第三章 事務及機關

小野 奎平  
清田 佐市  
高田 彦太郎  
安達 久米太郎  
佐藤 宇三郎  
村上 幸六  
神澤 又一郎  
池見 菅雄  
菊地 干城  
長野 綱良  
渡邊 新十郎  
後藤 喜四太郎  
後藤 守一  
二宮 爲作  
岡本 龍己

小縣 虎市  
豐田 藤助  
長田 稻置  
藤澤 英猛  
岩尾 米造  
南波 保  
上月 六郎  
堤 計太  
河村 觀三  
佐藤 綱五郎  
本莊 昇  
鷺海 三次  
後藤 喜間太  
戸田 弘毅  
首藤 孫三郎

栗盛 正誼  
河本 清  
中野 亘  
千歲 喜平  
秦 靜彦  
大林 美規  
工營係  
係長 田口 俊一  
係員  
加護谷 祐太郎  
宮城 忠一  
谷口 誠  
山田 一  
松崎 正雄  
會計係

七二

係長 工藤 猪鹿  
係員

林 治郎  
寺田 徳重  
甲斐 勇次郎  
中山 儀一郎  
早島 郎八  
小野 勇三郎  
小川 運平  
後藤 參五郎  
片桐 貞喜  
牧 眞治  
藤澤 英猛  
姫野 必  
平野 新太郎  
上原 三登理  
工藤 覺治

第三節 徽章

本會にて調製したる本會會員役員職員の徽章左の如し



(徑六分銅臺鍍金七寶)

協賛會徽章區別

職 會 副 理 常 評

會 員 員 員 員 員

名 長 長 問 專 員 員

七寶ノ色 紺ノ色 紺ノ色 紺ノ色 紺ノ色 紺ノ色

ナ 同 同 同 同 同 同

職 名 郡市委員長 郡市委員 郡市委員 郡市委員 郡市委員 郡市委員

七寶ノ色 紺ノ色 紺ノ色 紺ノ色 紺ノ色 紺ノ色

ナ 小 小 小 小 小 小

第三章 事務及機關

七三



美術展覽會	ナ	形	特別會員	同	同	小同	形
小美術展覽會	ナ	形	特別會員	同	同	小同	形
特別名譽會員	金色	白	正會員	同	同	ナ	シ
名譽會員	同	形	通常會員	銀色	同	ナ	シ
	中外紺赤青	通		中外紺赤青	ナ		
	中大赤	常		ナ			
	同	會					
		員					
		員					
		員					

### 第四章 事業

本會は聯合共進會を翼賛し其の股賑を期せんが爲めに設立したるものにして従つて其の爲す可き事業は範圍頗る廣汎に且つ多岐多端なりされば此れを詳細に記述するは却つて煩累に亘るの慮りあるを以て本章に於ては主として本會の經營又は助成したる事業或は本會之れに關與せざるも適切なる計畫なりと認めたる事業の梗概に就き之れを記述せん

#### 第一節 圖書刊行

大分縣案内 共進會開設に當り本縣の周知を圖るは本會事業の主要なるものなり依つて本縣の地理沿革産業教育其他の狀態並に名勝舊蹟を登載し洽く本縣を説明せんが爲め甲乙二種の大分縣案内を編纂したり甲種は菊版三百二十二頁を上製一千五百冊並製二千五百冊を乙種は簡約を旨とし袖珍豎六寸横三寸四分百六十八頁を七千冊刊行して特種の來賓及會員に配附したり  
繪葉書 本會を紀念する爲め刊行したるものにして圖案は何れも共進會並に聯合各縣及本會

を表徴したるものにして部數三萬部を刊行し案内記に共に特種の來賓共進會關係者及會員に配附したり

ポスター 聯合共進會は廣く其の開設を周知せしめん爲め共進會を表徴したる圖案により四六版全紙に美術印刷を施し四千枚を刊行して縣内外樞要の地に配附し公衆集合の場所に掲揚したり尙ほ年賀端書に色刷し希望者に十五萬枚を頒ちたり

共進會案内ポスター 共進會觀覽客の誘致の一方方法として共進會の開設を周知せしむるに共に大分縣が天下に誇るに足る勝地別府溫泉耶馬溪宇佐神宮を文人畫風の圖案を以て示したる共進會案内ポスター一萬枚を四六版二截に美術印刷を施し主として縣外樞要の地に配附掲揚したり

共進會案内 共進會觀覽者の便を圖る目的を以て共進會内容の概要を記述し會場の圖面大分並に別府の市街地圖を配したる四六全紙四截の兩面印刷しなし表紙を附して袖珍形にしたるもの三萬部を印刷し一般來賓重なる關係者並に會員に配附したり

#### 第二節 各種大會開催獎勵

共進會開期中各種大會の開催せらるゝことは共進會開設の目的を達する上に於て最も歡迎す可き事なり蓋大會は各同業者の會合により共進會出品物の共同參觀の機會を與へ比較研究意見



交換に便するが故に共進會の成果を収め斯業改善の方法としては頗る緊切なる施設なるが故に本會は此れが開設を極力勸奨し諸般の便を圖り進んで經費の補助をなしたるものさへあり、而して其の計畫に當つては主として主催者をして専ら遂行の衝に當らしめたるも時々主催者も協議し其の期日會場等の斡旋に努め開設を容易ならしめ、實行に遺憾なからしむるが爲めに大會係りを専任し諸般の施設畫策をなさしめたり

尙大會々場は大分縣公會堂、大分縣會議事堂、共進會式場、大分市會議事堂、其他各學校を以て之れに充當し其の撰擇は主催者側に委せり、大會々場として最も適當にして且つ主催者側の希望す可きは縣公會堂並に縣會議事堂なるを以て本會にては同場入口門前に裝飾大アーチを建設し以て會場としての色彩を濃厚ならしめたり

開會せられたる各種大會左の如し

- 三月十五日 共進會開會式
- 同二十一日 全國新聞記者大會
- 同二十二日 同上
- 同二十三日 同上
- 同二十五日 琵琶音樂會

- 同二十六日 同上
- 同日 佛教婦人會總會
- 同二十七日 日本運輸株式會社同業大會
- 同日 大分縣青年大會
- 同二十八日 大分縣商工團聯合會大會
- 同二十九日 九州電氣協會大會
- 同三十日 同上
- 同三十一日 九州沖繩聯合鍼灸大會
- 四月一日 大分縣蠶糸業大會
- 同日 大分市制實施十年紀念祝賀會
- 同二日 九州聯合蠶糸業大會
- 同日 九州畜產大會
- 同三日 同上
- 同日 大日本米穀大會
- 同四日 同上



第四章 業

同	四月四日	瀬戸内海水産研究會
同	同五日	同上
同	同	大日本米穀大會
同	同	西部農工銀行大會
同	同六日	同上
同	同	瀬戸内海水産研究會
同	同	全國木蠟業大會
同	同	同上
同	同七日	西部農工銀行大會
同	同	九州各縣聯合教育大會
同	同	瀬戸内海水産聯合會
同	同	同上
同	同	九州各縣聯合教育大會
同	同	同上
同	同	瀬戸内海水産聯合會

同	同	大分縣水産集談會
同	同	九州醫學大會
同	同	同上
同	同	九州聯合婦人大會
同	同	九州各縣農會聯合農事大會
同	同	帝國農會農事講演會
同	同	大分縣郡市町村農會長及技術員大會
同	同	赤十字社大分支部總會
同	同	同篤志看護婦人總會
同	同	愛國婦人會總會
同	同	西部銀行同盟會大會
同	同	帝國發明協會大會
同	同	九州機械工業會總會
同	同	西部銀行同盟會大會
同	同	九州菓子業者大會

第四章 業



第四章 業

四月十七日 九州庭球大會  
 同 十八日 同上  
 同 十九日 大分縣肥料商大會  
 同 十九日 九州沖繩工業學校職業學校長會議  
 同上  
 同 二十日 關西肥料大會  
 同上  
 同 二十一日 九州沖繩工業學校職業學校長會議  
 九州聯合齒科醫師大會  
 九州地方度量衡主任會議  
 九州醫油業聯合會  
 九州各縣神職聯合會  
 大阪毎日通信者並ニ販賣店慰安會  
 九州地方度量衡主任會議  
 九州各縣神職聯合會

同 日 大分縣山林會臨時總會  
 同 日 大阪毎日通信者並ニ販賣店慰安會  
 同 二十三日 豐後三等郵便局長會議  
 同 日 關西度量衡大會  
 同 日 九州沖繩オリンピック大會  
 同 二十四日 豐後三等郵便局長會議  
 同 日 九州沖繩オリンピック大會  
 同 二十五日 九州市區長協議會  
 同 日 九州聯合圖畫教育大會  
 同 日 九州齒科醫師大會  
 同 二十六日 同上  
 同 日 全國市區長聯合協議會  
 同 日 全國各市區小學校長聯合會  
 同 二十七日 全國各市區聯合協議會  
 同 日 九州各縣土木課長會議

第四章 業







四月十七日	大分菓子製造業組合大會	一五〇〇〇〇	公會
同十九日	關西肥料大會	二〇〇〇〇〇	同
同二十日	九州沖繩各縣工業學校長職業學校長會	一五〇〇〇〇	大分縣立工業學校
同二十一日	大分縣神職會	一〇〇〇〇〇	縣會議事堂
同二十二日	大分縣醬油製造同業組合大會	二〇〇〇〇〇	大分市會議事堂
同二十三日	九州沖繩八縣聯合オリソヒツク大會	一〇〇〇〇〇	公會
同二十四日	關西度量衡大會	二七〇〇〇〇	大分中學校
同二十五日	大分縣美術大會	五〇〇〇〇〇	公會
同二十六日	九州齒科醫師大會	八〇〇〇〇〇	同
同二十七日	九州沖繩各縣感化院長會	三〇〇〇〇〇	縣會議事堂
同二十八日	九州沖繩八縣土木課長會	三〇〇〇〇〇	公會
五月二日	九州村木業聯合大會	三〇〇〇〇〇	同
同三日	大分縣保育會	一〇〇〇〇〇	同
同四日	産業組合中央會	五〇〇〇〇〇	同
同五日	學生角力大會	一五〇〇〇〇	同
同六日	水族會	七〇〇〇〇〇	共進會第二會場內
三月十五日迄	合計	二〇〇〇〇〇〇	共進會期中第二會場內
五月十三日迄	合計	一七、三五〇〇〇	

第三節 出張宣傳

共進會開催を廣く周知せしめんが爲めには諸般の方法を以て宣傳に努めたる所ありたるが尙關係方面に本會役員を派し親しく諒解を求むるの必要を認め夫々出張宣傳をなせり而して其の出張先は主として都市本位としたるが故に其の都市に於ける縣廳、市役所、商業會議所、各新聞社を訪問し豫め用意したる共進會概況の謄寫版刷りを配附するに共に口頭を以て説明をなし特に觀覽者の誘致、新聞紙の十分なる援助を求め尙直接訪問以外關係有志の諒解を得んことに努めたり

東京大阪方面

愛媛香川方面

東京方面

- 大津 淳三
- 長野 潔
- 衛藤 又三郎

宇和島方面

- 阿部 春吉
- 秦 靜彦

福岡縣内各都市

- 後藤 喜間太

熊本、宮崎、鹿兒島方面

- 磯崎 徳三郎
- 神崎 俊鴻

- 星野 大三郎
- 栗盛 正誼

- 小野 奎平
- 戸田 弘毅



佐賀、長崎方面

姫野 佐平

井川 秋

山口、廣島方面

本莊 昇

仲野 亘

岡山方面

峰 是三郎

朝鮮各道

長野 潔

島山 一夫

高田彦三郎

第四節 展覽會

第一回九州沖繩八縣聯合美術展覽會

帝都上野の花さして美術愛好家を熱狂せしむる帝展或は院展は僅かに帝都に於て開かるゝに止まり、全國愛好家をして地方に於ける開催を希望する事久しき雖未だ此れが實現を見ず、大分市に於て開催の聯合共進會關係者は先づ其の點に着目し且つ大分が古來美術の淵藪として知られ此れを以て天下に誇示したる時代あり、現代作家中にも有数の大家あるを幸ひ會場内に美術展覽會を催し以て地方賞畫家の渴を醫し他面共進會の盛況を添へん事を企劃し大分地方の畫伯中心となり九州各縣の同好者も連絡を取り九州沖繩八縣聯合美術展覽會開設を見るに至れり、本會に於ては其の舉の極めて時機に投じたるを認め其の一切を引受け展覽會委員諸氏も連絡を取り本

縣出身朝倉文夫氏の斡旋に依り全國大家の賛成を得、全國の大作を集め各審査員に於て嚴密なる鑑査をなし入選畫を陳列し其の數百數十點此れを瀟洒たる建物に收め、特に二十錢の觀覽料を徴して觀覽せしめたり、出品畫は全國の粹を抜けるものにして而も帝展が其の出陳畫を過去一ヶ年間の作に限りたるを本展覽會にては十ヶ年間の作より撰抜の特典を與へたるを以て大家の傑作を蒐集する事を得たるが故に開催するや豫期の如く帝展の九州に於ける開催として美術家並に愛好家續々として接踵し非常の盛況を極め入場者會期中八萬三千九百に達し非常の盛況裡に閉會したり審査員並に委員氏名左の如し

審査員

正木直彦

黒田清輝

朝倉文夫

山内多門

富田溪仙

藤島武二

片多徳郎

田近竹邨

荒木十畝

和田三造

山崎朝雲

北村西望

松本古村

委員

松本古村

首藤 積

池邊 一夫

山下鐵之輔

森島瀧槌

河端石泉

吉田福彌

大津淳三

衛藤又三郎

長野 潔

河野逸平

仲村四郎

牧 眞治

小川運平

三浦數平

高山英明



小野 駿一 牧 櫻山 佐藤 卯太郎 松崎 正雄  
 後藤 参五郎 竹中 米藏 小野 擴 河野 清馬  
 中尾 十三郎 長野 晋治 内本 浩亮 小野 由之丞

日本畫之部  
 出陳作品名簿 (不順位)

命題	縣名	氏名
一竿生涯	京都市在住	田近竹邨
夏山雲望	同	平野古桑
夏山雨後	同	大野竹阜
溪山雨後	同	松本白雲
清疎林晚	同	伊東逸峯
梅花書屋	同	衛藤晴邨
寒柯含雨	同	草刈樵谷
夏山積翠	同	佐藤末廣
煙雲吞吐	同	宮瀬清泉
夏の景	大分縣	河野米邨
空山峻峭	大分縣	佐久間猪忠
夏の朝	同	同
孔雀	同	同
松江帆影	同	同
双猛虎	同	同
蓬萊之圖	同	同
夏山風雨圖	同	同
冬枯	同	同
神泉	同	同
御宿山	同	同
溫泉の宿	同	同
山莊訪友	同	同
杉田春泉	同	同
吉田毅	同	同
加納雨篷	同	同
水之江燕平	同	同
野村應山	同	同
中村定一	同	同
佐久間竹浦	同	同
牧櫻山	同	同
金光成文	同	同
多喜和權	同	同
松田竹園	同	同
秦米陽	同	同
清水恕七	同	同
古莊秀峯	同	同
道田ハマヨ	同	同

牡丹岩石	大分縣	矢野岱南	夏雨新霽	同	杉田春泉
瀧	同	河端石泉	冬溫き日	同	吉田毅
青綠秋景山水	同	松本龜山	夏景山水	同	加納雨篷
藤摩街道の冬	同	首藤積	水墨山水	同	水之江燕平
春	同	福田平八郎	夏山急雨	同	野村應山
かつら下地	同	川村更堂	高士歡樂	同	中村定一
春近し	同	日高古泉	雨意忽生	同	佐久間竹浦
松林山水	同	安部梅處	米法山水	同	牧櫻山
朝のひかり	同	相良一滴	青綠米法山水	同	金光成文
出湯の朝	同	同日名子江南人	四季四題	同	多喜和權
春は逝く	同	同日名子江南人	梅木	同	松田竹園
つゝじ	同	同日名子江南人	耶馬のしをり	同	秦米陽
婉山晩秋	同	同日名子江南人	米法山水	同	清水恕七
山家慶壽之圖	同	同日名子江南人	秋景山水	同	古莊秀峯
椿	同	同日名子江南人	菡萏十二景	同	道田ハマヨ
雪中訪友	同	同日名子江南人	夾竹桃と白い鳥	同	
小坊さん	同	同日名子江南人	記念	同	



夕月	山紫水明	亡兒の聲	春山佳興	白牡丹	紫式部	蟹滿寺緣起	杏北の村	麗泉	羅浮仙	よひとよふけ	游鯉の圖	巴里三題	山山水水	山吟	春野
熊本縣	同	佐賀縣	熊本縣	同	京都市在住	同	同	熊本縣	同	福岡縣	熊本縣	同	同	同	大分縣
松本寅雄	鶴清氣	佐藤良次	相良小耕	同	溝邊	山口武泉	大鶴秋香	石村珪堂	大山一徑	村上三千穂	前田半雪	松本古村	同	幸松春浦	新妻篤子

寒林幽居	小鴨鳴く池	秋日雨後山水	如意菩薩	文珠菩薩	普賢菩薩	靜閑	寒汀	秋苑群翎	秋苑群翎	群仙歡意	五月雨	艶陽	耶馬溪の春秋	浴する女	桃咲く頃	京舞妓	栗に鶉
熊本縣	佐賀縣	福岡縣	熊本縣	熊本縣	熊本縣	同	同	同	同	福岡縣	長崎縣	長崎縣	福岡縣	長崎縣	長崎縣	福岡縣	同
水足安友	鷹巢豊治	秋尾九阜	杉本眞觀	奥村梅堂	同	同	同	同	同	伊藤西瀛	野元不二雄	荒卷南齊	前田岱岳	松本眞砂雄	染川治次	田中東洋男	宮崎春峯

夕暮れの武蔵野	赤陽	初夏、晩秋	梅雨の頃	夜櫻	春野の雉子	盛り行く緑	兒童愛花	つゝじ	白孔雀	高尾山	山村晩秋	山姿二題	少	たそがる	西日	市日(二幅對)
福岡縣	同	大分縣	熊本縣	福岡縣	長崎縣	宮崎縣	大分縣	佐賀縣	大分縣	宮崎縣	佐賀縣	宮崎縣	佐賀縣	同	宮崎縣	大分縣
青柳文山	村尾眞一	生野秀峰	松田蘇風	有松政之	野元琴欽	境田道徳	渡邊綾子	田邊勝	藤原竹郷	岩崎春峯	武谷雪嶺	山内栖雲	野口謙次郎	同	大野重幸	鳴海新治

初夏	三ヶ月	孔雀	龍江勝覽	水車三題	狭霧立つ頃	祈	逝く	盛	曳舟	果樹園の朝	矢車草	女	初秋	燕岳白樺の祠	宵の細雨
同	同	福岡縣	同	宮崎縣	福岡縣	沖繩縣	長崎縣	福岡縣	鹿兒島縣	同	福岡縣	鹿兒島縣	福岡縣	鹿兒島縣	同
同	河島梅峰	今中素友	山内多門	益田玉城	水上泰生	山田眞山	栗原玉葉	伊藤響浦	山口錦洲	松尾金峯	寺尾衛反	吉井英二	川津東涯	野添草郷	同







子供	福岡縣	津田耕造
赤坂見附の朝	同	同
静かなる田舎	熊本縣	片岡思拙
立木	同	同
搾乳場の畔	同	同
静物	同	同
丘上より	同	同
雪後の朝	同	同
残雪	大分縣	江藤純平
郊外の冬	同	同
漁村の夏	同	同
伊豆海岸の西日	同	同
ばら	福岡縣	佐藤平太郎
河畔	佐賀縣	吉田ふじを
溪流	同	武藤辰平
街頭雨情	同	同
静物(一)	大分縣	大塚辰夫

静物(二)	同	同
南國の岸	同	同
伊豆の蜜柑山	同	同
樹立	同	同
女の像	同	同
冬の午後	同	同
ありし日の面影	同	同
露西亞の娘	同	同
白根山	同	同
朝	福岡縣	梶原貫五
梅	同	同
煙突の見ゆる風景	大分縣	長野新一
曇り	佐賀縣	鈴木淳
新秋	同	同
花壇	大分縣	窪田照三
秋の庭	同	同
眠れる女	鹿兒島縣	有馬ささる

聴いてる女	同	同
髪	同	同
雪	福岡縣	辻人
雪の	同	同
夏の	同	同
夏の日	宮崎縣	中澤弘光
静物	福岡縣	坂本繁二郎
燈臺	長崎縣	山本森之助
波	同	同
天草灘	福岡縣	吉田博
伊太利の少女	同	岡田三郎助
南國	福岡縣	和田三造
徒然	大分縣	權藤種男
長汀	同	同
高山清趣	同	同
風景	同	同
風景	同	同
夏山急雨	鹿兒島縣	藤島武二
ある人の母	大分縣	片多徳郎

命題	縣名	氏名
をんばらいの夕	大分縣	日名子實三
産女	同	同
おばあさん	熊本縣	岩越次郎
老婆の顔	同	同
菅公	福岡縣	唐杉誠一
少女の顔	同	同
ゲットセット	大分縣	大司精七
早	同	同
若葉	同	同
ゆく	同	同
日の宵	同	同
頬	同	同
ス	同	同
父母の像	同	同



第四章 業

乃木將軍の像 大分縣 渡邊長男  
 同 性 同 同 人  
 負傷兵の缺禮 同 同 人

美術館入場人員

將軍の孫 長崎縣 北村西望  
 女 同 同 人

月	日	優待	料		團體	合計
			大人	小學生		
三月	十五日	五	五〇一	八一		五八二
同	十六日	二	三二一	五六〇		八八一
同	十七日	一	四二五	二三一		六六一
同	十八日	一	四五四	一六四		六三〇
同	十九日	六〇	五〇二	八三六		一、三九八
同	二十日	五二	六二六	二八一		九五九
同	二十一日	四八	一、八五六	二九六		二、二〇〇
同	二十二日		二六六	五二四		七九〇
同	二十三日		五〇四	三五四		八五八
同	二十四日	七七	四二四	一三〇		六三一
同	二十五日	二七	二五三	五九		三三九

月	日	優待	大人	小學生	團體	合計
三月	十六日	二	三二一	五六〇		八八一
同	十七日	一	四二五	二三一		六六一
同	十八日	一	四五四	一六四		六三〇
同	十九日	六〇	五〇二	八三六		一、三九八
同	二十日	五二	六二六	二八一		九五九
同	二十一日	四八	一、八五六	二九六		二、二〇〇
同	二十二日		二六六	五二四		七九〇
同	二十三日		五〇四	三五四		八五八
同	二十四日	七七	四二四	一三〇		六三一
同	二十五日	二七	二五三	五九		三三九
同	二十六日	二六	七三八	二三五	六三	一、〇六二
同	二十七日	五一	一、二一四	四六七	二四一	一、七三二
同	二十八日	一七	一、〇四三	五三一	一三六	一、八三二
同	二十九日	二一	一、〇一三	四九五	二二六	一、六六五
同	三十日	六一	一、〇七五	四七八	二二九	一、七九五
同	三十一日	五四	八三三	三六五	二二六	一、二八一
同	一日	八六	九二七	二七九	二九	一、二九二
同	二日	三一	八四八	二九五	一六二	一、二七四
同	三日	二五	九二八	三九六	一七〇	一、五一一
同	四日	一八	九一三	一七〇	一〇一	一、一〇一
同	五日	九	八四四	一三七	四〇	一、〇三〇
同	六日	七	七〇三	七一		七八一
同	七日	一一	四五一	六九		五三一
同	八日	六二	七六一	二九三		一、〇一六
同	九日	三一	九六〇	一八八	一一〇	一、二八九
同	十日	二六	二、五〇七	八六六	八五二	三、五五一
同	十一日	二四	七九八	三七	五二	一、七一一
同	十二日	八	七八四	三九		八三一

第四章 業







あり、依つて本會の事業として新美術に相俟つて過去聯合共進會に於て未だ嘗て其例を見ざる古美術展覽會を開催し縣内諸家秘藏の逸品を一場に蒐集陳列し公衆に縦覽せしめたり、而して其陳列品は獨り本縣人のみならず別に本縣に縁故ある池大雅、頼山陽等大家の傑作にして既に世に定評あるもの其他明清人の手に成れる名書畫をも併せて蒐集展覽せしめたるを以て總點數一千餘點の多きに達し中に就て其傑作佳什を認む可きものを鑑別陳列し六十日の會期中懸替へを爲すこと七回に及びたり、此の舉は大に一般の視聽を惹き再び見るを得ざる催して殊に斯道好愛者に非常の熱心を以て迎へられ殊に三十錢の入場料を徴したるに拘らず會期中の入場者一萬四千を算したり、關係委員並に出品目錄左の如し

- |    |        |       |       |       |
|----|--------|-------|-------|-------|
| 委員 | 中尾義三郎  | 内本浩亮  | 長野善五郎 | 福崎清八  |
|    | 大津淳三   | 長野潔   | 衛藤又三郎 | 日名子太郎 |
|    | 帆足後作   | 後藤喜太郎 | 長野音治  | 朝吹龜三  |
|    | 水野江文二郎 | 中島登子太 | 衛藤歡吉  | 高田保   |
|    | 有永昱郎   | 竹岡吉太郎 | 横尾松之助 | 麻生觀八  |
|    | 竹内善治   | 清末新治  | 森閑一   | 樋口安治  |
|    | 足立石三   | 小田部隣  | 西郷寅王丸 | 黒川健士  |

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 黒野猪吉郎 | 青田源三郎 | 稻葉健次郎 | 可兒孝二郎 |
| 橋本彌五郎 | 安部甚三郎 | 野上春吉  | 大塚義雄  |
| 永井相次  | 糸園辰次郎 | 千原興一  | 手島元三  |
| 松本古村  | 谷岩彦   | 秋吉作内  | 速見郡長  |
| 小西竹次郎 | 尾形善忠  | 穂坂重吉  | 宇都宮喜六 |
| 桂登利藏  | 山ノ内忠一 | 出 事   | 田島七郎  |
| 羽田野正  | 三浦數平  | 高橋八朗  | 矢野卯太郎 |
| 小野俊馬  | 小野由之丞 | 横田作藏  | 野内四郎七 |
| 小林師善  | 一牧敏造  |       |       |

古美術展覽會出品目錄

●田能村竹田ノ部

- |           |    |       |
|-----------|----|-------|
| 一、竹田湯墨染梅圖 | 大分 | 長野善五郎 |
| 一、竹田模妃七絶詩 | 同  | 野内四郎七 |
| 一、直入模月相思圖 | 同  | 永原實生  |
| 一、竹田自在盆圖  | 同  | 岩田浩   |
| 一、同 水墨三紫圖 | 同  |       |

- |              |   |       |
|--------------|---|-------|
| 一、竹田淡彩瀟灑火圖   | 同 | 中尾義三郎 |
| 一、中島松陰贊      | 同 | 衛藤歡吉  |
| 一、竹田淡彩雅竹双雀圖  | 同 | 小野駿一  |
| 一、同 淡彩彈琴圖小竹贊 | 同 | 中尾義三郎 |
| 一、同 淡彩吳裝秋景山水 | 同 | 内田安太郎 |
| 一、同 水墨蟹藻圖    | 同 | 池見菅雄  |
| 一、同 梅折枝九華贊   | 同 | 安本牛七  |
| 一、同 芙蓉峰圖     | 同 |       |







第四章 事業

一、竹田竹林山水	日田	手島元三
一、同 淺絳山水	同	中島寛兵衛
一、同 山村風雨圖雲華箱書	同	森百合
一、同 枯木竹石圖	大分	衛藤歎吉
一、同 水墨牡丹圖	同	福崎清八
一、同 設色水草乳鳥圖	竹田	黒川健士
一、同 詩書春雨山水 双幅	大分	福崎清八
一、同 淺絳秋窓待客圖	行橋	柏木勘八郎
一、同 朱描蟹圖	同	同
一、同 淡彩花鳥圖	別府	佐藤良藏
一、同 淺絳山水	行橋	柏木勘八郎
一、同 楊柳群鳥圖	日田	樋口安治
一、同 淺絳秋江獨釣圖	同	同
一、同 尋梅詩書 双幅	杵築	高橋弘吉
一、同 梅花折枝 双幅	濱臨	永井相次
一、同 水墨寒林山水	大分	福崎清八
一、同 水墨梅菊圖三幅對	戸次	帆足後作
一、同 淡彩枯樹鐘馗圖	竹田	家原熊太郎
一、同 青綠楊柳栖禽圖	同	同
一、同 設色溪閣高士圖	大分	長野善五郎

一、竹田白描蘭圖	戸次	帆足後作
一、同 雲山高士圖	同	同
一、同 淡彩梧窓煎茶圖	別府	佐藤良藏
一、同 白衣大士像	大分	中尾義三郎
一、竹田芙蓉呼圖 双幅	同	長野善五郎
一、昭陽咏富岳七絶詩 双幅	同	高田保
一、竹田淡彩秋景歸漁圖	同	同
一、同 朋酒新蟹圖	同	中尾義三郎
一、同 設色叢竹栖禽圖	日田	樋口安治
一、同 淡彩枯蘆双鳥圖	大分	衛藤歎吉
一、同 設色高遠夫婦歸山吟詩圖	同	長野善五郎
一、同 淡彩春草採茶圖	同	中尾義三郎
一、同 青綠桃花流水圖	戸次	帆足後作
一、同 淡彩求摩留雪樹圖	大分	長野善五郎
一、同 淡彩疎柳栖鳥圖	別府	佐藤良藏
一、同 佛媛入嵯峨圖五岳詩双幅	同	梅谷清一
一、同 淡彩稚松双鶴 小双幅	大分	後藤喜太郎
一、同 秋菊圖	竹田	久保收
一、同 雜圖歌贊	同	家原熊太郎
一、同 詩書	同	平島寛治郎

第四章 事業

一、同 定家類圖菫振贊	大分	野内四郎七
一、同 秋菊圖大平歌贊	竹田	家原熊太郎
一、同 設色花栢樹圖	大分	佐藤字三郎
一、同 西行法師圖	同	高田保
一、同 淡彩花鳥圖	同	財津準一
一、同 淡彩笏子圖	竹田	兒玉鎮義
一、同 設色青蘆白鷗圖 双幅	戸次	帆足後作
一、同 青綠芙蓉峰殘雪圖	同	同
一、同 淺絳疎林溪閣圖煙村題詩	龜川	永田卓爾
一、同 淺絳梅林山水	戸次	帆足後作
一、同 山陽唱和詩書	大分	野内四郎七
一、竹田洗竹莊圖併詩 三幅對	日田	樋口安治
一、九華唱和詩書	別府	間猛馬
一、竹田湖中煙雨圖	日田	樋口安治
一、同 淡彩山水六幅對	別府	間猛馬
一、同 每幅讀大家題詩	日田	樋口安治
一、同 漁樵問答詩畫双幅	戸次	帆足進
一、竹田春雨詩畫合作遊覽奇勝卷	同	同
一、同 淡彩菌畫帖	同	同
一、竹田杏雨京游詩畫帖 杏雨淡彩山	同	同
一、同 雲山草堂卷	大分	板井勘兵衛
一、同 大江驛實景卷	同	小野駿一

一、同 蟹圖	同	中村松華
一、同 淡彩蓮花蒼葦圖	白杵	山本泰雄
一、竹田疎籬詩書 双幅	大分	福崎清八
一、直入淡彩猶畫 双幅	日田	大塚義雄
一、竹田淡彩水松介貝圖	濱臨	佐藤綱五郎
一、竹田涼爐圖淡窓贊	同	同
一、南冥鹿兒島望月七絶詩書 双幅	白杵	山本泰雄
一、竹田淡彩土筆芦圖	日出	大塚義雄
一、同 淡彩不老壽石圖	龜川	永田敬藏
一、同 淡彩松石水仙圖	大分	衛藤歎吉
一、同 水墨硝石水儂圖	中津	武内善治
一、同 秋江釣舟圖	別府	佐藤良藏
一、同 瓶梅圖	中津	武内善治
一、同 蘇東坡像	大分	長野善五郎
一、同 設色溪間高士圖	中津	武内善治
一、同 設色墨花小蟲圖	別府	佐藤良藏
一、同 設色紫陽栖禽圖	大分	中山政男
一、同 仙子倚石圖	大分	武内善治
一、同 青綠山水橫幅	中津	武内善治
一、同 花枝掛瓠圖	大分	野内四郎七
一、同 墨梅圖	同	秦米陽







一、直入櫻花圖竹田詩 双幅 大分 野内四郎七  
 一、同 淡彩松林山水 同 福崎清八  
 一、同 水墨秋林閑居圖 同 姫野佐平  
 一、同 雪景山水 同 長野善五郎  
 一、同 青綠山水 同 安東藤太郎  
 一、小虎設色涼池飛禽圖 同 衛藤歎吉  
 一、直入水墨雨後新林圖 同 田吹環  
 一、小虎淡彩松鷹圖 同 長野善五郎  
 一、同 設色閑窓春粧圖 同 高田保  
 一、直入水墨夏溪垂釣圖 同 田吹環  
 一、小虎水墨竹風泉韻圖 同 福崎清八  
 一、直入懸泉清澗圖 同 高橋欽哉  
 一、同 水墨山水同詩 双幅 濱崎淺市  
 一、同 水墨山水 同 家原熊太郎  
 一、同 折帶競觀瀑圖 同 白杵 渡邊卯兵衛  
 一、同 白衣大士像 同 日出 大塚義雄  
 一、同 水墨山水子房取履圖 同 大分 姫野佐平  
 一、同 霜林歸牧圖 同 竹田 後藤治八郎  
 一、同 高砂翁蠟圖 同 佐藤虎太

一、同 溪居霽月圖 同 日岡 宮崎又七郎  
 一、同 觀音愛鶴圖 同 竹田 後藤治八郎  
 一、同 水墨山水 同 同 黒川健士  
 一、小虎青綠山水 同 白杵 渡邊卯兵衛  
 一、同 十六羅漢圖 同 同 小野信三  
 一、直入韓信潛股圖 同 中津 糸園辰二郎  
 一、同 極彩色双鶴綠竹圖 同 竹田 佐藤千藏  
 一、同 水墨芙蓉峰圖 同 白杵 渡邊甚七  
 一、同 設色四季山水 双幅 日出 大塚義雄  
 一、同 白衣楊柳觀音 双幅 竹田 首藤生男  
 一、同 水墨懸泉 同 大分 長野善五郎  
 一、同 水墨柳陰澗艇圖 同 同 福崎清八  
 一、小虎花鳥圖 同 同 高田保  
 一、直入一品當朝圖 同 白杵 渡邊卯兵衛  
 一、同 淡彩山水 同 久住 志賀二三  
 一、小虎水墨白雨山水 同 白杵 山本泰雄  
 一、直入米注夏亭聽泉圖 同 字佐 小島榮十  
 一、同 紅樓孤鶴圖 同 竹田 家原熊太郎  
 一、同 雪中山水 同 久住 志賀二三

一、同 淡彩高砂圖 同 同 同 人  
 一、小虎設色福壽壽長生圖 大分 衛藤歎吉  
 一、直入淡彩御客採芝圖 別府 佐藤良藏  
 一、小虎設色柳陰野馬圖 大分 安東藤太郎  
 一、直入幽林孤亭五岳山水 双幅 字佐 高田秀  
 一、同 着色花鳥圖 龜川 永田敬藏  
 一、同 山居觀瀑圖 大分 福崎清八  
 一、同 水墨春山細雨圖 同 長野善五郎  
 一、同 漁樵問答圖 同 犬飼 田原平藏  
 一、同 重疊深徑圖 同 同 人  
 一、同 水墨山水觀瀑圖 行橋 柏木勘八郎  
 一、同 設色松竹梅山水 別府 平尾謙平  
 一、同 壯年朱捕鐘馗圖 字佐 高田秀  
 一、同 幽溪閑居圖 別府 松尾彦一  
 一、同 水墨幽亭讀書圖 大分 溝口才太郎  
 一、同 青綠山水 中津 武内善治  
 一、同 淡彩猫圖竹田詩 双幅 大分 福崎清八  
 一、同 草筆描山水 日岡 宮崎又七郎  
 一、小虎水墨山水二枚折疊 大分 一丸伍兵衛

一、同 大士竹林影現圖 同 同 岩田章藏  
 一、同 寒林晚煙圖 別府 堀七衛  
 一、直入設色富貴長年圖 竹田 首藤燭八郎  
 一、同 枯木竹石圖 同 同 龜島清太郎  
 一、同 水墨柳陰渡舟圖 字佐 松本勘治  
 一、同 水墨清澗幽隱圖 同 同 人  
 一、同 淡彩秋景山水 竹田 後藤禮太郎  
 一、小虎青綠松林山水 同 同 黒川健士  
 一、直入設色劉備併臥龍公圖 同 同 人  
 ●帆足杏雨之部  
 一、杏雨溪樓看雲圖 大分 岩田浩  
 一、同 春江漁樂圖 同 同 小林師善  
 一、同 竹陰試茶圖 同 同 平松作平  
 一、同 水墨山水 同 同 牧敏造  
 一、同 着色老松 双幅 同 田吹環  
 一、同 淡彩山水 同 濱脇 高橋欽哉  
 一、同 著色花鳥 双幅 大分 坂井勘兵衛  
 一、同 淡彩山水 同 同 桑原惣五郎  
 一、同 淡彩山水 同 同 一丸伍兵衛



第四章 事業

一、同 杏雨桃花源圖	大分	田吹環
一、同 秋夜讀書圖 双幅	戶次	帆足後作
一、同 溪山晴翠圖	同	岩田章藏
一、同 青綠山水	同	野內四郎七
一、同 設色花鳥圖	同	福崎清八
一、同 桂秋蟄月圖	同	帆足後作
一、同 淺絳松下納涼圖	戶次	長野善五郎
一、同 淡彩虎溪三笑左右山水三幅對	大分	中山政男
一、同 淺絳山水	同	衛藤歎吉
一、同 淡彩蘭亭流觴圖	大分	小林師善
一、同 設色花鳥二枚折屏風	同	牧敏造
一、同 雪景山水	同	岩田章藏
一、同 淡彩月下敲門圖	同	福崎清八
一、同 秋景風雨渡航圖	同	岩田章藏
一、同 歸田圖居圖	同	高田浩保
一、同 青綠雲洞閑居圖	同	岩田章藏
一、同 青綠新陰養蠶圖	同	田吹環
一、同 青綠山水	同	帆足後作
一、同 水墨臥龍梅圖大橫物	戶次	野內四郎七
一、同 水墨米法山水	大分	

一、同 淡彩雪夜訪友圖	同	內田安太郎
一、同 水墨衡山閑居圖	同	牧敏造
一、同 設色萬年平安圖	同	同 人
一、同 青綠夏景山水	同	桑原惣五郎
一、同 淡彩芙蓉峰圖	同	一九伍兵衛
一、同 淡彩江村楊柳	同	佐藤清八
一、同 水墨瀟湘白雲	同	
一、同 淡彩秋山夕陽	三幅對	
一、同 淺絳梅溪曉鏡圖	同	野內四郎七
一、同 青綠夏景山水 双幅	同	內田安太郎
一、同 水墨寒林山水	同	佐藤宇三郎
一、同 白描法牡丹圖	同	小野駿一
一、同 青綠月下敲門圖	同	長野善五郎
一、同 青綠桃李幽居圖	同	後藤喜太郎
一、同 淡彩楓葉輕舟圖	同	同 人
一、同 水墨風波歸莊圖	同	福崎清八
一、同 淡彩風雨渡航圖	同	一九伍兵衛
一、同 青綠山水	同	永井相次
一、同 雲根玉蓋圖	濱臨	中尾儀三郎
一、同 天籟探壺圖	大分	衛藤武彦
一、同 淡彩田園歸牧圖	白杵	

第四章 事業

一、同 淺絳山水	戶次	平岡太市
一、同 青綠秋景山水	白杵	渡邊卯兵衛
一、同 松竹梅双雀圖	戶次	平岡太市
一、同 漁樂歸來圖	大分	野內四郎七
一、同 桃林山水	同	姫野佐平
一、同 青綠山水松下關石圖	白杵	渡邊卯兵衛
一、同 設色花卉双幅	戶次	帆足進
一、同 杏雨松竹梅圖 三幅對	大分	小林師善
一、同 淺絳山水	同	野內四郎七
一、同 花柳榴群蜂圖	日出	大塚義雄
一、同 設色花鳥圖 双幅	戶次	帆足後作
一、同 清谿書屋圖	大分	野內四郎七
一、同 梅谿高士圖	東大分	池邊爲喜
一、同 設色花鳥圖	日出	大塚義雄
一、同 青綠柳陰牧兒圖	大分	福崎清八
一、同 青綠夜溪待友圖	同	後藤喜太郎
一、同 淡彩前後赤壁圖 双幅	戶次	帆足後作
一、同 青綠清江閑泛圖	竹田	佐藤千藏
一、同 青綠傳洞銅龜圖	白杵	山本泰雄

一、同 花卉昆蟲圖	大分	衛藤歎吉
一、同 山水六曲屏風 壹双	戶次	帆足後作
一、同 淺絳山水	日田	森閑一
一、同 秋汀吟步圖	同	小關歎藏
一、同 大士垂慈圖	同	大藏伊平二
一、同 青綠山水	同	手島元三
一、同 清谿點易圖	同	森閑一
一、同 玉堂富貴圖	同	同 人
一、同 山中煉丹圖	同	森善治
一、同 松林山水白鶴圖	同	森閑一
一、同 春曉殘雪山水	同	森百合
一、同 春江問友圖 双幅	富岡	財津準一
一、同 晚坐對山圖	白杵	小野信三
一、同 秋景山水	同	成夏安治郎
一、同 蜀棧道圖	同	帆足後作
一、同 着色老圃秋容圖	戶次	同 人
一、同 淺絳山水	同	帆足進
一、同 青綠欲雨圖 双幅	同	帆足進
一、同 淺絳掃雪圖	同	帆足後作
一、同 秋景山水	同	帆足後作
一、杏雨淡彩秋景山水	濱臨	山田耕平



第四章 亭業

一、同 淺絳風雨渡航圖  
 一、同 秋景山水  
 一、同 青綠山水  
 一、同 紅葉園小竹贊  
 一、同 淡彩盤山圖  
 一、同 設色武陵桃源圖  
 一、同 淺絳月溪歸漁圖  
 一、同 淡彩山水  
 一、同 淺絳雪景山水  
 一、同 淺絳山水  
 一、同 淺絳春江飛帆圖  
 一、同 淺絳松陰銅鶴圖  
 一、同 設色花鳥圖  
 一、同 淺絳雪中酒酒圖  
 一、同 青綠秋景山水  
 一、同 淺絳山水  
 一、同 淡彩秋江閑泛圖  
 一、同 淺絳琵琶行賦意圖  
 一、同 水墨夏山驟雨圖

日田 樋口安治  
 白杵 小野信三  
 行橋 柏木勘八郎  
 戶次 帆足後作  
 同 同 人  
 日田 樋口安治  
 大分 岩田章藏  
 字佐 松本茂  
 大分 樋口才太郎  
 字佐 松本茂  
 大分 松本茂  
 同 長野善五郎  
 同 姫野佐平  
 別府 鳥瀨豐  
 大分 樋口才太郎  
 龜川 永田敬藏  
 白杵 小野信三  
 大分 野内四郎七  
 戶次 帆足進  
 竹田 首藤彌八郎

一、同 淺絳孤亭陶樓圖  
 一、同 青綠秋江泛舟竹田題詩  
 一、同 淡彩桃林放牛圖  
 一、同 淡彩江干漁樂圖  
 一、同 淡彩柳清晚歸圖  
 一、同 吳裝考槃圖  
 一、同 白衣大士像  
 一、同 吳裝後赤壁圖  
 一、同 耶馬溪圖卷  
 一、同 淺絳山水  
 一、同 春景山水  
 一、同 淡彩花卉圖  
 一、同 淡彩花并圖  
 一、同 僧五岳之部  
 一、五岳牡丹詩畫 双幅  
 一、同 淺絳山水  
 一、同 淺絳秋景山水  
 一、同 淺絳松林山水  
 一、同 水墨山水  
 一、同 淺法柳林山水

一、二 麻生觀八  
 別府 山田耕平  
 大分 衛藤歡吉  
 同 佐藤宇三郎  
 同 岩田章藏  
 同 衛藤歡吉  
 白杵 成良安治郎  
 濱脇 永井相次  
 戶次 帆足進  
 濱脇 永井次郎  
 中津 武内善治  
 濱脇 永井次郎  
 大分 一九伍兵衛  
 同 佐藤宇三郎  
 同 後藤喜太郎  
 同 岩田浩  
 同 岩田章藏  
 同 長野善五郎

第四章 亭業

一、同 水墨山水 双幅  
 一、同 水墨山水  
 一、同 水墨米法山水  
 一、同 水墨山水  
 一、同 淡彩楓林山水  
 一、同 淡彩山水  
 一、同 秋景山水  
 一、同 水墨山水  
 一、同 淺絳山水  
 一、同 淡彩松溪閑居  
 一、同 淺絳山水  
 一、同 楓林山水  
 一、同 雲谿觀音圖  
 一、同 淡彩松林山水  
 一、同 吳裝秋景老屋圖  
 一、同 淡彩楓林山水  
 一、同 水墨山水  
 一、同 武陵桃源圖  
 一、同 白衣大士像

同 牧敏造  
 同 中尾義三郎  
 同 姫野佐平  
 同 秦野源六  
 同 桑原惣五郎  
 同 田吹環  
 同 後藤喜太郎  
 同 岩田章藏  
 同 衛藤歡吉  
 同 岩田浩  
 同 後藤喜太郎  
 中津 糸園長二郎  
 大分 後藤喜太郎  
 同 同 人  
 同 福崎清八  
 日出 立川文友  
 大分 後藤喜太郎  
 日田 森善治  
 同 横尾松之助

一、同 水墨山水  
 一、同 青綠松林山水  
 一、同 淡彩秋景山水  
 一、同 七律詩書 双幅  
 一、同 水墨山水  
 一、同 松梅交柯圖  
 一、同 青綠山水  
 一、同 淺絳山水  
 一、同 東海神秀圖  
 一、同 蘆舟圖  
 一、同 淺絳山水  
 一、同 水墨山水  
 一、同 設色山水  
 一、同 水墨秋景山水  
 一、同 秋景山水  
 一、同 水墨山水  
 一、同 松林山水  
 一、同 白衣大士圖  
 一、同 風雨渡航圖  
 一、同 淺絳山水

同 手島元三  
 同 同 人  
 同 長尾實  
 同 古賀甚四郎  
 同 横尾松之助  
 同 大藏伊平二  
 同 林竹次郎  
 同 井上武  
 同 古賀甚四郎  
 同 井上廉平  
 同 森善治  
 同 桑野梅二  
 同 手島元三  
 同 森百合  
 同 森閑一  
 同 古賀甚四郎  
 同 大藏伊平二  
 同 手島元三  
 同 森準一郎



第四章 事業

一、同 五岳梅林山水	日田	古賀甚四郎
一、同 淡彩十六羅漢圖	同	森 閑一
一、同 淡彩秋景山水	同	小關 歡藏
一、同 松辯古寺圖	別府	鳥 瀉 豐
一、同 水墨竹林山水	富岡	財津 貞造
一、同 水墨春溪漁艇圖	龜川	永田 卓爾
一、同 淡彩風雨渡航 雙幅	大分	衛藤 歡吉
一、同 水墨山水	同	柏木 勘八郎
一、同 水墨斷崖疎松圖	行橋	高 田 秀
一、同 江開秋暮圖直入山水 雙幅	字 佐	麻生 親八
一、同 雪中山水	玖 珠	後藤 喜太郎
一、同 展覽會五言古詩 雙幅	大分	高橋 弘吉
一、同 伊古物怪奇圖	杵 築	山本 泰雄
一、同 淺絳山水卷	白 杵	北野 榮治郎
一、同 淡彩秋景山水	同	武內 善治
一、同 淡彩山水	中津	河村 徳一
一、同 水墨山水	別府	後藤 喜太郎
一、同 淺絳山水	大分	同 人
一、同 淡彩山水	同	同 人
一、同 松下孤亭圖	同	同 人
一、同 紅桃翠柳圖	同	同 人

一、同 溪村楊柳圖	一四	濱 脇 永井相次
●後藤碩田之部		
一、碩田水墨山水	大分	衛藤 歡吉
一、同 水墨春夏山水 雙幅	別府	佐藤 和平治
一、同 水墨山水	竹田	杉原 友藏
●長三洲之部		
一、長三洲秋海棠圖	大分	佐藤 清八
一、同 淺絳松林山水	同	衛藤 歡吉
一、同 七絶詩書 雙幅	同	牧 敏 造
一、同 水墨山水	濱 脇	永井 相次
一、同 水墨山水	同	同 人
一、同 水墨山水 三幅對	大分	福崎 清八
一、同 水墨山水五岳題詩	日出	大塚 義雄
一、同 水墨山水	濱 脇	永井 相次
一、同 水墨荷葉圖	日出	大塚 徳吉
一、同 赤壁山水	日田	帆 足 悦藏
一、同 雲山圖五岳題詩	同	林 竹二郎
一、同 水墨山水	同	大藏 伊平二
一、同 水墨山水	同	同 人

●十市石谷之部

一、同 水墨山水 雙幅	大分	衛藤 歡吉
一、同 水墨山水	字 佐	松 本 茂
一、同 水墨疎柳漁村圖	日出	古代 幸七
一、同 水墨山水	大分	野内 四郎七
●十市石谷之部		
一、石谷水墨山水 大幅	大分	佐藤 清八
一、同 青綠山水	同	佐藤 宇三郎
一、同 水墨山水	同	後藤 喜太郎
一、同 設色松茂圖	同	工藤 米藏
一、同 青綠山水大橫物	同	牧 敏 造
一、同 青綠山水	濱 脇	永井 相次
一、同 設色東山放棹圖	大分	福崎 清八
一、同 水墨山水	同	後藤 喜太郎
一、同 着色王維送別圖	同	田 吹 環
一、同 着色幽谷彈琴圖	杵 築	佐藤 長次郎
一、同 青綠幽谷閑居圖	同	野上 春吉
一、同 青綠竹林山水	大分	小林 師善
一、同 青綠山水 大幅	同	牧 敏 造
一、同 淡彩秋山雨霽圖	杵 築	高橋 弘吉

一、同 春秋山水 雙幅	日出	大塚 徳吉
一、同 水墨峰亂泉分圖	大分	野内 四郎七
一、同 淺絳山水	字 佐	松 本 勘治
一、同 設色老子渡關圖	同	松 本 茂
一、同 設色山水關羽騎馬圖	同	松本 健三郎
一、同 設色蓬萊春色圖	同	松 本 茂
一、同 設色梅妃圖	大分	長野 善五郎
一、同 水經小秦淮樓圖	別府	梅谷 清一
一、同 擬王健章米法山水	日出	大塚 徳吉
一、同 設色蓮生坊圖	同	立川 文友
一、同 設色化鳥圖	同	松本 勘治
一、同 幽室彈琴圖	大分	衛藤 歡吉
一、同 水經山水萬里題詩三幅對	同	同 人
一、同 設色野菊胡孫圖	同	小林 師善
●淵野桂傳之部		
一、桂傳青綠山水	大分	田 吹 環
一、同 淡彩松林雙鶴圖	同	福崎 清八
一、同 設色芙蓉翡翠圖	同	衛藤 歡吉
一、同 水經山水	同	牧 敏 造

第四章 事業

業